

分野 1

こども・若者・教育

担当課	J以評価 有識者に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
移住推進課	人口定常化事業	少子化対策として、結婚・出産を希望 する市民の後押しとなる支援を行うも の。また、市内中小企業の人材確保を 図るとともに、若年層の地元企業への 就職や定着を促進するため、松本市に 居住する若者の経済的支援を行うもの	結婚をしていない理由の1つとして、経済的に余裕がないことが近年挙げられている。市民の結婚・出産の希望を叶えられるよう、若年層の可処分所得増加を図る経済的支援を、継続的に行っていく必要がある。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・当該事業だけが「人口定常化」という政策目的に照らし合わせて適切なものであるか、再検討の余地がある(他の事業等も総合的に実施している場合はこの限りではない)。この意味では、総合評価の「C」に関しては妥当である。 2) 指標の設定 ・「奨学金返還支援事業補助金の交付件数」に関して、令和7年度の目標値を令和5年度見込みの倍の設定を行っているが、その根拠を精査されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・各種アンケート調査等では、結婚しない理由に「経済的余裕がないこと」が挙げられることが確かに多いが、根拠として採用されているデータが「松本市」の実態にもそのまま適用可能か精査する必要はないか、検討されたい。今後同様の施策をより一層充実していくとするならば、実態を踏まえた施策に注力している必要がある。 ・国の「人口定常化」を目的とした施策として、①新婚者を対象とした補助金、②若者を対象とした補助金を交付しているが、人口の「定常化」といていくことが真に妥当な政策と言えるのか、再検討されたい。 ・また、若年層の可処分所得増加施策と結婚・出産の2つの事項は直接連動するものとして提えていいのか、改めて前提を疑う必要はないか。さらに、「人口定常化」は横断的なテーマだと言えるならば、総合的にマネジメントを行うことに限界があるとするならば、総合的にマネジメントを行うセクションが必要ではないか。
健康づくり課		安心して妊娠・出産・子育てができる 社会を目指し、妊産婦・新生児訪問、 乳幼児健診、オンライン育児学級等、 妊娠期から子育て期までの切れ目ない 支援を行うもの	少子化・核家族化・疾病を抱える保護者の増加等により、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図る。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・安心して育児を行うことができる環境を整備していくという観点からすれば、当 該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・「妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行っていく」という目的に寄与する指標の一つとして、当該指標の設定は妥当である。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・「活動指標」として「オンライン育児学級の参加人数」が設定されているが、今後は「オンライン」という方法に留まらず、内容の充実にも努められたい。 ・「成果指標」として、「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合」を設定しているが、育児時間の「質」に関する指標のみでいいのか、「母親」の割合のみの指標でいいのか、再検討されたい。
健康づくり課	少子化対策事業	による保健指導を行い、育児不安の解 消を図る。また、不妊・不育症治療を	少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強化を図る。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・安心して妊娠・出産・子育てを行うことができる環境を整備していくという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・「育児不安の解消」、「不妊・不育症治療」対象者のための助成を前提とした場合、当該指標の設定は妥当である。 3) 今後の方向性 ・今後も育児環境の充実を図っていくとするならば、公金支出及び市民に対する説明責任の観点から、「成果指標」「効率指標」の設定に関しても検討されたい。 ・「成果指標」として、「子育てに負担を感じた時に対処法のある母親の割合」を設定しているが、「4か月」時点での健康診断時調査で妥当なのか、「母親」を対象とした指標だけでいいのか、再検討されたい。

担当課	丁政評価 有識者に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
こども育成課		核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭の孤立化を防ぐため、育児の 援助を受けたい方(0~15歳の子どもを育てている方)と育児の援助がでもる方が会員となり、会員同士の相互援助により、有料で育児に関する援助活動(子どもの送迎など)を行うもの	事業拡充のため、協力会員数を確保し、資質向上に関する取組みを継続する必要がある。 安全にお子さんをお預かりできることを第一に考え、各種講習会等を今後も継続的に実施する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「子育て家庭の孤立化」に対する対策という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・「多様な育児不安の解消」、「不妊・不育症治療」対象者のための助成を前提とした場合、当該指標の設定は、妥当である。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・「多様な子育てニーズに柔軟な対応ができる子育て環境を整備する」という目的に照らし合わせて、現在の事務局体制(緊急サポート受付)で、必要にして十分か、不断の見直しが求められる。・会員同士の相互援助を軸としたサービス提供に対して、双方の会員の立場にとって課題はないか、不断の見直しが求められる。
こども育成課	こどもプラザ運営事業	が情報交換や交流できる子育で支援の 拠点として、主に未就園の子どもとそ の保護者を対象に、各種育児講座の開	年度には、子育て支援センター(こどもプラザ)及 び安心ルームを新規に開設し、南部地域の子育て支	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「子育て家庭の孤立化」に対する対策という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・「子育て家庭の孤立化」対策に対する評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施回数・参加者数・相談件数・利用者数、実施個所数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・令和5年度には南部地域の子育て支援体制の充実が図られているが、スタートアップ時点で運用・体制上の課題はないか利用者による実態調査等を実施すると同時に、「多世代交流」を掲げる中で、未就学児が安心して過ごせる空間と、他の世代が自由に過ごせる空間との両立をどのように図っていくことができるか、検討されたい。 ・プラザが本来の意味での「拠点」たらしめているのか、各プラザでの運用実態の「定点観測」が求められている。その意味では、指標設定や事業運営に関しても、各プラザごとの個別の指標設定や運用実態の把握が必要ではないか、検討されたい。
こども育成課	つどいの広場事業	で子育てしやすい環境づくりを進める ため、未就園の子どもとその保護者が 気軽に交流できる「つどいの場」を運 営し、各種育児講座の開催、育児相談 等を行う。「なんぶ すくすく」で	未就園児とその保護者を対象に、交流、情報交換、相談ができる身近な場所を提供することにより、地域における子育て支援の充実が図られている。利用者数は、少子化や未満児の保育園利用の増加により、近もよう百て安心ルーム等の体制強化に合わせて、効果的な事業運営の検討が必要である。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「子育て家庭の孤立化」に対する対策という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。なお、担当課自身が総合評価を「C」としている点からも明らかなように、何らかの改善が必要であることが推察されるため、早急に事業の方向性の再検討を行う必要がある。 2) 指標の設定 ・「子育て家庭の孤立化」対策に対する評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施個所数・利用者数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・すでに21箇所のセンター、支所でとに、個別の目標設定とそれに基づく改善施策の検討が行われていることが推察されるが、少子化や未満児保育の保育園利用の動向を考慮して、効率的な事業運営を模索されたい。

担当課	まの 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
こども育成課		助を希望する利用会員の家庭に、市の 子育て支援講座を修了した支援会員が 訪問し、子育て支援を行うもの。ひと り親世帯、低所得世帯に対しては、子	自宅での保育や育児に伴う支援者派遣による家事援助の需要は、年々高まってきている。需要を満たし、安定した事業運営をするためには、サポーターの発掘・育成が必要であり、養成講座の継続実施、協力会員の増員に向けた取組みが必要。利用料助成は、ひとり親家庭や低所得世帯の経済的負担の軽減を図るため継続実施する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「子育て家庭の孤立化」に対する対策という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・「子育て家庭の孤立化」対策に対する評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、利用者数、活動時間といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。・ひとり親世帯、低所得世帯に対する利用料軽減のための助成金制度として、利用料の半額補助を行っているが、必要にして十分か、利用実績等を勘案して更なる検討を進められたい。 ・当該事業の支援会員の力量形成と支援の質の向上がますます重要となるため、支援会員の発掘、養成、事業運営の検討を進められたい。
こども育成課	放課後子ども教室推進事業	方々の参画を得て小学生と勉強やスポーツ等を行う。放課後における安全で安心な居場所づくりを進めるととも	親の就労等に関係なく全ての児童を対象としており、地域住民の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、地域住民との交流の場が提供できている。今後は、地域や学校、コミュニティスクール等と連携しながら、更に充実した放課後の居場所を提供できるよう調整を図る。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「小学生の放課後の安全・安心な居場所づくり」の推進という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。他方で、担当課自身が総合評価を「C」としている点からも明らかなように、何らかの改善が必要であることが推察されるため、早急に事業の再検討を行う必要がある。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、利用者数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。・放課後の安全、安心な居場所づくりを推進していく際に、現状の4つの子ども教室は、居場所環境として適切なわめとなっているのか、各子ども教室間での情報共有も積極的に行うことで、共に学び合い、質的向上を図っていく必要がある。特に、今後、コミュニティスクール等との連携、協働を模索する場合は、環境、内容等の面で更なる見直しが必要となることが予想される。
こども育成課		共働き世帯などの保護者が安心して就 労できる子育て環境の充実を図るため、市内在足以市内内に勤務しているまでの病中の児童の保育を行うもの。また、市内在住または市内に勤務している保護者の満1歳から就学前の病気回復期にある児童の保育を看護師と保育生が行うもの	共働き世帯の保護者が安心して就労するために必要不可欠な事業であり、今後、継続的に事業を実施するため、PR活動の強化やICT活用等、利用者の利便性向上を図る必要がある。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「保護者が安心して就労できる子育て環境の充実」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。他方で、担当課自身が総合評価を「C」としている点からも明らかなように、何らかの改善が必要であることが推察されるため、早急に事業の方向性の再検討を行う必要がある。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、利用人数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・「P R 活動の強化」「I C T活用」が課題として掲げられているが、単なる広報、ツール活用といった意味に留まない、サービスの質的充実が求められていると思われる。塩尻市、朝日村、山形村と情報共有をしながら、ビジョンを共有しながらの事業展開を検討されたい。

担当課	丁 以評価 有識者に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
こども育成課	安心子育て応援事業	核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤立化の防止や就労支援など、子育て環境を整備するため、子育てサポーターの養成、子育てコミュニティサイト「はぐまつ」の管理運営などを行うもの	核家族化が進展する中で、子育て世帯へのサポート 事業及びインターネット等を利用した情報提供の重 要性が高まっている。市民ニーズに応じ効果的に事 業を展開し、子育てしやすい環境を整備することが 必要である。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「育児の孤立化の防止や就労支援」を軸とした子育て環境の整備という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、養成講座の受講者数、サイトアクセス数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関して指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・現在、全20からなる子育でサポーター養成講座を修了することが子育でサポータの登録要件となっている。令和4年度実績では20名弱となっているが、必要にして十分な数といえるか、養成講座の量・質的充実の観点、受講者側のニーズ等の確認など、定点観測、効果検証を進められたい。 ・「市民ニーズに応じた効果的な事業展開」とは何を指すのか、具体的に検討していくことが求められている。特に今後は、サイトアクセス数といった点に留まらず、サイト利用者の行動変容を促していく事業運営が求められている。
こども育成課	3歳未満児家庭サポートクーポン事業	0~3歳の子どもを家庭で保育している世帯の経済的精神的負担を軽減する 古世帯の経済的精神的負担を軽減する ため、ファミサポ及び一時預かり事業 に加えて、産後ママヘルプサービス事業 株日保育事業、病児・病後児保育 事業、子育でショートステイ事業、育 児ママヘルプサービス事業 クーポンを配布するもの	クーポンの配布が、ファミリーサポートセンター事業やサポーター訪問事業の周知に繋がっているが、利用が増えれば、協力会員の不足が大きな課題になる。 今後、クーポンの電子化を検討する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「子育て世帯の経済的、精神的負担の軽減策」という観点からすれば、当該事業 内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、延べ利用件 数、チケット利用枚数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても 設定していく必要はないか、検討されたい。 ・特に、子育て世帯の「精神的」負担の軽減にこれらの事業がどのように寄与して いるか、再検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・サービスの充実に伴い、「協力会員不足」という課題が必然的に生じることか ら、協力会員に対する新たなインセンティブの事業化を検討する必要はないか。・クーポンの電子化に際しては、単体としての電子化の観点のみならず、他の電子 クーポンとの関係、連動も考慮した形での実現を模索するなど、検討されたい。
こども育成課	留守家庭児童対策事業	核家族・共働き家庭が増加する中、放 課後留守家庭児童の安全と健やかな成 長に資する居場所を確保するため、児 童館・児童センターの管理運営、児童 育成クラブ運営費等補助金の交付を行 うもの	少子化で児童数は減少しているが、共働き世帯が増加し、放課後の子どもの預かり需要は増加傾向にある。小学校区によっては、狭あい化が進んでいる施設もあることから、小学校区ごとに児童数の増減見込みを把握し、効率的効果的な環境整備を計画的に進める。環境整備に当たっては、小学校など他の公共施設の利用を進める。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「放課後留守家庭児童の安全と健やかな成長に資する居場所の確保」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。他方で、事業の一次評価が全て「C」であるのに対して、総合評価を「B」としている点に関しては再確認されたい。 2) 指標の設定 ・「活動指標」に登録者の「平均」を設定しているが、多くの児童館・児童センターや育成クラブがある中で、実質的な意味をなす指標とは言い難い。再検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・需要の増加に対して、施設の狭隘化の課題が顕在化しつつあると思われる。いかなる指標を設定することによって計画的な環境整備のための予算計上につなげていくことができるか、現在の場所、運用実態等を考慮して再検討されたい。
保育課		「松本市新たな保育・幼児教育の在り 方に関する提言書」に基づき、保育・ 幼児教育の質の維持・向上を図るた め、松本市独自の保育環境評価スケー ル(指標)を作成し、令和5年10月 に導入するもの	保育・幼児教育の質を総合的に測る「スケール」を 導入することで、より質の高い保育・幼児教育を実 現するもの	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・記載がないため、コメントが困難である。 2) 指標の設定 ・記載がないため、コメントが困難である。 3) 今後の方向性 ・各園自身が評価・改善を行うことができるスケールを導入していく際、スタートアップ時点では多少の混乱も生じることが当然予想される。保育、幼児教育の質的向上のための保育環境評価スケールの作成は、多くの就学前教育関係者がその推移を見守っていることから、今後具体化に際して、関係者間で適切なコミュニケーションをとられることを期待したい。

担当課	「以評価 有誠有に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
教育政策課	学都松本寺子屋事業	特子屋サポーター登録事業など、地域	令和4年度に開始し、8団体の賛同を得て実施に結び付いた。今後は活動の場を市内全域に広げ、誰もが気軽に学べる居場所として定着することを目指す。第3次松本市教育振興基本計画(学びに、遊びや体験を)を踏まえ、本事業も令和5年度から体験学習を対象範囲に加え、更なる事業拡大を図る。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「地域の大人が子どもたちを支える仕組みの整備」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施団体数、登録者数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・寺子屋事業に関して、多様な団体の参入を広く認めていくための広報の充実は当然のことながら重要ではあるが、事業内容の質的向上のためにもスタートアップ時点のみならず、継続的なコミュニケーションを団体ととっていくことを期待したい。 ・直接的な運営には関わらない「寺子屋サポーター」の数を増やすためにも、各団体の取り組み(場所、活動内容など)の可視化する取り組みや、市内でのマッピング化など検討されたい。
教育政策課	特色・魅力ある学校 づくり事業	新たな区域外就学制度として、通学区域に関係なく、市内のどこからでも通学できる小規模特認校制を令和4年度に安曇小中学校に導入したことから、同校への遠距離通学者用のスクールタクシーを運行し、保護者の送迎負担を軽減するもの	子どもたちの公教育の多様化を図るため、本制度の周知を継続する。また、保護者の送迎負担を軽減するため、スクールタクシーの利用児童生徒数を増やし、通学しやすい環境を整備する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「特色・魅力ある学校づくり」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、制度利用児童生徒数、スクールタクシー利用児童生徒数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・今後、同様の制度が市内で拡大していくことを想定して、事業の可視化と、予算化のためのエビデンス(制度利用者や学校関係者の声、効果検証データ)を蓄積し、情報発信していく必要がある。
教育政策課	教員研修推進事業 (事務局費)	の研修が県から移譲されたため、教育 研修センターを設置し、市独自の教職 員研修計画を策定、研修を拡充するも	「訪問型特別支援教育研修」を継続実施し、特別支援教育に係る学校力の向上を図る。教員のニーズを踏まえ、「ワークショップ型研修」を実施し、一定の効果を得たため、次年度以降も継続していく。「松本市教職員研修計画」に基づき、令和5年4月から松本市独自の教職員研修を実施し、子どもを主人公とした学びに繋げる。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・中核市として有する研修権を十分に生かしていく観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、講座開催数、受講者数といった「量的指標」のみならず、研修実施後の行動変容など「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、研修効果のあり方についても検討を進められたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。
学校教育課	インクルーシブ教育 推進事業	全ての児童生徒に学びやすい学習環境を整えるとともに、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な学習環境を整える。 特別支援教育に関係する機関との連携を強化するとともに各種研修を通じて教職員の力量向上を図る。	教員免許がなく業務に当たる特別支援教育支援員にとって、障がい特性に係る研修は貴重な機会であり今後も継続する。令和6年度に開設予定の松本市インクルーシブセンターをインクルーシブ教育の拠点に位置づけ、学校等をサポートしていく仕組みを整える。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・全ての児童生徒に学びやすい学習環境を整備していくという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、開催回数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・令和6年度開設予定のインクルーシブセンターはこども福祉課の予算計上枠となるようだが、理念の共有をしっかり行うことで、発足後のスムーズな運用を期待したい。

担当課	丁以評価 有誠有に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
学校教育課	学校支援事業	カ向上及び児童生徒への教育支援事業 に取り組むもの。自立支援教員、中学 校学力向上推進教員、特別支援教育支 援員、部活動指導員などの市費教職員	不登校児童生徒、障がいのある児童生徒の増加に伴い、自立支援教員、特別支援教育支援員の要請は依然として高まっている。今後も児童生徒の状況を確認し、支援が必要な児童生徒に支援員を配置していく。部活動指導の充実を図り、教員の働き方改革につなげるため、部活動顧問や大会の引率を行う部活動指導員を7校11人配置。さらに、地域・学生アスリートを7校10人派遣。今後も教員の部活動指導における負担軽減を図る。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・教職員の資質向上・児童生徒に対する教育支援という観点からすれば、当該事業 内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、配置人数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・今後も多様な子どもに対する支援のニーズは高まることが予想されるため、予算措置の効果を可視化するようなエビデンスを蓄積していくことが求められている。効果検証のあり方についても検討を進められたい。
学校教育課	トライやるエコス クール事業(小学校 費)	おける環境教育の充実を図るもの。エ	各学校で、特色ある体験活動や学習活動を行う事業として定着している。今後は、段階的に生涯学習課所管のコミュニティスクール事業へ移行していく予定	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・特色ある学校づくりという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施校数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても検討していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・今後も、予算措置の効果を可視化するようなエピデンスを蓄積していくことが求められている。 ・今後、コミュニティスクールの活動の一環として位置付けていく際、生涯学習課とのビジョンの共有、連携を推進されたい。
学校教育課	学校教育情報化推進 事業(小学校費)	国のGIGAスクール構想や市の計画に基づき、小学校の学校教育に係る情報化の推進を図るもの。児童と教職員が用いるICT学習環境、教職員の校務ICT環境の整備と運用を進める。	令和6年度から一人一台端末を用いた「学習者用デジタル教科書」の導入が予定されており「ユーザーアカウント管理」や「授業支援」など、人的コストの増大が見込まれる。また、それに伴う通信量の増大が見込まれるため、必要に応じて通信回線等の見直しが必要になる。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・学校教育の情報化の推進という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施校数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても検討していく必要はないか、検討されたい。 ・特に、今後の一人一台端末の更新時期、デジタル教科書の導入を想定した上でどのような指標を設定しエビデンスを蓄積・可視化していくことが予算編成上効果的であるか、検討を進められたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。
学校教育課	プール整備事業	学校水泳プール施設の老朽化により水 泳学習に支障をきたす恐れのある学校 について、施設の改築・改修または民 間施設の活用等により教育環境の改善 を図るもの	学校水泳プール施設は、稼働時間に対して多大かつ 固定的なコストがかかるため、改築前提の計画を見 直し、少子化時代に見合った水泳学習の在り方を検 討する。その一つとして、民間施設の活用を試行・ 検証し、有用性が認められた場合は、横展開を検討 する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・教育活動の質的向上を模索するという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、民間施設活用開始数、改修数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 ・特に、民間施設の活用をめぐってはコスト面のみならず、教育活動の充実の観点、子どもの移動の組点、教員の働き方の観点から、総合的に判断すべきであるため、今後の水泳学習のあり方について中長期的な観点からの検討とそこでの指標のあり方についての検討が不可欠である。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・ブール整備に関して、コストパフォーマンスの他、いかなるエビデンスをもとにその整備の方向性を決めていくのか、検討を進められたい。

担当課	対評価 有減有に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
学校教育課	トラノかスエコフ	の創出を目指すと同時に、学校教育に	各学校で、特色ある体験活動や学習活動を行う事業 として定着している。今後は、段階的に生涯学習課 所管のコミュニティスクール事業へ移行していく予 定	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価・特色ある学校づくりという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施校数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても検討していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。・今後も、予算措置の効果を可視化するようなエビデンスを蓄積していくことが求められている。・今後、コミュニティスクールの活動の一環として位置付けていく際、生涯学習課とのビジョンの共有、連携を推進されたい。
学校教育課		国のGIGAスクール構想や市の計画に基づき、中学校の学校教育に係る情報化の推進を図るもの。生徒と教職員が用いるICT学習環境、教職員の校務ICT環境の整備と運用を進める。	令和6年度から一人一台端末を用いた「学習者用デジタル教科書」の導入が予定されており「ユーザーアカウント管理」や「授業支援」など、人的コストの増大が見込まれる。また、それに伴う通信量の増大が見込まれるため、必要に応じて通信回線等の見直しが必要になる。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価・学校教育の情報化の推進という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施校数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても検討していく必要はないか、検討されたい。・特に、今後の一人一台端末の更新時期、デジタル教科書の導入を想定した上でどのような指標を設定しエビデンスを蓄積・可視化していくことが予算編成上効果的であるか、検討を進められたい。 3) 今後の方向性・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。
生涯学習課	 コミュニティスクー ル事業	体等が参画するゆるやかなネットワークを形成しながら、持続可能な活動の中で、子どもたちが身近な地域の大人	地域とともにある学校づくりを推進するため、モデル校に法に基づく学校運営協議会を設置、またモデル校となる学校の負担軽減のため、地域学校協働活動推進員を学校内に設置する。モデル校での取組みの効果検証を行い、今後の松本市のコミュニティスクール事業の制度のあり方を検討する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「地域とともにある学校づくり」の推進という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、導入率や導入校といった「量的指標」のみならず、教育活動の充実など「質的指標」に関しても考慮していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・「松本版」コミュニティスクールのあり方として現状の制度利用で十分なのか、大野川小中学校を例としたモデル事業の成果を生かし、再検討していく必要がある。

担当課	」	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
こども育成課	子どもの権利推進事業	に基づき、子どもの権利の普及・啓発、子どもの意見表明・社会参加の促進、子どもの相談・救済の充実、子ども施策の推進と検証等を行い、すべて	子どもの権利の普及・啓発について、高校生への周知強化を図るとともに、こども基本法の施行及びこども家庭庁の発足を契機として一般の市民へも周知を図る。まつもと子ども未来委員会は、自分たちができる取組みを進める。子どもの権利相談室「こころの鈴」の出前講座等を、新たに放課後児童クラブ等で開催する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「すべての子どもにやさしいまちづくりの推進」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、「量的指標」のみならず「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・子どもの権利に関する条例の「認知度」に関して、子ども対象のアンケートを行っているが、最もコミュニケーションの頻度が多いと思われる教職員の認知度はどうか。今後、事業の射程を子どもだけではなく、大人も対象とし市民全体を巻き込んだ展開をすることも検討されたい。 ・まつもと子ども未来委員会においては、一次評価(内部評価)として指摘されているように、「市(市長・教育長)への提言」に限定されない、より自由度の高い活動の展開(個人の探究活動の支援、高校現場との連携、市議会や県知事、議会への提言、意見交換など)も検討されてはどうか。その場合、担当課(こども育成課)が単体で行うことには限界があることが予想されるため、他の行政担当課、学校、NPOなど、様々な団体と情報連携をしていくことも検討してみてはどうか。・こども家庭庁、こども基本法の動向に鑑みて、松本市と同様に子どもの権利に関する条例を制定している全国の先進自治体(川崎市など)と、協働的な取組みを推進してみてはどうか。また、県内では先進自治体である松本市として、他の県内自治体(諏訪市など)とも情報共有し、中核となる存在感を示してはどうか、検討されたい。
こども育成課	学習・交流・相談ス ペース運営事業	学生を対象に、居場所の提供や学習支援を行うことで生活環境や学習環境の	不登校やひきこもり児童・生徒の数は増加傾向にあり、児童・生徒の居場所として、また、保護者の相談や支援の拠点として事業を継続する。中間教室も含め、関係課などと連携した不登校支援の在り方を検討する必要がある。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・子どもの居場所づくりや学習支援の充実という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、利用者数といった「量的指標」のみならず、子どもの意識調査など「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。・松本市における不登校支援のビジョンが未だ明確ではないとの指摘を踏まえて、行政のみならず民間団体とも連携しながら明確なビジョンを形成し、ビジョンに応じた総合的な支援を早急に行っていく必要がある。
こども育成課	青少年健全育成事業	長するために、家庭・学校・地域社会 が一体となって青少年の健全育成に取 り組むもの。子どもまつりの開催(R 4中止)、青少年の居場所づくり事	青少年の心豊かな成長を促進するため、青少年が様々な人と接する機会(居場所)をつくるとともに、青少年が巻き込まれやすい事件(薬物乱用・インターネット利用)などへの教育を併せて推進する。メディア・リテラシー講座では、リテラシーだけでなくデジタル・シティズンシップに対する教育も推進する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・青少年の健全育成という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、利用者数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・一次評価にも指摘されているように、メディアリテラシーに関しては「危険を煽る」ことを第一義的に伝えるような内容から、デジタルシティズンシップ教育への転換が不可欠である。そのための取組みの事業化も検討されたい。 ・青少年の居場所という「場の空間」事業から、若者支援という「機会の保障」事業への転換が必要ではないか、検討されたい。

担当課	丁 <u>以評価 有識者に</u> 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
こども育成課		テーマとして人・自然・環境とふれあ	自然や環境とふれあう体験型のイベントとして定着している。新型コロナウイルスの影響もあり、告知がイベント開催間近になった。新たなプログラムや告知の方法を検討し事業を継続する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・環境教育の充実という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、プログラム 数、来場者数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定して いく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・一次評価に関して、「改善が必要」というCの評価になっているが、いかなる観点からの改善が必要なのか、早急な検討、調整が必要であると思われる。
こども福祉課	障がい児福祉事業	障がいのある児童を主な対象におも ちゃを貸し出す(おもちゃ図書館)ほ か、障害児通所支援事業を行う団体の 支援を行うもの	障がいのある児童の遊びや活動の場の確保が図られていることから、今後も継続した支援を行う。 おもちゃ図書館の委託先に、利用者数や貸出数などに基づく成果指標の設定やおもちゃの選定基準の明確化などを提起し、運営方法について協議中	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・障がい児福祉の充実の必要性は言うまでもないが、指標の設定が行われていないことから、事業評価を行うこと自体が困難である。 2) 指標の設定 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点、さらには障がい児福祉関係者に対する責任としても、現在の2事業に関して、「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関して、どのような指標を設定し得るか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・「一次評価」に記載があるように、量的な指標の検討及び、選定基準の明確化などを早急に行っていく必要がある。
こども福祉課	児童福祉事務事業	実施するもの。併せて乳児院との連携	保護者を取り巻く環境の変化に対応するため、養育 支援訪問事業、子育て支援ショートステイ事業を継 続する。企業との連携協定や共催等、啓発活動の方 法について検討する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・児童福祉の充実の必要性は言うまでもないが、指標の設定が行われていないことから、事業評価を行うこと自体が困難である。 2) 指標の設定 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点、さらには児童福祉関係者に対する責任としても、現在の2事業に関して、「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関して、どのような指標を設定し得るか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・要保護児童対策地域協議会3会議の更なる連携強化を図っていくことが不可欠である。 ・子育て環境の多様化に鑑みた養育支援訪問事業、子育て支援ショートステイ事業の必要性に関して多くの関係者に理解をしてもらうことが継続実施の条件にもなることから、さらなる啓発活動等の方法を検討されたい。
こども福祉課	子どもの居場所づくり推進事業	子どもの貧困対策及び子どもの権利に関する条例に基づき、子どもが、生まれた環境に左右されず、自らの未来を選択できるようにすることを目指すもの。月1回以上、食事提供や学習支援、生活相談に応じる居場所を開設する団体へ交付金を交付するもの	当該居場所は、各小学校区に1カ所以上の開設を目指している。支援団体が継続的に取り組めるようにするため、食事提供の負担軽減のための「軽食型」、また学習支援を担う住民や学生への謝礼となる「学習支援者加算」を新設した。今後も支援団体の声に基づきメニューを充実させる。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・子どもの貧困をめぐる負のスパイラルを断ち切るという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、開設数、開催回数、参加者数といった「量的指標」のみならず、成果指標の一つとして取り上げられている子どもに対するアンケートの結果など、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・今後小学校区に1箇所以上の開設を見込む場合、どのような制約があるのか、行政内部での課題の検討が必要である。 ・実施団体等との継続的な情報共有を行うことで、効果的な交付のあり方を検討されたい。

担当課	「以評価 有識者に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
こども福祉課		生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を各地区の民生・児童委員や主任児童委員が訪問し、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、今支援が必要な家庭を適切なサービスへ結び付けるもの	新型コロナウィルス感染予防のため訪問を中止して 郵送対応した期間があり訪問実績数は縮小したが、 全ての世帯に対し活動を行うことができた。 事業を通じて把握した支援を要すると思われる全て の世帯(要支援数)を、地区保健師の訪問等支援に 繋げることができている。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「乳児家庭の孤立化の防止」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。引き続き、きめ細やかな対応を期待したい。 3) 今後の方向性 ・「全世帯」を対象とした活動は大変であることが推察されるが、孤立化する家庭に対するケアの充実を引き続き期待したい。他方で、訪問する民生、児童委員に対して、昨今の子どもや子育て世帯を取り巻く環境の変化の理解のアップデートも同時に求められている。リスキリングやアンラーンの機会を設けていくことも検討されたい。
こども福祉課	あるぷキッズ支援事 業	もとその保護者並びに発達障がい児と関わる支援者を総合的に継続して支援することで、二次障がいを防ぎ、地域の中で安心して過ごせることを目指すもの。相談窓口や巡回支援に加え、あ	あそびの教室参加者の満足度が高く、相談件数も増加していることから、事業の効果・必要性はあるものと認識している。学齢期の相談件数が増加しており、従来の乳幼児期の支援に加え、学齢期支援の充実が求められている。切れ目ない支援の実現に向けた事業を展開するため、教育委員会と連携し、支援体制の充実・強化を目指す(センター化)。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・全ての子ども、保護者の子育て環境の充実という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、相談者延べ人数、参加のベ人数、満足度などの「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定し質的改善を行っていく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・一次評価でも指摘されているように、「乳幼児期」から「学齢期」への移行に着目した支援の充実が求められている。インクルーシブセンターの設置を一つの機運に、サービスのさらなる充実を期待したい。
こども福祉課	ヤングケアラー支援事業		要保護児童対策地域協議会において情報共有体制を整備。新規実施の「ことも安心訪問支援事業」を含め具体的な支援を実施。周知啓発、実態調査の実施、コーディネーター配置など支援体制を検討する。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1)内容評価 ・大人が担うケア責任を引き受ける「ヤングケアラー」にとって、家事に追われる日々は、睡眠不足という健康問題を生じさせるだけでなく、自分の時間や勉強の時間、友人との時間など、子ども期の醍醐味である「青春」の1ページを刻むことさえ難しくすることから、支援策の充実が急務である。この観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2)指標の設定について ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当であるが、他の政策を実施する場合は、周知啓発活動や認知度の向上といった指標以外の検討が不可欠である。 3)今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り組みはないか、検討されたい。例えば、ヤングケアラーに対する政策としては、自治体別の実態調査とそれに基づく世代・ケアレベル別分析の他、各種公的サービス(介護保険や障害福祉など)の対象範囲の再検討、家事支援サービスやショートステイ・レスパイトサービスの補助・割引制度の導入、SNS等を活用したオンライン相談体制の構築、学校生活に留まらず日常生活を包み込む専門人材(ケアマネージャー、相談支援専門員、医療ソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーなど)の確保・育成、など、多様な選択肢がありうるため、総合的な観点からの施策の検討も進められたい。

担当課	丁以評価 有識者に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
地域づくり課	ユースサポート事業	愛着や関心を高めるとともに、まちづ	令和5年度から若者チャレンジ応援事業補助金を新設し、若者の活動への財政支援及び地域とのマッチングを進める。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・若者世代を次世代の担い手ではなく創り手として位置付けていくという観点を従事するとするならば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、協賛店舗登録数や調査結果数といった「量的指標」のほかに、例えば、すでに実施している高等学校に対する探究学習支援の実績等に関しても、他自治体の状況と比較し、指標の一つに加えることで、当該事業の成果の可視化を別の観点から行っていく必要はないか、さらに、「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても考慮していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・公金支出及び市民に対する説明責任の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」の設定に関しても検討されたい。例えば、令和5年度から新設された若者チャレンジ応援事業補助金に関してもその成果に関して、採択数等の量的指標にとどまらず、若者の変容等に関する総合的なビジョンを作成する必要はないか、検討されたい。
生涯学習課	青少年ホーム事業	て、自分づくりや仲間づくり、社会に	若者と社会や地域と繋ぐ環境づくりや、若者の居場 所づくりを推進するため、若者・利用者のニーズを 把握しながら、多様な学びの機会を提供し、若者が アクセスしやすい情報発信を行う。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・若者のキャリア発達支援の観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、登録者数に焦点化した「量的指標」に限定してしまうと、その活動内容に対する評価が困難となり、「手段」としての登録が「目的」化してしまう可能性がある。従って、「量的指標」のみならず、実際の講座参加者を対象としたアンケートや若者の変容など、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・「なんなん広場」という場に限定されない青少年ホーム事業を展望することは難しいか。例えば、共に若者支援を行っている地域づくり課(ユースサポート担当)と密に情報共有をし、総合的な若者施策の立案や事業化を検討していく必要はないか、検討されたい。 ・総合評価が「C」となっていることから、現時点での改善策を具体的に提示されたい。
自転車推進課		るため、関係団体の運営を支援し、市 民への啓発活動と交通安全教育を充実 させ、市内の交通事故防止を図り、安	強引な右折などの運転マナーの悪さが指摘されているほか、人身交通事故に占める自転車関連の交通事故が県下平均と比較して高いなど、取り組むべき課題が認められる。警察などの関係機関と連携した対策のほか、交通安全教室や街頭啓発活動等を継続実施し、広く市民に交通安全を呼び掛け、更なる安全・安心なまちづくりを目指す。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・交通事故防止の観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、参加人数や実施回数といった「量的指標」だけでなく、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・ヘルメット着用普及が課題となっているが、導入に際しての制約理由(例えば、若者世代、高校生世代、大人世代、高齢世代など)が世代や対象によって異なるのか、異なる場合は理由別の支援策を講じていくことを検討されたい。

担当課	事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
教育政策課	整備事業	を、不思議を探り、持続可能な未来を 切り拓く、子どもと、大人、教職員が	令和3年度に定めた再整備方針に基き、アドバイザー3名から再整備のコンセプトイメージや設備機能等に関する意見を受け、基本計画の見直しを実施した。次年度は真に必要となる施設機能等について内部検討を進める。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・子ども、大人、教職員が共に育つ、人材育成の拠点「学都ラボ」として、学習環境の整備を行っていくという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、「進捗状況」が外部に伝わりにくく、不明確である点が否めないことから、進捗状況を分節化しながら可視化することなどを検討してはどうか。また、再整備後、教育文化センターの取組みの何をどのような指標に基づき評価を行っていくことができるか、先行して「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関する検討を行っていく必要があるのではないか。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」「対率指標」に関しても指標化に値する取り組みはないか、検討されたい。・総合評価が「C」となっていることから、現時点での改善策を具体的に提示されたい。
生涯学習課	生涯学習推進事業	住民・行政・地縁・地縁団体などが集 い学んだ知識や技術が、人と人との活 動を通したつながりから地域社会にひ ろがり活かされる松本らしい生涯学習 施策を推進するもの	企画段階から若者を含む多様な市民の参画を増やすとともに、成果を35地区の活動に生かす仕組みを充実させたい。 生涯学習支援登録制度、学びの森いんふぉめーしょん、出前講座について、様々な情報媒体を用いて幅広く発信していきたい。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・生涯を通じて学び続けていく環境を整備していくという観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、参加者数、登録者数、件数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。
生涯学習課	公民館講座事業			信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・「地域における自治力の醸成」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、利用人数や実施公民館数等といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。・館報はデジタル化をすれば自動的に多くの方に読んでいただけるわけではないため、方法のみならず、コンテンツも含め、「館報」それ自体のあり方について引き続き検討を進められたい。
中央図書館	学都松本子ども読書 活動推進事業	第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが身近な場所で進んで本に親しみ、自ら学び知る楽しさを体得するため、読書環境の整備を推進するもの。ブックスタート、セポフンドブック海外で、読み関かせポランティア養成講座、子ども読書活動スキルアップ講座などを開催	令和5年度に開始するサードブック事業により、子どもの読書に関する事業の更なる充実が図られた。中・高校生に向けて、本の紹介や図書館利用促進のための情報発信を行い、豊かな心を育むための自由で自発的な読書、生きる糧になる素敵な本と出合うためのきっかけ作りを進める。第2次学都松本子ども読書活動推進計画の最終年度となるため、評価・点検を行い、今後の活動に反映させる。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・読書環境の整備という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、登録率や開催回等の「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・令和5年度からスタートされたサードブック事業に関しても、その成果について検証を行い、より多くの関係者に読書環境の充実の意義を理解してもらうことに努められたい。

担当課	事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
健康づくり課	食育推進事業	もの。庁内食育関係課や食生活改善推進員と連携しながら体験を選ばた食育	各地区で生活習慣病予防のための講座や郷土食・行事食継承を行う食生活改善推進員が減少している。 対面講座を大切にしながら、子育て世代への食育ではICTを積極的に活用する等、対象者に合わせて情報提供の方法を工夫する。 地区担当保健師の地区駐在化により、市民のニーズに対応した教室の開催につなげる。	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 荒井 英治郎 准教授	1) 内容評価 ・食育の推進という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、受講者数、実施回数といった「量的指標」のみならず、一次評価でも記載されているようにアンケート調査の結果を活用するなど、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取組みはないか、検討されたい。 ・昨今、食をめぐっては様々な質の情報があふれている。食生活改善員においては、子育て世帯に適切な情報等を提供していくことが求められている。リスキリングやアンラーンの機会を設けていくことも検討されたい。

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

で	又手	ザカザラ	長評 個 衣	(予和 44	十尺	. 邓企形	中的	i手	未 /					
事務事業很		口定常(
担当所属		住推進								連絡	先	34-3	3193	
【事務事		<u>合戦略</u> - * * *												
分野		§ 49 1月 ども・若れ												_
基本施策	1-1		ョ・ 玖月 出産・子育て 、	を援の充実										
総分野	1 = a	ども・若者	音・教育			予	中事業	名	人口定常化事業費					
合 基本施策 計	1-1	結婚・出	出産・子育です	を援の充実	_	算								
画						事業								
事業期間		R4 -	~	会計種別			会計			事業	種別	政策	6的事務	ξ
根拠法令要綱										·		•		
地域区分				施設種別		I -					東北区公	· 政策的	奴弗	
【事業概	亜 .	指 煙	i 1	/尼氏作生力1						J′ 开]	女小匹刀		性貝	_
事業概要	女	기터 기자	<u> </u>				校	象:	指標					
趣旨・目的							G		3 H 13.					
				市民の後押しと ^ス るとともに、若タ			1 J							
業への就職や定				っててもに、石 ¹ 居住する若者の約				2)						
行うもの。									指標					
<u>内容</u>								Т	 結婚新生活支援事業	と 補助金の	·			
1 結婚新生活			(令和4年度~			_ '	ᇄᅪᄱᄊᆚᄶᄬᅒ	~IWNJ7Tr Δ \	VEJIEIV	•				
				して、経済的不 り子化対策重点!			奨学金返還支援事業	美補助金の3	交付件数					
を活用して補	前助金を?			/ リーレッパモボ]	ᄯᄯ	~1.1 Σ		2						
(1) 補助対象 結婚に4		77/2013年日	貸供費田 7	引越費用、リフ:	+ —	/、書田			15.1 4.					
(2) 補助金額	Į					→ 貝 / t.	IJX	Т	指標					
		: 最大707	5、39歳以下の	の夫婦:最大407	万		(1)						
(3) 所得要件 夫婦の所		計金額が4	00万円未満(奨学金年間返済	額控	除)	2	2)						
2 奨学金返還		業補助金	(令和4年度~)			(3	3)						
(1) 補助対象 ア 高等学		学、大学院	完、短期大学	等の在学中に奨	学金(の貸与	·を 効	率:	指標					
受けた者	で、自	ら返還して	ている者				-		10 100					
イ 松本巾 正規雇用		し、巾内に	こ本在・本店を	を有する中小企業	美に5	枕職し	E 0							
ウの年齢か	(35歳未)	満の者					(2	2						
(2) 補助対象 日本学生		基が貸与で	する奨学金 (Н										
(3) 補助金額	及び補具	助期間		<u>.</u>										
年間返還	慰額の2/3	3以内(上)	艮15万円/年、	最大5年間)										
 【今後の方	向性 【													
一次評価(四		₩)												
今後の実施方向	性 継	売		前年周			継糸				2	今後の見る	込み	
結婚をしてい	ない理	虫の1つと		内に余裕がない。	ことが	が近年	挙げら	n	ている。市民が結婚				コスト	. ·
の希望を叶える がある。	ことが	じさるよう	フ、右牛僧の「	引処分所待増加?	と図る	る栓が	的文孩	₹	、継続的に行ってい	八小公安			維持 増	大
											以 4#+=			0
											果縮小	1		-
二次評価(タ	卜部評	斯)												
	が「人」	コ定常化」	という政策	目的に照らし合物	わせ ⁻	て適切	なもの	で	あるか、再検討の約	戻地があ	\			
		的に実施し	Jている場合(まこの限りではク	ない)	ت	の意味	で	は、総合評価の「C	」に関し				
ては妥当である 2)指標の設定)。 ∃										_ \			
・「奨学金返還	支援事			こ関して、R7年原	度の[目標値	をR5年	度	見込みの倍の設定を	を行って				
いるが、その相 3) 今後の方向		食ごれたし	, 10								/			
市民に対する	説明責		支出の観点か!	ら、「成果指標」	ĮΓζ	効率指	標」に	関	しても指標化に値す	する取り	-			
組みはないか、 ・各種アンケー			吉婚 ,かい理は	力に「終済的全 類	必がフ	かいこ	としか	举	げられることが確た	いに多い				
が、根拠として	「採用され	れているき	データが「松ス	本市」の実態に	もその	のまま	適用可	能	か精査する必要はな	よいか、				
	今後同	様の施策を	をより一層充	実していくとする	るなり	らば、	実態を	踏	まえた施策に注力し	ノていく				
必要がある。 ・国の「人口定	常化」	を目的とし	した施策とし ⁻	て、①新婚者を対	対象な	とした	補助金	<u> </u>	②若者を対象とした	ミ補助金				
を交付している	が、人l	コの「定常	常化」という	目的に照らし合物	りせっ	7、 ا	新婚者	Ĺ	と「若者層」を対象	見とした				
				改策と言えるの7 ・出産の2つの事					。 らのとして捉えてい	いのか				
改めて前提を疑	そう必要	はないか。	さらに、「	人口定常化」は村	横断的	的なテ	ーマだ	ځ:	言えるが、「移住推	推進課」				
が当該テーマの ンが必要ではな		メントを行	すうことに限!	やがあるとする7	ならし	ば、終	合的に	₹	ネジメントを行うt	2クショ				
- 10 万 K C 10 0	- V - IJ - 0													

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水拍标	2								
	1	件			131	158	192	R7	68%
活動指標		件			41	200	400	R7	10%
1,1,2,3,4,13,	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝宁伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>【</u> 技	<u> えんコスト</u>	` • ,	人員】						
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算		
<u> </u>	タルコスト	千円	0	0	0	51, 468	77, 124		
事	業費	千円				48, 444	74, 100		
	_{tt} 国庫支出金	千円				12, 684	28,600		
	特県支出金	千円							
		千円							
	受益者負担	千円							
	‴ その他	千円							
	一般財源	千円	0	0	0	35, 760	45,500		
人	、件費合計	千円	0	0	0	3, 024	3,024		
	正規職員	千円	0	0	0	3, 024	3, 024		
	人員	人				0.4	0.4		
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0		
	人員	人							
	会計年度(3類)職員	千円							
	その他職員	千円							
 -	トータルコストの増減維持理由								

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 | C | 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 │ C │概ねなっている

【総								
評価	С							

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

	11 2年/:	支	F		市和 4年及	心心	沉 丁	份争	耒 <i>)</i>						
III.	事務事業領	名長	子健康対策	事業											
	担当所属		健康づくり課							連絡	各先		34-3	3217	
Ц.	関連所属		+ 	_											
			基本情報												-
分野	-+ <i>t</i>		ども・若者・教		* = =										
基本	施策	1-1		子育て支援の	允美	-7	一一古	光 力	ロフはまみを弗						
総合	分野 基本施策		ども・若者・教	X育 ・子育て支援の3	太 宇	予算	甲事		母子健康対策費		_				
合計	基 华.	1 – 1	和煩・山厓・	丁月(又仮の)	元夫	事									
画						業									
事業	期間		~		会計種別	一般	会計			事業	種別			策的事	務
	1法令要綱	母子保	/净注							•					
		母」以) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注		1/ -2-7-7-1						N	_ ^ _	/= W		/===th
	区分				施設種別					予算	要羽	ング しょうしょう	経常・	政策的]経費
		:要	・指標】												
事業	概要							対象指							
趣旨	<u>・目的</u> ここしてがあ	خد ىك =	: マキナができ	こっせんナムギ	して が振知も	、こっ	· 広	1)							
			・子育てができ 支援を行うも <i>の</i>		しく、妊娠期刀	いり士	育								
内容		いロない	文版で打りしい	,				2							
	母子健康手		付(妊娠の届出					活動指	台標						
	保健師が面	前接を行	い、市サービス		育児の見通しを	確認	2								
2	妊産婦・新児の心身の		同 発育と保護者の)育児支援を目	2、発	達	1 7	^乳 幼児健診受診率							
	!察、育児・ 乳幼児健診		談を実施 月、10か月、	1歳6か月、		2 7	ナンライン育児学級	参加人	数						
	問診、身	体測定	、発達観察、医 歳:歯科診察、	医師診察、育児:	Ī	3									
4	二次乳幼児	記健診						成果指	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
→ -			よる相談、心理	組談、言語発	達相談、発達相	談、	精	V	♪ったりとした気分 [™]	で子ども	と過ご	ごせる	時間が	あるほ	親の
	#科医師によ オンライン							1	割合						
			期)の適切な情	舞提供と個別	相談			2							
			活習慣の基盤で	バくりを情報提 ^ん	供										
6	地区におけるのは、		て講詁 達における適切	のが情報担併と	奈旧 古垤			3							
7	多胎児教室		注にのける過失	7.6.旧刊に下し	月儿又 波			効率指	台煙						
	多胎児を育	すててい	る妊婦や保護者	5の子育て不安	の解消と親子の)交流	ì		11/1/						
8	母子支援教		日告かっかりっ	2岛美化出土口	し歩体ナマ叶せ	- 7 +		1							
9			早期からの母子 :事業(松本市歯			at.	,()	2							
			間、定期的な強			もの									
10	私立幼稚園	國歯科集	団指導(松本市	対国科医師会へ	委託)										
	市内私立幼	加稚園(認定こども園)	でのむし歯予	防に関する集団	指導	Ī								
L	△※△士	·台州1													
	<u>今後の方</u>		Тπ												
— <i>j</i>	欠評価(P		<u> </u>		並生用の名	EHH	160	/ (=				A.	<u>«лн</u>	17.	
つ1を 小ユ	の実施方向	引生 5化,佐	一 伝た均うス促剤	*老の増加等に	前年度の紀			続 組が地	覚えていることから、	安心1.		· フ1:	後の見す	<u> </u>	
									ったくいることがら、 -育て期までの切れ目				削減		世士
			援体制の強化を		//////////////////////////////////////	7 (7		, ,	H (M)0, (0) M10E	400 000		上昇	איונים	小庄17万	坦八
											风	維持		0	
												縮小			
=	欠評価(タ	外部評	価)												
	<u> </u>	1 1 1	<u></u>												
	内容評価														
			ことができる環	 鏡を整備して	いくという観点	から	すれ	ば、当	4該事業内容及び総合	評価					
	適正である 指標の設定										\ \ \	\setminus			
			期までの切れ目	ない支援を行	っていく」とい	う目	的に	寄与す	- る指標の一つとして	、当該					
	の設定は妥			10.0 20.0 21.3					9.14 M.						
3)	今後の方向	9性				· ··	. I.T.								
)観点から、「	成 果 指標」「効)率指	襟」	こ関し	っても指標化に値する	b取り組					
	tないか、検 「活動指標」			ショウ シェア シェア シェア シェア シェア シェア シェア シェン シェン シェン アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	人数」が設定さ	:hr	いろ	が. ≙	後は「オンライン」	という					
方法	に留まらす	げ、内容	の充実にも努め	うられたい。	/ \x/ \	. 100	ر د ۲۰	J \ 7	· 広心・コンフーン]	_ 0.)					
• [「成果指標」	として	、「ゆったりと	:した気分で子	どもと過ごせる	時間	があ	る母親	の割合」を設定して	いる	-				
が、 い。	育児時間の)「質」	に関する指標の)みでいいのか	、「母親」の害	合の	みの	指標で	いいのか、再検討さ	これた					
V 1c															

TIH IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈 多田/示	2								
		%	80	96	94	94	100	R9	94%
活動指標	2	人	53	206	329	330	360	R9	91%
	3								#DIV/0!
		%	82	82	81	82	100	R9	81%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
メルギー1日1示	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>【</u>			人員】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年	度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
ト <u>一</u> :	タルコスト	千円	166, 972		189, 931		136, 346		172, 694		147, 240
事	業費	千円	32, 152		28,963		30,062		34, 910		34,620
	上 国庫支出金	千円									
	特県支出金	千円									
	地方債財	千円									
	受益者負担	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	32, 152		28,963		30,062		34,910		34,620
人	件費合計	千円	134, 820		160,968		106, 284		137, 784		112,620
	正規職員	千円	109,620		134, 568		86, 184		105,084		90,720
	人員	人	14. 5		17.8		11.4		13. 9		12.0
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	25, 200		26,400		20, 100		32,700		21,900
	人員	人	8.4		8.8		6. 7		10.9		7.3
	会計年度(3類)職員	千円			-						
	その他職員	千円									
トー	トータルコストの増減維持理由										

【事業の評価】

[目的妥当性評	[価]	1. 事業の目的、	内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価	В	なっている		

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 B なっている

【総	合評価				
評価	В				

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度継続事務事業)

事務事業名	少子化対策事業		
担当所属	健康づくり課	連絡先	34-3217
関連所属			
「市 攻 市	坐 甘 木 桂 却【		•

/ 車	双	申	茶	#	+	愭	報】	
1 ==	<i>T</i> /7;	₩	*	**	4	18	¥IV J	

		<u> </u>					
分野	7	1 こども・若者・教育					
基本	施策	1 − 1 結婚・出産・子育て支援の充実					
総合計	分野	1 こども・若者・教育	予	中事業名	少子化対策事業費		
	基本施策	1-1 結婚・出産・子育て支援の充実	算				
			事				
画			業				
事業	期間	~ 会計種別	一般	绘計		事業種別	政策的事務
根拠法令要綱				E後ケア事 第	美実施要綱、松本市産 後	愛ケア事業実施要	網、松本市産婦
		健康診査県外受診等補助事業実施要綱、松本市不如	£治療	財成事業別	実施要綱、松本市不育症	E検査費用助成事	
地垣	区分	施設種別				予算要求区分	経常・政策的経費

【事業概要・指標】

事業概要	対象指標
<u>趣旨・目的</u> 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、産後のケアや保健師・助産	①
師等による保健指導を行い、育児不安の解消を図るもの また、不妊・不育症治療をしている夫婦に対して、経済的負担の軽減を 目的に、不妊・不育症検査・治療費の助成を行うもの	2
日門に、小灯・小月征快旦・石掠貝の助成で1] プロの	活動指標
<u>内容</u> 1 育児ママヘルプサービス	① 産後ケア事業 利用人数
育児不安等、育児困難者支援のため助産師が訪問し、育児援助・助言 をするもの	② 産婦健診 受診延べ人数
2 産後ケア事業 育児不安等、育児困難者のため、入院やデイケアにより産後の健康管	③ こうのとり支援事業 助成数
理と育児指導、乳房管理等を実施するもの	成果指標
3 母子保健コーディネーター配置事業 子育てを包括的に支援するため、子ども子育て安心ルームを設置 母子保健コーディネーターを配置し、庁内・外の関係機関と連携する	① 子育てに負担を感じた時に対処法のある母親の割合 (4か月児健診時調査)
ことにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築するもの (健康づくり課に専任で1名配置)	2
4 産婦健診事業 産婦の身体的機能の回復や精神状態を把握し、産後うつの早期発見や	3
新生児への虐待防止をはかるもの	効率指標
5 不妊治療助成事業(こうのとり支援事業) 不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用	①
分の医療費の一部を助成金として交付するもの 6 不育症治療費助成事業	2
不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減をはかるため、医療 費の一部を助成金として交付するもの	

【今後の方向性】

一次評価(内部評価)				
今後の実施方向性 継続 前年度の結果 継続	今往	後の見込み		
少子化が進む中で、育児に不安を持つ親が増えていることから、安心して育児ができるよう事業の充実を図		コスト		
るとともに、関係機関との連携等妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行い、相談・支援体制の強		削減 維持 増え	大	
化を図ります。	上昇			
	成業持	0		
	縮小		_	
二次評価(外部評価)				
1) 内容評価	\setminus			
・安心して妊娠・出産・子育てを行うことができる環境を整備していくという観点からすれば、当該事業内 のRAが終入団には、第一でよる。				
容及び総合評価は、適正である。 2)指標の設定	$ $ $ $			
■2 / 指標の設定 ■・「育児不安の解消」、「不妊・不育症治療」対象者のための助成を前提とした場合、当該指標の設定は妥				
当である。				
3) 今後の方向性				
・今後も育児環境の充実を図っていくとするならば、公金支出及び市民に対する説明責任の観点から、「成				
果指標」「効率指標」の設定に関しても検討されたい。				
・「成果指標」として、「子育てに負担を感じた時に対処法のある母親の割合」を設定しているが、「4か				
月」時点での健康診断時調査で妥当なのか、「母親」を対象とした指標だけでいいのか、再検討されたい。				

KIH IV	٠,								
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水拍标	2								
	1	人	100	63	69	69	設定なし		#VALUE!
活動指標	2	人	2,901	2,835	2,847	2,835	設定なし		#VALUE!
	3	人	264	224	121	120	設定なし		#VALUE!
	1	%	86	82	84	85	100	R9	84%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
メルギガロ信	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「也 1 コフト

	<u>没</u>	: 人	` ' ,	人員】				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	一ク	7ルコスト	千円	51, 716	54, 328	126, 577	63, 920	80, 868
	事:	業費	千円	34, 340	33, 628	96, 601	47, 600	61, 380
		」 国庫支出金	千円	11,830	11, 160	12, 725	18, 264	10,870
		符 県支出金	千円					
		特県支出金地方債	千円					
		源 文型日共担	千円	120	30	96	120	10
		**** その他	千円					
		一般財源	千円	22, 390	22, 438	83, 780	29, 216	50,500
	人	件費合計	千円	17, 376	20,700	29, 976	16, 320	19, 488
		正規職員	千円	15,876	18,900	27, 216	15, 120	17, 388
		人員	人	2.1	2.5	3.6	2.0	2.3
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,500	1,800	2,760	1, 200	2, 100
		人員	人	0.5	0.6	0.9	0.4	0.7
		会計年度(3類)職員	千円					
		その他職員	千円					
1	一 ろ	アルコストの増減ネ	維持理由	1				

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 B なっている

【絲	【総合評価】							
評価	В							

事務事業名 ファミリーサポートセンター運営事業 担当所属 連絡先 34-3261 関連所属 【事 務 事 業 基 本 情 報】 分野	
関連所属 【事 務 事 業 基 本 情 報】 分野 1 こども・若者・教育 基本施策 1 - 1 結婚・出産・子育て支援の充実 合計画 基本施策 1 - 1 結婚・出産・子育て支援の充実 算事業期間 事業期間 H8 ~ 会計種別 一般会計 事業種別 政策的事務 根拠法令要綱 松本市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、松本市子育て支援事業利用料助成金交付要綱 地域区分 施設種別 予算要求区分 経常経費	
【事務事業基本情報】	
基本施策 1-1 結婚・出産・子育て支援の充実 総 分野 1 こども・若者・教育 合 基本施策 1-1 結婚・出産・子育て支援の充実 事業期間 H8 ~ 母素 会計種別 中事業名 ファミリーサポートセンター運営事業 事業期間 H8 ~ 会計種別 一般会計 根拠法令要綱 松本市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、松本市子育で支援事業利用料助成金交付要綱 地域区分 施設種別	
番本施策 1-1 結婚・出産・子育て支援の充実 算事業期間 事業期間 H8 ~ 会計種別 一般会計 事業種別 政策的事務 根拠法令要綱 松本市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、松本市子育で支援事業利用料助成金交付要綱 地域区分 予算要求区分 経常経費	
計画 事業期間 H8 ~ 会計種別 一般会計 事業種別 政策的事務 根拠法令要綱 松本市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、松本市子育で支援事業利用料助成金交付要綱 地域区分 施設種別 予算要求区分 経常経費	
事業期間 H8 会計種別 一般会計 事業種別 政策的事務 根拠法令要綱 松本市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、松本市子育で支援事業利用料助成金交付要綱 地域区分 施設種別 予算要求区分 経常経費	
地域区分	
【事 業 概 要 ・ 指 標】	
事業概要対象指標	
趣旨・目的	
核家族・共働き家庭が増加する中、子育て家庭の孤立化を防ぐとともに、 多様な子育てニーズに柔軟な対応ができる子育て環境を整備するもの。	
内容	
育児の援助を受けたい方(0~15歳の子どもを育てている方)と育児の ① 延べ利用件数(活動回数) 援助ができる方が会員となり、会員同士の相互援助により、有料で育児に 即まる援助により、ないまでは、またであまま。	
関する援助活動(子どもの送迎など)を行う事業。 事務局の受付時間(祝日を除く月〜金の午前8時30分〜午後5時)以 はの時間世は、腎分せず、1、0分割は、(東路日野は時間を除く左前7時、左	
外の時間帯は、緊急サポートの受付(事務局受付時間を除く午前7時~午後8時)をしている。 また、ひとい親世帯の低低温世帯に対して利用料の経済を図る。松本東	
また、ひとり親世帯や低所得世帯に対して利用料の軽減を図る、松本市 子育て支援事業利用料助成金制度がある。	
1 対象者の要件 ① (1) 生活保護受給世帯 (2) 明音せき系化系統出事	
(2) 児童扶養手当受給世帯 (3) 子育て支援医療を除く松本市福祉医療費を受給している方 (4) 市民税非課税世帯	
2 助成金額 利用料の1/2	
<u> </u>	
- 【今後の方向性】 一次評価(内部評価)	
今後の実施方向性 継続	
・多様化する子育てニーズに柔軟に対応できるサービスと認識している。 コスト・事業拡充のため、協力会員数を確保し、資質向上に関する取組みを継続する必要がある。 削減 維持 増	大
成 	
本 縮小 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
二次評価(外部評価)	
1)内容評価 ・「子育て家庭の孤立化」に対する対策という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正であ	
る。 2)指標の設定 「Aはおきはマロの473%」「不は、不存在がましたものではようが振りました場合、Wさればある。	
・「多様な育児不安の解消」、「不妊・不育症治療」対象者のための助成を前提とした場合、当該指標の設 定は、妥当である。	
3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り	
組みはないか、検討されたい。 ・「多様な子育てニーズに柔軟な対応ができる子育て環境を整備する」という目的に照らし合わせて、現在	
の事務局体制(緊急サポート受付)で、必要にして十分か、不断の見直しが求められる。	

TIU IN									
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	人	2,663	2, 842	2,825	2,950			
刈水扫标	2	人	188	195	192	210			
	1	回	2, 269	2, 995	2,782	3,080	3,726	R7	75%
活動指標	2	時間	2,954	4, 835	4, 548	4,840	5,856	R7	78%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
双学伯宗	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

			八貝』								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
 -	-タルコスト	千円	11, 287		11,558		11,900		11,951		12,596
1	事業費	千円	3, 289		3, 554		3, 897		3,940		4, 400
	」 国庫支出金	千円	2, 192		2,064		2, 165		2, 186		2, 200
	特 県支出金 地方債 財 受益者負担	千円	2, 192		2,064		2, 165		2, 186		2, 200
	^正 地方債	千円									
	源 受益者負担	千円	4		4		4		4		10
	" ^か その他	千円									
	一般財源	千円	-1,099		-578		-437		-436		-10
	人件費合計	千円	7,998		8,004		8,003		8,011		8, 196
	正規職員	千円	4, 536		4, 536		4, 536		4,536		4,536
	人員	人	0.6		0.6		0.6		0.6		0.6
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,800		1,800		1,800		1,800		1,800
	人員	人	0.6		0.6		0.6		0.6		0.6
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円	1,662		1,668		1,667		1,675		1,860
	カルコフしの描述										

トータルコストの増減維持理由 R3から協力会員向け自動車保険に加入しているため増額となっている。

【事業の評価】

[目的妥当性	評価]	1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになってし	いるか
一次評価	В	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【総合評価】								
評価	В							

令和 5年度	事務事業評価表(令和 4年度	継続	事	务事	業)				
事務事業名	こどもプラザ運営事業									
	こども育成課 建康づくり課						連	洛先	34-3	3261
【事 務 事 業	基 本 情 報】									
基本施策 1 –	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の充実								
	こども・若者・教育 1 結婚・出産・子育て支援の	の充実	予算	中事	業名	こどもプラザ)	軍営事業費			
合 基本施策 1 - ·	1979	.,,,,,	事業							
事業期間	H12 ~	会計種別		会計			事業	種別	政策	策的事務
	市子育て支援センター条例、柞									
地域区分	・ 指 標】	施設種別	子育	て支持	後施 認	ጀ	予算	要求区分	経常・	政策的経費
事業概要	1日 小水】			Ž	付象打	旨標				
<u>趣旨・目的</u> 核家族・共働き家原	庭が増加する中、子育て家庭(の孤立化を防ぐる	ととも	144	1 3	実施個所数				
	子育てしやすい環境づくりと、 支援の拠点 事業 を実施するもの		育報父	: 撰	2					
					舌動打					
<u>内容</u> 1 こどもプラザの		*~ * 2 10 * 10 1	ш		1	育児講座等開催 ————————	回数 			
し、各種育児講座(どもとその保護者が気軽に交え の開催、育児相談の実施、子				2 7	育児講座参加者	数			
援などを行う。	S II . /				3 =	子ども子育て安	心ルーム相談	件数		
	母子保健コーディネーター、こ				式果指標 ② ないが用させ					
くコノジェルシュ、 ひとりに寄り添い ⁷	. 保育課の保育コンシェルジ: ながら、出産から子育て期の	ュか連携し(、- 相談業務を実施	一人		(1) 3	延べ利用者数 				
3 地域子育て支援					2 =	子育て支援事業	補助事業実施	個所数		
子育て支援事業を	援活動の推進と充実を図ること 行う団体及び個人に、補助上	限3万円の補助会			3					
■ 交付するもの(補助 ■	助対象経費は、講師謝礼・消耗	耗品など)			効率打	旨標				
				_	1					
					2					
				-1						
【今後の方向性										
一次評価(内部語 今後の実施方向性		前年度の約	誄	継	続			4	今後の見	<u>込み</u>
・こどもプラザ4館1	こ設置している子ども子育てst 業務を実施している。					は、身近な場所	で一人ひと			コスト 維持 増大
・令和5年度には、て支援体制の充実を	子育て支援センター(こども゛	プラザ)及び安心	いルー	ムを	新規(こ開設し、南部	地域の子育	成 上昇	+	
								果 維持 縮月		
二次評価(外部語	平価)									
1) 内容評価・「子育て家庭の孤っ	立化」に対する対策という観:	 与からすれば、≧	当該事	業内:	容及1	が総合評価は.	適正であ			
る。 2) 指標の設定		111/3 3 3 4 0 1010 -	JPV 7	.>/\\	п /^\					,
・「子育て家庭の孤」 回数・参加者数・相	立化」対策に対する評価の一 ⁻ 談件数・利用者数、実施個所数									
3) 今後の方向性	要はないか、検討されたい。 責任や公金支出の観点から、	「成果指標」「対	効率指	標」	に関し	しても指標化に	値する取り			
組みはないか、検討さ										
題はないか利用者に。 て過ごせる空間と、(よる実態調査等を実施すると「他の世代が自由に過ごせる空	司時に、「多世行	弋交流	」を	掲げる	る中で、未就学	児が安心し			
	味での「拠点」たらしめている は、指標設定や事業運営に関い 検討されたい。									

KJH 1/3V		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	か所	4	4	4	5			
刈 家阳惊	2								
	1	回/年	169	169	200	190	200	R7	100%
活動指標	2	組/年	1,913	2,079	2, 732	2,500	2,700	R7	101%
	3	件/年	3, 411	4, 300	3, 275	4,000	4,500	R7	73%
	1	人/年	42, 591	44, 406	43, 543	40,000	50,000	R7	87%
成果指標	2	か所	26	26	26	26	26	R7	100%
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈平 油棕	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

①実績と目標値がかけ離れているため、目標値を実態に合わせて現実的な数値に修正した。 ②地域の特性等もあるため、全地区での実施を目標設定するよりも、活動する拠点数の増加を目標とすることで、市全体としての子育て 支援活動の推進を目指すため。

【投入コスト・人員】

	11X			八貝』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
	· <u></u> /	タルコスト	千円	69, 611		67, 220		77, 235		70,406		100, 708
	事	業費	千円	9, 419		8, 266		17, 112		10, 283		28,850
		」 国庫支出金	千円	2,894		2, 745		3,050		3, 414		3,506
		特景支出金	千円	2,894		2, 745		3,050		3, 414		3,506
		定地方債 財 采	千円									
		源受益者負担	千円	78		30		42		39		70
		‴ その他	千円									
		一般財源	千円	3,553		2,746		10,970		3,416		21,768
	人	件費合計	千円	60, 192		58, 954		60, 123		60, 123		71,858
		正規職員	千円	2, 268		2, 268		2, 268		2, 268		2, 268
		人員	人	0.3		0.3		0.3		0.3		0.3
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	45,000		45,000		45,000		45,000		54,000
		人員	人	15.0		15.0		15.0		15.0		18.0
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円	12,924		11, 686		12,855		12,855		15,590
L		クルコフしの描述		_								

トータルコストの増減維持理由 R3はエアコンの改修工事があったため、事業費が増加している。 R5に、芳川こどもプラザ開設に伴い、事業費が増加している。

【事業の評価】

F 1. NIC AN INI	Part 4	
[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、内容、	、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価B	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【総	【総合評価】									
評価	В									

令和 5年度	事務事業評価表	(令和4年度	継続	売事	務事	■業)						
事務事業名	つどいの広場事業											
担当所属	こども育成課						連絡	各先		34-	3261	
【事務事業	 : 基 本 情 報】											
分野 1	: 金 / Tr IP TK											
基本施策 1-	- 1 結婚・出産・子育て支	援の充実			- 1 14 <i> </i> 2-	1ついいの片田吉米						
総 分野 1 基本施策 1 - 計	こども・若者・教育 - 1結婚・出産・子育て支	:揺の充実	予算	甲事	業名	(つどいの広場事業						
計		.J/X • 7 7 6 7	事									
事業期間	H17 ~	 会計種別	業	会計			事業	括則		ī.h:	策的事務	攵
	<u>''''/</u> 	•	ענ <i>ו</i>	云山			尹未	:作里刀リ		以.	RUJ T	ח ח
	NIJ JC NV)広場事未天旭安 		フガ	マキ	+ 2+/-:	≣π	マ哲		マハ	《文学》	7弗	
地域区分	• 指 煙】	施設種別	丁月	(文	援施	īΣ	丁昇	安冰	之 万	経常経	E 其	
事業概要					対象	指標						
<u>趣旨・目的</u> 核宏族・共働きる	マロック マスティア アロファイス アロファイ アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイ	2克の孤立化を味べ)	- L-±	-	1							
に、身近な地域で、	子育てしやすい環境づくり											-
や交流できる場を整	登備するもの				2	114.17						
.					活動	指標						
	こその保護者が気軽に交流で				1	つどいの広場延べ利原	用者数					
	D開催、育児相談等を行う。 D育児参加を促すことを目的 Beを実施している				2	休日つどいの広場延ん	べ利用者	数				
	あと 文 心ひている。				3							
1 実施日時 月曜〜金曜日	(祝日・年末年始は除く)の	午前9時~午後2時	寺		成果	指標						
	フター「なんぶ すくすく」				1							
2 実施場所(2 ² ・あがた児童セン	 カ所) レター ・高宮児童センター	- ・沢村児童センタ	ター		2							
・寿台児童館・菅野児童センタ	・芳川児童センター	・南部児童センタ	ター		3							
・二子児童センタ	ター ・鎌田児童センター	・ 山辺児童センタ	ター		効率	 指標						
・岡田児童センタ ・中山児童センタ	ター ・田川児童センター	・和田児童センタ			1							
・新村児童センタ		・・四質支所			2							
	ター「なんぶ すくすく」	·										
月1凹、口唯口	日または祝日に休日開館(午	·則9吋~十伖5吋 <i>)</i>										
【公然の士台』	/- -1											
【今後の方向性 一次評価(内部												
今後の実施方向性	継続	前年度の紹			迷続				今	多の見	込み	
	R護者を対象に、身近な場所		相談	炎がて	ぎきる	場を提供することに、	より、	/			コスト	A4 I
・利用者数は、少し	て支援の充実が図られている 子化や未満児の保育園利用の	増加により減少傾向			ヾ、こ	.どもプラザ、子ども -	子育て		上昇	削减	維持	胃天_
安心ルーム等の体制	削強化に合わせて、効果的な	は 事業運営の検討が必	必要。					以甲	維持		0	
二次評価(外部	証価)							710	縮小			
1)内容評価	「 【立化」に対する対策という	知占からせれば 2	ਪ≡ ਨ ਰ	= *** rt	155 T	水份人並在は 第二	~±					
る。なお、担当課題	(1977年) (1977年) 1977年 1977	ている点からも明ら	かな	よう				\				
2) 指標の設定にて ・「子育て家庭の扱	ついて 瓜立化」対策に対する評価の)一つとして、当該打	旨標 <i>0</i>)設定								
個所数・利用者数と 検討されたい。	こいった「量的指標」のみな											
	月責任や公金支出の観点から	,、「成果指標」「対	効率指	[標]	に関	しても指標化に値する	る取り					
	fされたい。 zンター・支所ごとに、個別 - 少子化や未満児保育の保育											
とが推察されるが、 い。	ッサルド不例允休月の休月	図別用の割用を右属	J U Æ	· 、※	IJ ~~ ~□`	1は尹未進占で保糸さん	16/ご					

TIH IN	- •								
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	個所	21	21	21	21			
刈水扫标	2								
	1	人/年	66, 111	67, 225	64, 812	65,000	70,000	R7	93%
活動指標	2	人/年	242	273	192	300	300	R7	64%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈平伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	<u>.1又</u>			八貝』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	一夕	'ルコスト	千円	54, 743		58, 094		58, 503		58,506		58,506
	事	業費	千円	53, 987		57, 338		57, 747		57,750		57, 750
		₊₊ 国庫支出金	千円	17, 995		19, 112		19, 249		19,250		19, 250
		特県支出金	千円	17, 995		19, 112		19, 249		19,250		19, 250
		定地方債 財	千円									
		源 安益百貝担	千円									
		が その他	千円									
		一般財源	千円	17, 997		19, 114		19, 249		19, 250		19, 250
		牛費合計	千円	756		756		756		756		756
		正規職員	千円	756		756		756		756		756
		人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
		人員	人									
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
 	一	'ルコストの増減	維持理由	7								

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 C 概ねなっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 C 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 C 概ねなっている

【総合評価】									
評価	С								

令和 5年	度 事務事業評価表	(令和4年度	と 継続事	務	事業)			
事務事業名	子育てサポーター訪問	事業						
担当所属	こども育成課					連絡先	34-3261	
関連所属	<u> </u>							
分野	未 埜 午 頂 報』 1 こども・若者・教育							
基本施策	1-1 結婚・出産・子育て支援 1 こども・若者・教育	色の充実	[元 [由	古光く	3 子育てサポーター訪!	31 古光		
総 分野 合 基本施策 計		受の充実	算	事業名	丁月でサポーター訓	<u>叩争未</u>		
計 画			事					
事業期間	H22 ~	会計種別	一般会記	Ħ		事業種別	政策的事務	
根拠法令要綱	松本市子育てサポーター訪問事業	美施要綱、松本	市子育で	支援事	業利用料助成金交付要	綱		
地域区分		施設種別				予算要求区分	経常経費	
【事業概要 事業概要	要・指標】			1++4	,+C .III			
趣旨・目的					指標 体類会員数			
	き家庭が増加する中、子育て家履 「てニーズに柔軟な対応ができる -			1	依頼会員数			
の。		円で応じ正面	, 00	2	サポーター数			
				活動	指標			
	保育や育児に伴う家事援助を希望			1	延べ利用件数(活動回	数)		
事務局の受付	講座を修了した支援会員が訪問し 時間(祝日を除く月〜金の午前8	3時30分~午後	5時)以	2	活動時間			
後8時)をして				3				
	親世帯、低所得世帯に対して利原 利用料助成金制度がある。	月料の軽減を図る	、松本市	成果	指標			
1 対象者の)要件 護受給世帯			1				
(2) 児童扶	養手当受給世帯	中ナボのし マいつ		2				
(4) 市民稅	支援医療を除く松本市福祉医療費 非課税世帯	食を支給している	Л	3				
2 助成金額 3 助成限度	i 利用料の1/2 額 月額 10,000円				 指標			
				1	1110			
				2				
【今後の方	<u></u> 向性】							
一次評価(月]部評価)							
今後の実施方向 ・支援者派遣に	性 継続 よる自宅での保育や育児に伴う	前年度の紀 記載表記 前年度の紀 前年度の紀		拡大 年々高	まってきていると認識		後の見込みコスト	
いる。	、安定した事業運営をするために						削減 維持 増大	
成講座の継続実	施、協力会員の増員に向けた取締	且みが必要である。	0			成 維持	0	
・また、利用料 いく。	助成については、ひとり親家庭 ^や	の低所得世帯の経済	済的貝担(の軽減	はを凶るため、継続美施	果福小		
二次評価(タ	 							
1)内容評価								
「子育て家庭	[の孤立化] に対する対策という	見点からすれば、	当該事業	内容及	なび総合評価は、適正で	a l		
る。 2)指標の設定								
	₹の孤立化」対策に対する評価の- 引といった「量的指標」のみならす							
記 討されたい。 3) 今後の方向								
・市民に対する	説明責任や公金支出の観点から、	「成果指標」「	効率指標.	」に関	りても指標化に値する	取り		
組みはないか、 ・ひとり親世帯	・低所得世帯に対する利用料軽源	成のための助成金	制度とし	て、禾]用料の半額補助を行っ	てい		
	て十分か、利用実績等を勘案して 接会員の力量形成と支援の質の「				支援会員の発掘・養成	; · 事		
	当該事業の支援会員の力量形成と支援の質の向上がますます重要となるため、支援会員の発掘・養成・事							

11D IN	<u> </u>								
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	人	1, 299	1, 460	1,528	1,660			
刈 家田宗	2	人	128	131	138	146			
	1	回	1, 361	2, 341	2, 382	2,420	2,928	R7	81%
活動指標	2	時間	3,656	5, 638	6,002	6,083	7,360	R7	82%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈平旧宗	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

R2はコロナで利用が大きく減少したが、R3からは回復した。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	XL	<u> ハ コ ハ 1</u>		八只』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	ータ	'ルコスト	千円	8, 271		8, 270		8,922		8,923		9, 122
	事第	業費	千円	1, 246		1, 245		1,897		1,898		2,040
		国庫支出金	千円									
		特県支出金	千円									
		定地方債	千円									
		受益者負担	千円									
	ľ	その他	千円									
		一般財源	千円	1, 246		1, 245		1,897		1,898		2,040
	人作	牛費合計	千円	7,025		7, 025		7, 025		7,025		7,082
	[正規職員	千円	5, 292		5, 292		5, 292		5, 292		5, 292
		人員	人	0.7		0.7		0.7		0. 7		0. 7
	1	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	900		900		900		900		900
		人員	人	0.3		0.3		0.3		0.3		0.3
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円	833		833		833		833		890
			.44.14.7m.4	_								

【事業の評価】

F.D. No. 45 bl. Ibel
[目的妥当性評価]1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
B │なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	合評価		
評価	В		

トータルコストの増減維持理由 サポーター向けの自動車保険に加入した。

令和 5年度	事務事業評価表 (令和4年度)	継続	売事務事	事業)		
事務事業名	放課後子ども教室推進事業					
担当所属	こども育成課				格先	34-3261
関連所属					·	
	基本情報】					
分野 1 基本施策 1 -	こども・若者・教育 - 1 _ 結婚・出産・子育て支援の充実					
		予	中事業名	┧放課後子ども教室推進事業	費	
総 分野 1 合 基本施策 1 - 計 -	- 1 結婚・出産・子育て支援の充実	算				
画		事業				
事業期間	H20 ~ 会計種別 -		会計	事業	種別	政策的事務
根拠法令要綱	♡・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要 ♡・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要	綱合				
地域区分	文·家庭·地域建振励力推進事業負補功並美施安 	낁		予算	要求区分	圣常・政策的経費
【事業概要				13.7		T.11>/2/4: 3/1±>/
事業概要	13.12		対象	指標		
趣旨・目的 地域の方々の参照	国を得て、子どもたちと勉強やスポーツ等を実施	オス	(- D			
	まではて、」ことだって超強でスパープをできた。 果後の安全・安心な居場所づくりを推進するもの					
			2	IV III		
内容				指標		
1 実施内容 	牧室等を利用し、放課後の児童に対し、安全で安	心な		延べ利用者数		
	そこで様々な体験活動や異学年との交流を行う		2			
2 実施場所	6-1414-6-11111		3			
	後子ども教室(源池小学校内) 後子ども教室(奈川文化センター夢の森)			15.1 2		
(3) 明善小放課後	後子ども教室 (松原地区町内公民館)			指標		
(4) 安曇小放課後	後子ども教室(安曇育成館)		1			
3 活動時間 (1) 源池小学校	1.4時2.0分から1.6時2.0分		2			
	14時30分から16時30分 15時から17時					
(3) 明善小学校 (4) 安曇小学校	14時30分から17時30分 15時から18時		3			
	1.21点が、2.1.01点		効率	指標		
			1			
			2			
【今後の方向性	41					
一次評価(内部	_					
今後の実施方向性	継続 前年度の結		継続		今後	の見込み
・放課後子ども教室 +、たちに勉強やスポ	とは、親の就労等に関係なく全ての児童を対象と パーツ、地域住民との交流の場が提供できている	して	おり、地 贈出てい	!域住民の参画を得て、子ど ス.		コスト 削減 維持 増大
・今後は、地域や学	学校、コミュニティスクール等と連携しながら、				上見	刊, 水田, 大田, 大田, 大田, 大田, 大田, 大田, 大田, 大田, 大田, 大
提供できるよう調整	巻を図る。				以 維持	0
二次評価(外部	≕(冊)				~ 縮小	
<u>—/八計 (71部)</u>	<u>ет іш / </u>					
1)内容評価	* の中へ - 中 > +> 日担デー・/ 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F-4-				
	後の安全・安心な居場所づくり」の推進という観 他方で、担当課自身が総合評価を「C」としてい					
善が必要であること	こが推察されるため、早急に事業の再検討を行う				\	
	こして、当該指標の設定は、妥当である。他方で			いった「量的指標」のみな		
らず、「質的指標」 3)今後の方向性	に関しても設定していく必要はないか、検討さ	れた	:U0			
・市民に対する説明	月責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効	率指	「標」に関	しても指標化に値する取り		
組みはないか、検討 ・放課後の安全・安	すされたい。 P心な居場所づくりを推進していく際に、現状の	4つ(の子ども	教室は、居場所環境として適		
切なものとなってい	いるのか、各子ども教室間での情報共有も積極的	に行	うことで	、共に学び合い、質的向上		
	がある。特に、今後、コミュニティスクール等と 5見直しが必要となることが予想される。	 の連	計秀・ 筋俚	」と悮糸9る場合は、塚現、		
	.,					

11 <u>1</u> 1 <u>1</u> 1 <u>1</u>	<u> </u>	JE 121							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕油棕	2								
	1	人	4, 731	4, 899	3, 515	4, 572	9,500	R7	37%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1							_	#DIV/0!
刈半拍 标	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

新型コロナウイルス感染症拡大により、休止の期間が増えたため。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

			八貝』								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2	年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
 -	·タルコスト	千円	8, 168		7, 780		7, 261		6,770		8,648
=	事業費	千円	5,600		5, 212		4, 693		4, 202		6,080
	」 国庫支出金	千円	491		683		1, 377		1, 185		1,920
	符 県支出金	千円	491		683						
	特定 地方債 受益者負担	千円									
	短 受益者負担	千円									
	"" その他	千円									
	一般財源	千円	4, 618		3,846		3, 316		3,017		4, 160
	人件費合計	千円	2,568		2,568		2,568		2,568		2,568
	正規職員	千円	2, 268		2, 268		2, 268		2, 268		2, 268
	人員	人	0.3		0.3		0.3		0.3		0.3
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	300		300		300		300		300
	人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									
L	カルコフトの描述	www.thttm.d		·							

トータルコストの増減維持理由

新型コロナウイルス感染症拡大により、休止の期間が増えたため。

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 C 概ねなっている

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 C 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

【絲	合評価		
評価	С		

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度継続事務事業)

事務事業名		病児・病後児保	月 事 業 ———————									
担当所属		こども育成課							連絡先		34-326	51
関連所属		基本情報】										
上手 		<u> </u>	,									
基本施策	1 –		育て支援の充実									
		こども・若者・教育			予	中事	業名	病児・病後児保育事業	Ę			
総 合 基本施策 計	1 –	1 結婚・出産・子	育て支援の充実		算							
画					事業							
事業期間		H12 ~	会計種別			会計			事業種別		政策的	事務
	松本		要綱、松本市病後児倪	 保育事			出		3 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3 3/2
地域区分	12 1	1-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1	施設種別	11133	->/->	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			予算要求区	文分 糸	¥常・政策	的経費
【事業概	要	・指標】	NOBY 12.733						3 71 2 3 1			い。シリエンへ
事業概要	$\widehat{}$	10 10/2				Ż	才象	指標				
趣旨・目的			1-#-#-/ 1 N-#- > 1 ± 1 N/4				(1)					
核家族・共働 環境の充実を図			震養が安心して就労る	できる	5子育	-						
<u>内容</u>							2	IL.II				
1 病児保育	ナンン	の促進 者 が安心して	就労できる子育て環境	きので	き宝さ			指標				
図ることを目	的と	して、市内在住また	- 祝力できる子自で現場:は市内に勤務している 中の児童の保育を行うも	る保護				病児保育延べ利用人数				
主後5カ月が (1) 実施日 (2) 実施時間			盆・年末年始を除く)				2	病後児保育延べ利用人数	效 ————————————————————————————————————			
(3) 実施場所	r・定	員					3					
		児保育室ひだまり・ あずさ病児保育室バ				F		指標				
ウ丸の内	病院	病児保育施設わかは 療センター病児保育	ぎ・10人				1					
2 病後児保育		原ビノメ 一個元体目]主:0八				2					
共働き世帯	など		就労できる子育て環境				3					
利用日現在満	計1歳	から就学前の病気回	:は市内に勤務している]復期(病気は治癒して			_ L		指標				
ある児童の保 (1) 実施日	育を	、看護師と保育士か 月〜金曜(祝日・					1					
(2) 実施時間 (3) 実施場所		午前8時から午後こどもプラザ・南	66時				2					
(=) 2(32 3377)												
						- 1						
【今後の方	向性]										
一次評価(内												
今後の実施方向]性	継続	前年度			継				今後	の見込み	
			るために必要不可欠な					る。 ±向上を図る必要がある		<u> </u>	コス	-
でである。	大心	29 2/20/1CF N/E	1到の元式した。1017日内	∀ ′	ሊባጤ.	日 Vノイ!	川天川	IID工で図る必安かのの		上昇	削減 維持	引
										維持		0
	1 4-2-	- /\							不	縮小		
二次評価(タ	小計	<u> </u>										
1) 内容評価												
・「保護者が安								該事業内容及び総合評価				
			「総合評価を「C」とし 「急に事業の方向性のF					うかなように、何らかの ある。	改善 \	\setminus \vdash		
2) 指標の設定	2								Zı +>			
らず、「質的指	標」		徒には、安ヨである。1 「いく必要はないか、f				ХĊ	いった「量的指標」のる	7'4			
	説明		見点から、「成果指標」	Γά	办率指	[標]	こ関	しても指標化に値する耳	取り			
組みはないか、 ・「PR活動の強			として掲げられている	が	単か	る広報], \ ¹	ソール活用といった意味				
まらない、サー	-ビス	の質的充実が求めら	れていると思われる。					山形村と情報共有をした				
り、ヒンヨンを	:共有	しながらの事業展開	で快削されたい。									

KJI IN	"	単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
	1	1 12	II E I IZZZIA	N O I IZZZIJA	N 1 DONA	11 0 1 22 3 2 2			~
対象指標	2								
	1	人/年	773	1,603	1, 755	1,760	1,800	R7	98%
活動指標	2	人/年	96	404	270	300	350	R7	77%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
热索比描	1								#DIV/0!
効率指標	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

- ・R2からR3にかけてコロナウイルス感染症が増加し、咳・鼻水等の軽い症状でも保育園で受け入れてもらえないケースが非常に多くなった。そのことに伴い、病後児保育を利用する家庭が急増したことによる実績の増。(病後児) ・R2はコロナウイルス感染症の流行に伴い、利用者が激減した。R3からは利用者が回復した。(病児)

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	<u>.]X</u>	<u> ハ コ ハ 1</u>		八只』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	ータ	7ルコスト	千円	45, 509		47, 872		52, 648		53,687		63,882
	事	業費	千円	39, 497		41,860		46,636		47,675		57,870
		国庫支出金	千円	12, 996		13, 862		15, 538		15,842		19, 290
		特県支出金地方債	千円	12, 996		13, 862		15, 538		15,842		19, 290
		地方債	千円									
		受益者負担	千円	509		273		226		396		360
		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	千円							1,226		960
		一般財源	千円	12,996		13, 863		15, 334		14, 369		17,970
	人作	牛費合計	千円	6,012		6,012		6,012		6,012		6,012
		正規職員	千円	1,512		1, 512		1, 512		1,512		1,512
		人員	人	0.2		0.2		0.2		0. 2		0.2
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	4,500		4,500		4,500		4,500		4,500
		人員	人	1.5		1.5		1.5		1.5		1.5
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円		_				_			
	-		744+ TITI 4					•				

- トータルコストの増減維持理由
- ・R3から認可外保育施設に通っている子も無料になったため受益者負担は減少した。ただし、病児保育に関しては、塩尻・朝日村・山形村と協定 を結び利用可能になったため、利用料・協定金の分が増加要因となっている。 ・コロナウイルス感染症により、病後児保育の利用が大幅に増加し、それに伴い人件費が増加した。 ・病児保育に関しては、R3から委託料の基本額が増加したことにより、事業費が増加している。

【事業の評価】
[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価 C 概ねなっている
[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか
一次評価 C 概ね結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか
一次評価 C 概ねなっている

【総	:合評価		
評価	С		

令和 5年度 事務事業評価表	(令和4年度	継統	売事	<b>务事</b>	業)		
事務事業名安心子育て応援事業							
担当所属 こども育成課					連	絡先	34-3261
関連所属							
【事務事業基本情報】							
分野 1 こども・若者・教育 基本施策 1 − 1 結婚・出産・子育て支	援の充実						
総 分野 1 こども・若者・教育		予	中事	業名	安心子育て応援事業費		
合     基本施策     1-1     結婚・出産・子育で支援	援の充実	算					
画		事業					
<u> 事業期間                                   </u>	会計種別		会計		事	<del>集種別</del>	政策的事務
根拠法令要綱					,		
地域区分 —	施設種別	<b>工</b> 台	て支持	5年	<u> </u>	5 更	政策的経費
【事業概要・指標】	心改作生力。	丁月	(X)	友心心	ζ   ]/-	异女小凸刀	以來的柱貝
事業概要			]	付象指	<b>5標</b>		
趣旨・目的	1 = 1 1 1 1	ı— .		1)			
│ 核家族・共働き家庭が増加する中、育児の孤 ど、子育て環境を整備するもの。安心して子育			١.				
ことで、第2子以降の出産に希望を持つことがで	でき、人口の自然増	につ	なが	2			
ることが期待される。			3	舌動指	<b>á標</b>		
内容			ľ	1) =		の受講者数	
1 子育てを支援する人材を発掘、育成するた 予防など、子育てに関する内容の「子育てサ			\ \ -				
予防など、于月でに関する内谷の「于月でり   開催(本講座の修了が、子育てサポーターの		~		2	「はぐまつ」のアクセス数		
(1) 子育てサポーター養成講座 全20講座 (2) 開催期間 7月から11月まで				3			
(2) 開催期間 7月から11月まで   (3) 受講者数(R4実績) 17人				》  成果指	5抽		
うち、14人がサポ	ーターとして登録		,				
2 市内在住で、18歳未満の子どもを育ててい	る世帯に、協賛店で	で買物	7	(I)  -	子育てサポーター登録者数		
割引等の特典が受けられるカードを配布(長				2			
(1) ながの子育て家庭優待パスポート   対象:22,479世帯、市内協賛店:642店舗	<b>i</b>		-				
(2) 多子世帯応援プレミアムパスポート				3			
対象: 2,948世帯、市内協賛店:129店舗	Ħ		3	<b>効率</b> 指	<b></b>		
3 市内の子育てグループや子育て支援団体、			١	1			
│ け、ネットワーク化し、子育てを支える人材 │	や団体を発掘・育成	K		2			
4 インターネットサイト構築	- 0 ft. TIIVII 44						
松本市子育てコミュニティサイト「はぐま	つ」の官埋連宮						
TA Was Late W. S.							
【今後の方向性】							
<u>一次評価(内部評価)</u> 今後の実施方向性   継続	前年度の紀	<b>B</b>	継	结		1 2	今後の見込み
→後の実施刀向性   極続  ・核家族化が進展する中で子育て世帯へのサポ					別用した情報提供の重要性		カケスト
がますます高まっていることを踏まえ、市民二							削減 維持 増大
を整備していくことが必要と認識している。						成 上昇	
						果縮小	
二次評価(外部評価)						L'HILE	
1)内容評価  ・「育児の孤立化の防止や就労支援」を軸とし	た子育て環境の整備	まとし	\う観	点から	らすれば、当該事業内容及		
び総合評価は、適正である。	10 1 13 C 25K-500 2 TE W	ı, — v	Σ μ/υ	,,,,,,			
2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、	妥当である。 他方で	る。	計	座の 🤄	受講者数 サイトアクセス		
数といった「量的指標」のみならず、「質的指							
3)今後の方向性  ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から	. 「成果指煙」「な	加密指	≦煙 □	二閏	,ても指標化に値する取り		
組みはないか、検討されたい。							
・現在、全20からなる子育てサポーター養成講 る。R4実績では20名弱となっているが、必要に							
受講者側のニーズ等の確認など、定点観測、効果	果検証を勧められた	÷۱۱。					
・「市民ニーズに応じた効果的な事業展開」と							
る。特に今後は、サイトアクセス数といった点 が求められている。	に囲ぶり9、リイト	* 小山开	泊り	」」当儿3	文台で近していく手耒浬呂		

11D IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
入13人1日1示	2								
	1	人	27	21	17	21	25	R7	68%
活動指標			176, 961	215, 272	226, 026	210,000	220,000	R7	103%
	3								#DIV/0!
	1	人	19	15	14	16	20	R7	70%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝平伯悰	2								#DIV/0!

#### 活動指標の増減維持理由

・活動指標①及び成果指標②について、新型コロナウイルス感染症による受講の控え・キャンセル・欠席が目立ち、受講者数とサポーター登録数に影響した。

#### 成果指標の増減維持理由

#### 【投入コスト・人員】

<u> </u>			八 貝』								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
トータルコスト		千円	5,366		6, 178		8,058		5, 175		6,070
事	業費	千円	1, 286		2, 098		3, 978		1,095		1,990
	」 国庫支出金	千円									
	特 県支出金	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	^約 受益者負担	千円	28		27		21		17		30
	‴ その他	千円									
	一般財源	千円	1, 258		2, 071		3, 957		1,078		1,960
人	、件費合計	千円	4,080		4,080		4,080		4,080		4,080
	正規職員	千円	3, 780		3, 780		3, 780		3,780		3,780
	人員	人	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	300		300		300		300		300
	人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

令和4年度から子育て世帯応援券配布事業を本事業から3歳未満児家庭サポートクーポン事業へ移行したため、トータルコストが変動している。

#### 【事業の評価】

[目的妥当性詞	平価]	1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	)\
一次評価	В	なっている	

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	【総合評価】								
評価	В								

令和 5年原	芰	事務事業評価表	(令和4年度	継網	続事	務事	業)		
事務事業名	<u> </u>	3歳未満児家庭サポー	-トクーポン事業	_					
担当所属		こども育成課						連絡先	34-3261
関連所属									
		基本情報】							
分野		こども・若者・教育							
基本施策	1 –	<u>1 結婚・出産・子育て支</u> こども・若者・教育	援の允実	7	l ma	5 世 夕	/   2 华土港田宝成共式	ピートカーポンすう	<del>"</del>
総 分野 基本施策	1 1 –		:揺の充宝	予算	中月	業名	3歳未満児家庭サポ	ートソー小ノ争	<del></del>
合 基本施策 計	1		.J及V7几 <del>人</del>	事					
画				業					
事業期間		R4 ∼	会計種別	一般	会計		-	事業種別	政策的事務
根拠法令要綱			·						
地域区分			施設種別					予算要求区分	政策的経費
【事業概	要	・指標】							
事業概要						対象	指標		
趣旨・目的	· \ »_	ナウウマクタレスいてファ	<b>マルサ</b> のの文化 + 、	<b>∟</b> → ∴\lr	<b>=</b> 4.4.	1			
的負担の軽減を	図り	を家庭で保育している子育 、家庭での保育を希望する							
	うての	実現を目的とする。				② 活動	指標		
<u>内容</u> <b>1</b> クーポン	ر س≖⊐	右							
ファミサ	ポ及	び一時預かり事業に加えて			_"	(1)	延べ利用件数 		
<del>クラ素</del> (K 子育てショ クーポンの	ート	ら新規)、休日保育事業、 ステイ事業、育児ママヘル	が、一般を元体自動力では、一般の一般の一般では、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	P未、 支える	3	2	チケット利用枚数		
(1) 配付対	象者		 	、マヽ	_n	3			
もの保護		月以降に生まれた、保育園	守に仕耤していない	\ <del></del>	_	成果	指標		
(2) 配付核	数					1			
		異なる 力会員の新たな人材確保策	Ę						
(1) 協力会	員の	受け取る利用料を増額し、	上乗せ分を市が負担			2			
(2) 協力会	貝月	成のため同行研修の実施(	、安補有への報負負え	之紀)		3			
						効率	指標		
						1			
						2			
V A 10 1									
【今後の方									
一次評価(月			146 ± 5 1						N// 0 E \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
今後の実施方向		継続 を通じて、ファミリーサホ	前年度の紹			広大 7.—≅t	: 囲車業の国加につかも		今後の見込み コスト
		ポン利用が増えるほど、受						,,,(	制減 維持 増大
		電子化について検討してい		_,,	, , ,		- BINCE C 0. 00		
								成維持	
								未縮力	\
二次評価(タ	部	<u> </u>							
1)内容評価									
	が経	済的・精神的負担の軽減策	5」という観点からす	tれ!	<b>ば、</b>	該事	業内容及び総合評価は	_{は、適}	
正である。									
2 ) 指標の設定  ・事業評価の-		して、当該指標の設定は、	妥当である。他方で	~. 3	正べま	旧田件	数。チケット利用枚数	物と   <b> </b>	
いった「量的指	镖」	のみならず、「質的指標」	に関しても設定して		く必要	きはな	いか、検討されたい。	\	
・特に、子育て い。	世帯	の「精神的」負担の軽減に	- これらの事業がどの	りよう	っに答	与し	(いるか、冉検討され	て	
3) 今後の方向	]性		F N-11-7		L 1-				
・市民に対する 組みはないか、		責任や公金支出の観点から	o、 「成 <del>果</del> 指標」「交	办率扌	旨標」	に関	しても指標化に値する	5取り	
・サービスの充	実に	伴い、「協力会員不足」と		こ生し	<b></b>	ことか	ら、協力会員に対する	る新た	
なインセンティ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	事業化を検討する必要はな	こいか。						
		に際しては、単体として <i>の</i> 現を模索するなど、検討さ		ょり?	y 、 11	いり毛	ナノーハノとの判除。	選到	

KIH IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水伯倧	2								
	1	回			1,563	1,600	1,700	R7	92%
活動指標	2	枚			3,669	3,700	3,900	R7	94%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈平怕惊	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「坋 フ つ ス ト ・ 人 昌】

11	ダ人」人		人貝】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> </u>	-タルコスト	千円	0	0	0	6, 248	6, 296
Ę	事業費	千円				5, 492	5, 540
	」 国庫支出						
	特県支出金	千円					
	定 地方債 財 采菜 名	千円					
	源受益者負	担 千円					
	‴ その他	千円					
	一般財源	千円	0	0	0	5, 492	5, 540
	人件費合計	千円	0	0	0	756	756
	正規職員	千円	0	0	0	756	756
	人員	人				0.1	0.1
	会計年度(フル、1・2類	1)職員 千円	0	0	0	0	0
	人員	人					
	会計年度(3類)						
	その他職員	千円					
<b> </b> -	-タルコストの	曾減維持理E	<u> </u>				

## 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
	が市の日指す姿を実現するためのものになって	ているか

∃的女ヨ性評価」Ⅰ. 事業の目的、 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 B なっている

【総	【総合評価】									
評価	В									

事務事業名	留守家庭児童対策事業		
担当所属	こども育成課	連絡先	34-3261
関連所属			

一	マケ	由	₩	#	_	ル主	ᄞ	
I₩	羽分	#	耒	奉	4	门目	報)	ı

	尹 /为 尹	未整件用拟							
分野	野	1 こども・若者・教育							
基	<b>本施策</b>	1-1 結婚・出産・子育て支援	受の充実						
総	分野	1 こども・若者・教育		予	中事業名	児童館管理運営事業費			
合	基本施策	1 – 1 結婚・出産・子育て支援	受の充実	算					
計				事					
画				業					
事	業期間	S63 ∼	会計種別	一般	会計		事業種別	政策的事務	
	根拠法令要綱 児童福祉法、松本市児童館条例、松本市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例								
地	或区分		施設種別	子育	て支援施設		予算要求区分	経常経費	

# 【事業概要・指標】

#### 事業概要 対象指標 趣旨・目的 ① 施設数(公設民営) 核家族・共働き家庭が増加する中、放課後留守家庭児童の安全と健やか な成長に資する居場所の確保を図るもの ② 施設数 (民設民営) 内容 活動指標 -児童館・児童センター等(公設民営)29カ所の管理運営 (1) 実施主体 松本市 児童館・児童センター等(公営民営)登録者数平均 松本市社会福祉協議会 (2) 運営主体 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 労働者協同組合ワーカーズコープながの 児童育成クラブ(民設民営)登録者数平均 NPO法人しろがね 四賀次世代育成クラブ福寿草 3 児童館4館、児童センター20館、 放課後児童クラブ4施設、四賀支所内1施設 学校開校日:午後0時30分~午後7時 (3) 実施箇所 成果指標 (4) 利用時間 1 学校休業日:午前8時30分~午後7時日曜、祝日、佐年新年的(12月29日~1月3日) (5) 休館日 2 (6) 対象者 市内の小学校に就学している6年生までの児童 ※ 内田児童館は4年生まで 3 児童育成クラブ(民設民営)12カ所への運営費等補助金の交付 2 (1) 実施主体 民間団体 効率指標 運営主体 NPO法人、保護者会 (3) 実施箇所 開智・旭・田川・菅野・清水・開明・山辺・明善・ 1 鎌田・芳川・島内・寿 学校開校日:午後0時30分~午後7時 学校休業日:午前8時30分~午後7時 (4) 利用時間 2 日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日) (5) 休館日 市内の小学校に就学している6年生までの児童 対象者 (6)

#### 【今後の方向性】

一次評価(内部評価)		
今後の実施方向性  継続   前年度の結果  継続		後の見込み
・少子化により児童数は減少しているが、共働き世帯の増加により、放課後の子どもの預かり需要は増加傾		コスト
向にある。		削減   維持   増大
・小学校区によっては、狭あい化が進んでいる施設もあることから、小学校区ごとに児童数の増減見込みを 把握し、効率的かつ効果的な環境整備を計画的に進める。なお、環境整備にあたっては、小学校など他の公	成 上昇	
1.12   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25   1.25	申一批付	
	縮小	
二次評価(外部評価)		
・「放課後留守家庭児童の安全と健やかな成長に資する居場所の確保」という観点からすれば、当該事業内 なみな終金部件は、第二でもえ、他士で、東衆の、次部件が全て「C」でもえるに対して、終金部件を「D」		
容及び総合評価は、適正である。他方で、事業の一次評価が全て「C」であるのに対して、総合評価を「B」 としている点に関しては再確認されたい。		
2)指標の設定		
<ul><li>▼・「活動指標」に登録者の「平均」を設定しているが、多くの児童館・児童センターや育成クラブがある中</li></ul>	\	
で、実質的な意味をなす指標とは言い難い。再検討されたい。		
3)今後の方向性		
・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り		
組みはないか、検討されたい。  ・需要の増加に対して、施設の狭隘化の課題が顕在化しつつあると思われる。いかなる指標を設定すること		
■ * 需要の塩加に対して、心臓の疾障性の誘題が顕在化しフラのるとぶわれる。いかなる指標を設定するとと  によって計画的な環境整備のための予算計上につなげていくことができるか、現在の場所・運用実態等を考		
虚して再検討されたい。		

TJH 130		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	館	29	29	29	29			
刈豕拍惊	2	館	12	12	12	12			
	1	人	2,884	2, 927	2,868	2,900	3,000	R7	96%
活動指標	2	人	358	320	321	350	350	R7	92%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝争油标	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

	ダ 人 」 人	<u> </u>	人 貝】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<b> </b> -	-タルコスト	千円	180, 820	184, 794	282, 310	296, 090	301, 212
-	事業費	千円	172, 828	176, 802	274, 318	288, 098	293, 220
	」 国庫支出金						
	特県支出金	千円					
	定地方債財産業務	千円					
	源 安益百貝担		89, 394	74, 115	83, 224	87,653	82, 910
	‴ その他	千円					
	一般財源	千円	83, 434	102, 687	191, 094	200, 445	210, 310
	人件費合計	千円	7, 992	7, 992	7, 992	7, 992	7, 992
	正規職員	千円	5, 292	5, 292	5, 292	5, 292	5, 292
	人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	会計年度(フル、1・2類)職	<b>千円</b>	2, 700	2,700	2,700	2,700	2,700
	人員	人	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	会計年度(3類)職						
	その他職員	千円					
<b> </b> -	-タルコストの増	減維持理E	<u> </u>				

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 C 概ねなっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 C 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 ○ C |概ねなっている

【総	【総合評価】								
評価	В								

市和 5年段	事務事業評価		下和 4年段	、水土水	吹 <del>事</del>	労争	·未 <i>)</i>				
事務事業名	保育幼児教育環	境の評価指	<b>信標検討事業</b>	ŧ							
担当所属	保育課							連絡	各先	33-985	7
関連所属	 《基本情報》										
分野 1	<u>こども・若者・教育</u>	<u> </u>									
	- 2 質の高い保育		実現		I	<b>Ш</b> . Љ		÷	#1V=1 <del>=</del> #	<b>∠</b> ##	
総分野1合基本施策1	こども・若者・教育 - 2 _ 質の高い保育・		主現	予算	甲爭	業名	保育幼児教育環境	見の評価指	宗検討事業	費	
計		20101XE000	<u>ر جان</u>	事業							
画画画画	R4 ∼	DE 14	소=11年미		<b> </b> 法計			一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	· <b>4</b> 日 日	<i>፲ተረድ ሰብ</i>	古文
事業期間	K4 ~	R5 2	会計種別	一加又	乙二			尹未	種別	政策的	争伤
根拠法令要綱				ır				1		I	_
地域区分 一		万	<b>施設種別</b>	_				予算	要求区分	政策的経費	Ī
【事業概要 事業概要	き・指標】				Ī	付象技	<b>岩標</b>				
趣旨・目的						1					
● 令和3年12月 り方に関する提言	に市長に提出された 書」に基づき、保育	「松本市新た ^を ・幼児教育の「	な保育・幼児教 質の維持・向	教育 <i>0</i> トを図	ソユエ	<b>U</b>					
	の保育環境評価スケー					2					
内容					3	舌動技	指標				
1 事業内容	らが現状の保育環境の	カ証価及びな	盖を行えるよ <i>う</i>	ว		1					
保育の質を客観	り、総合的に測るスク 議を開催して作成する	ケール(評価	指標)の導入し			2					
(1) 令和4年度		y 0 v )			F	3					
(2) 令和5年度					ı	。					
	児 評価指標作成 の試行及び検証(公和	(, 六周)				1	ㅂㄲㅉ				
2 スケールの導	入時期	<b>以上图</b> /									
令和5年10	月					2					
						3					
					3	功率打	指標				
						1					
						2					
					İ						
【今後の方向											
一次評価(内音 今後の実施方向性			前年度の約	± <del>p</del>	継	结				後の見込み	
	の質を総合的に測る	「スケール」					改善を図る環境を	整備する	7	していたとの	<b>-</b>
	保育・幼児教育の実現 の導入に向けて検討会				<b>悪</b> ) の.	作式(	一取り組みます			削減維持	増大
は他の子(0万		5歳と処して,		щ) <b>Н</b> 12	<b>示/ U</b> /	I FIXI	これが配けるす。		上昇 維持		
									果相相相		
二次評価(外音	『評価)										
										1	
・記載がないため	、コメントが困難でゐ	<b>ある</b> 。									
	、コメントが困難でる	ある。									
3) 今後の方向性			川太道ユニア!	\ _/ D&	数 ¬	ا ا	トラップ吐上デナ	タ小の油			
乱も生じることが	・改善を行うことがで 当然予想される。保育	育・幼児教育(	の質的向上のが	こめ0	の保育	環境語	評価スケールの作	成は、多			
くの就学前教育関	係者がその推移を見る られることを期待した	守っているこ	とから、今後身	具体化	とに際	して、	、関係者間で適切	なコミュ			
	フ110000で別付し/	٥٠١٥									

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度	
対象指標	1									
	2									
	1								#DIV/0!	
活動指標	2								#DIV/0!	
	3								#DIV/0!	
	1								#DIV/0!	
成果指標	2								#DIV/0!	
	3								#DIV/0!	
効率指標	1								#DIV/0!	
<b>刈半拍標</b>	2								#DIV/0!	

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【処 】 コ フ ト 

【扮			人貝】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
7	タルコスト	千円	0	0	0	1,638	1, 742
事	業費	千円				126	230
	<b>国庫支出金</b>	千円					
	符 県支出金	千円					
	地方債	千円					
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円					
	"" その他	千円					
	一般財源	千円	0	0	0	126	230
人	、件費合計	千円	0	0	0	1,512	1,512
	正規職員	千円	0	0	0	1,512	1,512
	人員	人				0.2	0.2
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
	人員	人					
	会計年度(3類)職員	千円					
	その他職員	千円					
<u> </u>	タルコストの増減	继持抽口	]				

トータルコストの増減維持埋由

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 A 市の目指す姿に大きく貢献する事業

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【終	【総合評価】								
評価	Α								

令和 5年度	夏 夏 事務事業評価表	(令和 4年度	継続	売事務事	(業 )		
事務事業名							
担当所属	教育政策課					連絡先	33-3980
関連所属						'	
	業基本情報】						
分野 基本施策	1 こども・若者・教育 1 – 3 個性と多様性を尊重する	学校教育					
総分野	1 こども・若者・教育		予	中事業名	学都松本寺子屋事業費		
合 基本施策 計	1-3 個性と多様性を尊重する	学校教育	算事				
画			事業				
事業期間	R4 ∼	会計種別	一般	会計		事業種別	政策的事務
根拠法令要綱							
地域区分 -		施設種別	_			予算要求区分	政策的経費
【事業概	要 ・ 指 標】					•	
事業概要				対象	旨標		
<b>■1</b> 趣旨・目的 子どもたち(	の学習習慣の定着や基礎学力及び	(自己告定成の向	トを	1			
	がかま 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を						
提供し、地域の	の大人が子どもたちを支える仕組	]みを整えるもの		2			
2 内容				活動技	指標		
	寺子屋事業交付金 庭以外の第三の居場所で子どもた	- 七二学羽士怪かり	十千	1	学都松本寺子屋事業実施	<b>団体数</b>	
相談、体際	験学習等を行う団体に交付金を交		二/白	2			
(2) 寺子屋先生	生・寺子屋サポーター登録 や大学生、地域の大人を中心に子	アンキャナの田ハル	- 実				N H 50
り添い、	学びや体験、学習を通じて、地域	の子どもたちをん	芯援	3			
したい大ノ	人を募集し、寺子屋先生・寺子屋	<b>゚</b> サポーターとして	で登	成果技	<b>省標</b>		
「球りる。」。 ・寺子屋先生	登録者は団体の希望に応じて各団 生・寺子屋サポーターの研修を行	114に紹介する。 「い、質の向上を[	<b>図る</b>	1			
とともに、	、支援者を拡大し、持続可能な仕	組みに繋げる。					
3 効果(対象	・到達点)			2			
	で豊かな学びの機会を定期的に提			3			
	貫の定着、基礎学力、自己肯定感 を実現する持続可能な仕組みを構			効率	指標		
				①			
				2			

#### 【 「今後の方向件】

【今後の万向性】	
一次評価(内部評価)	
今後の実施方向性   拡大   前年度の結果	今後の見込み
・令和4年度から制度開始し、8団体が趣旨に賛同・実施していただいた(当初目標5団体)。今後は活動	コスト
の場が市内全域に広がり、誰もが気軽に学べる居場所として、定着することを目指す。	削減   維持   増大
・令和4年6月に策定した第3次松本市教育振興基本計画では「学びに、遊びや体験を。」と位置付けてお	成 上昇 〇
り、本事業も令和5年度から体験学習を対象範囲に加え、更なる事業拡大を図る。	里
	「編小
二次評価(外部評価)	
1)内容評価	$\setminus$
↓・「地域の大人が子どもたちを支える仕組みの整備」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価 ■は、適正である。	
12) 指標の設定	
・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、実施団体数・登録者数といった「量的	
指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。	
3) 今後の方向性	
・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り	
組みはないか、検討されたい。	
・寺子屋事業に関して、多様な団体の参入を広く認めていくための広報の充実は当然のことながら重要では あるが、事業内容の質的向上のためにもスタートアップ時点のみならず、継続的なコミュニケーションを団	
めるが、事業内谷の負的向上のためにもスタードアップ時点のかなうす、極続的なコミュニケーショブを図   体ととっていくことを期待したい。	
・直接的な運営には関わらない「寺子屋サポーター」の数を増やすためにも、各団体の取り組み(場所、活	
動内容など)の可視化する取り組みや、市内でのマッピング化など検討されたい。	

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
	2								
	1	件/年			8	10	30	R9	27%
活動指標	2	件/年			14	40	120	R9	12%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由 子どもたち誰もが気軽に学べる居場所として、活動の場を市内全域に広げていくため。

成果指標の増減維持理由

「払 ス コ フ ト

	<u>投</u>	人 コ スト	` ' ,	人員】				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<b> </b>	トータルコスト		千円	0	0	0	5, 478	6, 348
	事	業費	千円				3, 210	4, 080
		<b>国庫支出金</b>	千円					
		将 県支出金	千円					
		特 県支出金 地方債 受益者負担	千円					
		受益者負担	千円					
		‴ その他	千円					
		一般財源	千円	0	0	0	3, 210	4, 080
	人1	件費合計	千円	0	0	0	2, 268	2, 268
		正規職員	千円	0	0	0	2, 268	2, 268
		人員	人				0.3	0.3
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
		人員	人					
		会計年度(3類)職員	千円					
		その他職員	千円					
卜-	<b>一</b> ろ	アルコストの増減ネ	維持理由	1				

【事業の評価】

「目的妥当性評価〕1.事業の目的、内容、方向性	‡等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 B なっている

【絲	【総合評価】									
評価	В									

事務事業名	特色・魅力ある学校づくり事業		
担当所属	教育政策課	連絡先	33-3980
関連所属	学校教育課		

#	고	#	7	‡	H	Ŧ	1	Ī
	永圣	#	<del>*</del>	且	$\mathbf{x}$	恉	報】	
1 ==	477	==	*	4	<b>/+</b> \	II 🗆	+IX A	

	, ,,,	717 — 1 113	1 1/4 2						
分野 1 こども・若者・教育									
基本施策 1-3 個性と多様性を尊重する学校教育									
総 分野 1 こども・若者・教育			予	中事業名	特色・魅力ある学校	づくり事業費			
合	基本施策	1-3 個性と多様性を尊重する学校教育			算				
計					事				
画					業				
事業	期間	R4 ~		会計種別	一般	:会計		事業種別	政策的事務
根拠法令要綱 松本市立小中学校小規模特認校への通学支援実施				項					
地域	区分			施設種別				予算要求区分	政策的経費

### 「事業概要・指標」

事業概要	対象指標
<u>趣旨・目的</u> 新たな区域外就学制度として、通学区域に関係なく、市内のどこからで	小規模特認校制(区域外就学)利用児童生徒数
も通学できる小規模特認校制を令和4年度に安曇小中学校に導入したことから、同校への遠距離通学者用のスクールタクシーを運行し、保護者の送迎 負担を軽減するもの	2
<b>東担で軽減するもの</b>	活動指標
内容	① スクールタクシー利用児童生徒数
1 運行区間 波田支所駐車場 - 安曇支所駐車場	2
2 運行台数 片道3台程度	3
1 担3 口性反	成果指標
3 運行便数 (1) 登校時 1 便	•
(2) 下校時 3便(下校時刻が3つに分かれるもの)	2
4 利用登録者数 6名	3
- surrelat	効率指標
5 利用料 (1) 小学生 1,500円/月	①
(2) 中学生 3,000円/月 ※月に1回以上利用した場合は、上記金額を支払うもの	2
6 その他 令和4年度区域外就学者数 15名	

#### 【今後の方向性】

_ 【う後の方門注】	
一次評価(内部評価)	
今後の実施方向性   拡大   前年度の結果	今後の見込み
子どもたちの公教育の多様化として、本制度の周知を継続しつつ、保護者の送迎負担の軽減を図るため、	コスト
スクールタクシーの利用児童生徒数を増やし、児童生徒にとって通学しやすい環境を整備する。	削減   維持   増大
	上昇
	成維持果物地
	* 縮小
二次評価(外部評価)	
1 ) 内容評価	$\setminus$
▲・「特色・魅力ある学校づくり」という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 ■ 2	
<ul><li>■2)指標の設定</li><li>■・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、制度利用児童生徒数、スクールタク</li></ul>	
シー利用児童生徒数といった「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はない	
か、検討されたい。	
3) 今後の方向性	
・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り	
組みはないか、検討されたい。	
■・今後、同様の制度が市内で拡大していくことを想定して、事業の可視化と、予算化のためのエビデンス (大明度が開発を対象) ************************************	
(制度利用者や学校関係者の声、効果検証データ)を蓄積し、情報発信していく必要がある。	

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度			
対象指標	1	人			15	17						
	2											
	1	人			7	12	18	R7	39%			
活動指標	2								#DIV/0!			
	3								#DIV/0!			
	1								#DIV/0!			
成果指標	2								#DIV/0!			
	3								#DIV/0!			
効率指標	1								#DIV/0!			
	2								#DIV/0!			
バイギ 下 田 ツ 1	みくしいん	#4+ TITI										

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「払 1 コ フ

ぇ 人 亅 人 ト	`	人貝】				
年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
タルコスト	千円	0	0	0	1, 703, 180	4, 207, 560
事業費					1, 695, 620	4, 200, 000
田州地刀頂						
受益者負担						
‴ その他						
一般財源		0	0	0	1, 695, 620	4, 200, 000
、件費合計	千円	0	0	0	7,560	7,560
正規職員	千円	0	0	0	7,560	7,560
人員	人				1.0	1.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
	千円					
	年度タルコスト 業費 特定財源 国庫支出金 県支出金 地受益の他 一般財源 件費合計 正規職員 人員 会計年度(3類)職員 その他職員	年 度 単位 タルコスト 千円 業費 千円 国庫支出金 千円 関支出金 千円 に対する 千円 に対する 千円 では地方債 千円 での他 千円 一般財源 千円 上規職員 千円 人員 人 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 人員 人 会計年度(3類)職員 千円 その他職員 千円	年 度 単位 平成31年度 決算 タルコスト 千円 0 業費 千円	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 タルコスト 千円 0 0  業費 千円	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 タルコスト 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 タルコスト 千円 0 0 0 1,703,180   「業費 千円 1,695,620   「特別では 千円 1,695,620   「特別では 千円 1,695,620   「特別では 千円 1,695,620   「中費合計 千円 0 0 0 0 1,695,620   「中費合計 千円 0 0 0 0 7,560   「正規職員 千円 0 0 0 7,560   「人員 人 1.0   会計年度(フル、1・2類)職員 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

トータルコストの増減維持理由

小規模特認校制 (区域外就学) 利用児童生徒数の増加によりスクールタクシー利用児童生徒数も増加すると見込まれることから、スクールタクシーの運行便数が増加しコストが増加するもの

【事業の評価】

目的妥当性評価]	1.	事業の目的、	内容、	、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 │ ( │概ねなっている

【絲	総合評価】								
評価	В								

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事	務事業)
事務事業名  教員研修推進事業(事務局費)	
担当所属教育政策課	連絡先   33-3980
関連所属	
【事務事業基本情報】 分野 1 こども・若者・教育	
基本施策 1-3 個性と多様性を尊重する学校教育	
総 分野       1 こども・若者・教育       予 中事         合 基本施策 1-3 個性と多様性を尊重する学校教育       算	事業名 教員研修推進事業費
事 事	
画     業       事業期間     R4     ~     会計種別     一般会計	
根拠法令要綱	TANEAL
地域区分	予算要求区分   政策的経費
【事業概要・指標】	
事業概要 趣旨・目的	対象指標 
中核市への移行により、公立学校の県費負担教職員の研修が県から移譲	
されたため、教育研修センターを設置し市独自の教職員研修計画を策定するとともに、独自の研修を拡充するもの。なお、指定研修は県に委託す	2
<b>ెం</b> .	活動指標
内容 1 教職員研修計画の策定	① 市独自研修の講座開催数
2 研修の実施 (1) 特別支援教育:7回(訪問型研修は各学校希望日)	② 市独自研修の受講者数
訪問型研修、ブロック研修、夏季スキルアップ研修、発達障がい児 相談研修	2
【 (2) 授業づくり:10回(小学校外国語、授業づくりサポート研修は各校 希望日)	^③
国語、算数・数学、体力向上、小学校国語、授業づくりサポート研	0
修 (3)ICT活用 各学校希望日	
I C T 授業活用研修、情報モラル指導者研修 (4)マネジメント:3回(危機管理(接遇対応)研修は各学校希望日)	2
危機管理(接遇対応)研修、ミドルリーダー研修 3 特別講演会の開催	3
(1) 熊本市教育長特別講演会(対面及びZOOMによるオンライン開催)	効率指標
(2)軽井沢風越学園校長特別講演会(ZOOMウェビナーによるオンライン開催)	0
(3) 働き方改革フォーラム(ZOOMウェビナーによるオンライン開催) (4)	2
4 新規研修の企画・実施 5 指定研修(管理職研修、職務別研修、法廷研修等)の県への委託	
【 今後の方向性】	
一次評価(内部評価)	
今後の実施方向性  拡大   前年度の結果 ・ 「訪問型特別支援教育研修」を継続して実施することで、特別支援教育の	今後の見込み に係る学校力の向上を図る。 コスト
▶・教員のニーズを踏まえ、短時間で効率よく、参加者同士の協議で学び合う	う「ワークショップ型研修」を実 削減 維持 増大
施。一定の効果を得たため、次年度以降も継続していく。  ・今年度策定した「松本市教職員研修計画」をもとに、令和5年4月から札	F型   ○
し、個性や能力に即した子どもを主人公とした学びに生かしていく。	公本市独自の教職員研修を実施 成 維持 編小
二次評価(外部評価)	
・中核市として有する研修権を十分に生かしていく観点からすれば、当該事	事業内容及び総合評価は、適正で
ある。   2 ) 指標の設定	
・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、講座開 指標」のみならず、研修実施後の行動変容など「質的指標」に関しても設定	閉催数、受講者数といった「量的 ミレアいく必要はないか、研修効
果のあり方についても検討を進められたい。	EU CU ( 22 Z 18 8 C ) A C WILLAW
3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、「成果指標」「効率指標」	に関しても指標化に値する取り
組みはないか、検討されたい。	

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
入13人1日1小	2								
	1	講座数				57	60	令和7年度	0%
活動指標	2	受講者数							#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝华伯悰	2								#DIV/0!
活動と煙の		<b>在性</b> 用力	•	•	•				•

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【 <u>持</u>	と 人 コ スト	` • ,	人員】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	0	0	0	18, 470	19, 510
事	業費	千円				7, 910	8,950
	₊₊ 国庫支出金	千円					
	符 県支出金	千円					
	特県支出金地方債	千円					
	海 文無有只担	千円					
	‴ その他	千円					
	一般財源	千円	0	0	0	7, 910	8,950
レレ	件費合計	千円	0	0	0	10, 560	10,560
	正規職員	千円	0	0	0	7,560	7, 560
	人員	人				1.0	1.0
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	3,000	3,000
	人員	人				1.0	1.0
	会計年度(3類)職員	千円					
	その他職員	千円					
<b> -</b>	タルコストの増減	維持理由	3				

【事業の評価】

[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価B	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 | B |なっている

【絲	【総合評価】								
評価	В								

令和 5年	度事務事業評価表	( 令和 4年度 ————	継続	事務事	業)		
事務事業名	名 インクルーシブ教育推進	 進事業					
担当所属	学校教育課				連	絡先	33-4397
関連所属							
	「業基本情報】						
分野 基本施策	1 こども・若者・教育  1−3 個性と多様性を尊重する						
総分野	1 こども・若者・教育			中事業名	インクルーシブ教育推進費		
合   基本施策     計	1-3 個性と多様性を尊重する	学校教育	算 事				
画			業				
事業期間	H29 ~	会計種別	一般会	計	事業	<b>美種別</b>	政策的事務
根拠法令要綱							
地域区分	- "- 1	施設種別			予算	要求区分	経常・政策的経費
	きょう ・ 指 標】			<b>小</b> 台·	IV.I <del>m</del>		
事業概要 趣旨・目的				対象技	<b>省標</b>		
1 基礎的環境	竟整備を進め、全ての児童生徒に学	びやすい学習環灯	境を整え	ž 🗍			
	爰を必要とする児童生徒に適切な学 -シブ教育を推進するため、特別支			2			
	とするとともに教職員の力量向上を		י ויצווים	/			
<u>内容</u> 1 *// +/ * ****					インクルーシブ教育に係る各 	f種研修の開	引催回数
(1) 開催回数	育支援委員会の運営 牧 令和4年度 7回開催			2			
(2) 教育支援	3,9月1日,10月6日,11月10日,12月1 爰委員会への判断依頼件数	1日,1月12日,2月1	16日)	3			
	22件、R3年度448件、R4年度430件 幾関の意見だけでなく、継続的に関	まれる他の専門家,	や知能は	成果技	指標		
査結果	<b>限等を支援委員会での判断資料とし</b>	<i>た</i> 。	/~ VHHD.1	10			
	ノンクルーシブセンター設立準備委 枚 令和4年度 4回開催	員会の開催		2			
(7月21日,	,9月20日,11月16日,1月11日)						
(1) 開催回数	-シブ教育に係る各種研修の開催 牧 令和4年度 7回開催			3			
(5月26日,	,8月3日,9月22日,10月3日,10月17日	<u> </u>	2日)	効率技	指標		
特別支援:	N教育展」(特別支援教育展)の開 学校、特別支援学級に在籍する児童	童生徒が学習活動					
た作品の展	示や販売活動、和太鼓演奏の発表等 、特別支援教育への理解を深める。	等を行い、地域と					
運営は松っ	本市校長会特別支援教育担任者会人	へ業務委託					
*令和4	年度は、悪天候により中止、会報	「共にひらく」の	)み発行	-			
 【今後の方	· <b>向性】</b>	-					
一次評価(四							
今後の実施方向	9性  継続	前年度の紹		継続		今	後の見込み
┃・教員免許がな ┃今後も継続する	なく業務にあたる特別支援教育支援 る。	損にとって、障 <i>1</i>	がい特性	生に係る	研修は貴重な機会と考え、		コスト   削減   維持   増大
・令和6年度に	開設を予定している松本市インクル		-をイン	クルーシ	/ブ教育の拠点として位置づ	上上昇	0
け、字校寺サル	パートしていく仕組みを整えていく	. 0				成機持	
二次評価(タ	<b>入</b> 部証価)					^   縮小	
<u>—//\                                     </u>	1.Hbs 1.lm4/						
1)内容評価・全ての児童生	 E徒に学びやすい学習環境を整備し		ーー 占からっ	ー <u>ー</u> オわげ			
は、適正である	5.	/ CV・\ CV・ノ 医心の	ボル・フ:	1100 ·	コ欧 <del>サ末</del> 四台及しでロロ im		
<ul><li>2)指標の設定</li><li>・事業評価の−</li></ul>	E -つとして、当該指標の設定は、妥	メ シ 当である。他方 ⁻	で、開化	崔同数と	いった「暈的指標」のみな		
らず、「質的指	<b>旨標」に関しても設定していく必要</b>	はないか、検討で	されたし	,	V. 770 <u>=</u> 314 M.		
	る説明責任や公金支出の観点から、	「成果指標」「3	効率指	票」に関	しても指標化に値する取り		
	検討されたい。 予定のインクルーシブセンターは <mark>こ</mark>	どれ福祉課の予算	首計 上村	<b>連となる</b>	ようだが、理念の共有を		
	ことで、発足後のスムーズな運用を		<del>↑</del> ₽1—-1	TC 0. 0.	ひ グには、 /主心マノハロ こ		

KJH IM		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
2018年1日1示	2								
	1		5	2	7	-			#DIV/0!
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈华伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

①令和5年度から教職員研修関連の予算は、教育政策課教育研修センターの予算に一括計上

成果指標の増減維持理由

1人L人ダ		人員】								
年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
タルコスト	千円	6,008		5, 123		5, 428		7, 776		7,604
	千円	1, 172		287		592		672		500
	千円									
占一不入山业	千円									
BH NU기 (F										
^別 受益者負担										
その他										
一般財源	千円	1, 172		287		592		672		500
件費合計	千円	4, 836		4,836		4,836		7, 104		7, 104
正規職員	千円	4, 536		4,536		4,536		6,804		6,804
人員	人	0.6		0.6		0.6		0.9		0.9
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	300		300		300		300		300
人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
会計年度(3類)職員	千円									
	千円									
	年 度 タルコスト 業費 国庫支出金 県支出金 地方債 での他 一般財源 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タルコスト 千円 業費 千円 特定 関庫支出金 千円 県支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 受益者負担 千円 その他 千円 一般財源 千円 上規職員 千円 人員 人 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 人員 人	年度 単位 平成31年度 決算 タルコスト 千円 6,008 事業費 千円 1,172  特定 国庫支出金 千円 県支出金 千円 明支出金 千円 地方債 千円 受益者負担 千円 一般財源 千円 1,172  「中費合計 千円 4,836 正規職員 千円 4,536 人員 人 0.6 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 300 人員 人 0.1 会計年度(3類) 職員 千円	年度 単位 平成31年度決算 令和 タルコスト 千円 6,008  事業費 千円 1,172  特定 国庫支出金 千円 県支出金 千円 明支出金 千円 明支出金 千円 明支出金 千円 明支出金 千円 サカイ 1,172  中費 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 4,836  正規職員 千円 4,836  正規職員 千円 4,536  人員 人 0.6 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 300  人員 人 0.1 会計年度(3類)職員 千円 7000円	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 タルコスト 千円 6,008 5,123    業費 千円 1,172 287	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 タルコスト 千円 6,008 5,123 事業費 千円 1,172 287 国庫支出金 千円 県支出金 千円 明支出金 千円 地方債 千円 少益者負担 千円 一般財源 千円 1,172 287 287 十費合計 千円 4,836 4,836 4,836 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,172 287 1 1,	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 タルコスト 千円 6,008 5,123 5,428	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 令和 9ルコスト 千円 6,008 5,123 5,428 事業費 千円 1,172 287 592	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 タルコスト 千円 6,008 5,123 5,428 7,776 業費 千円 1,172 287 592 672 1月 1,172	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 9ルコスト 千円 6,008 5,123 5,428 7,776

トータルコストの増減維持理由

- ・令和4年度から松本市インクルーシブセンター設立準備が始動したため、同業務にかかる人員コストが増加 ・令和5年度から松本市インクルーシブセンターに係る予算は、こども福祉課へ一括計上

【事業の評価】

		IIIII <b>2</b>						
[目的妥当性評	平価】	1. 事業の目的、	内容、方	向性等が市の目指す	一姿を実現するため	のものになってい	いるか	
一次評価	В	なっている						

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 C 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

-次評価 B なっている

【絲	【総合評価】								
評価	В								

令和 5年度	事務事業評価表(	令和 4年度	継網	売事務	事	業)					
事務事業名	学校支援事業										
担当所属	学校教育課					j	善絡先		33-	4397	
関連所属	<u></u> * 甘 <del>太</del>										
<del>                                    </del>	髪基本情報】 こども・若者・教育										
基本施策 1	- 3 個性と多様性を尊重する	学校教育									
総     分野     1       合     基本施策     1	こども・若者・教育 - 3 個性と多様性を尊重するき	学校教育 	予算	中事業	名	学校支援事業費					
計	3 間にこうかにこれ至うも	1 123213	事								
事業期間	~	会計種別	業	会計		 	業種別	11	一种	策的事	<b>発</b>
根拠法令要綱		公司「主が	73,2	ДП		14	不任力	<u> </u>	EX.	KP14	3,23
地域区分		施設種別				Ţ	ない はいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう はいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅ かいしゅう かいしゅ かいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう かいしゅう はいしゅう はい	以口公	経常・	政等的	小奴書
【事業概要	 ・ 指 標】	心政性力				1 1,	异女么	区力	祚土市 *	以來中	小社具
事業概要	, JH 13/4			対	象技	旨標					
<u>趣旨・目的</u> 学校教育の充実	を目的に、教職員の能力向上及び	が児童生徒への勢	か合せ	5揺 ①							
事業に取り組む。			<b>ЛП</b> /	(2	,						
	のための庶務的事務			Ľ							
2 市費教職員の (1) 自立支援教	配置(会計年度任用職員4類)			<u>/ii</u>	Т	^{目伝} 市費教員の配置人数					
(2) 中学校学力[	<b>向上推進教員</b>	, _\				1貝狄貝♥/癿直八奴					
(4) 日本語教育:	育支援員、看護支援員(医療的允 支援員			2							
(5) 中間教室適原 (6) 部活動指導	芯指導員(山辺・鎌田・あかり)	)		3							
(7) スクールソー	ーシャルワーカー			成	果排	上標 日標					
	句上のための研修 わる小中学校養護教諭及び性教育	育担当教員向け <i>0</i>	の研修	§ (1)							
(2) 市立学校教理	職員研修(講師:埼玉大学岩川記	直樹教授)			+						
(3) 市費教員研	導5校、全体講演1回 修			2							
(4) 長野県指導: (5) 1人1台端末:	主事会議 を使った実践事例の紹介と来年原	きに向けてのグル	ν— <u>-</u>	₃ 3							
討議(Web会議	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	×1-1317 (4777			率扌	旨標					
5 文化交流年絵				1							
【6 「わたしたちの 7 日本語を母語の	の松本市」副読本印刷配布(小学 としない児童生徒支援事業(業務	学校3年生対象) 略委託)		2							
8 国宝松本城絵	画コンクール事業	22,207									
	、教頭会への補助事業 )00円、教頭会150,400円)										
【今後の方向	生】										
一次評価(内部	3評価)										
今後の実施方向性 ・不登校児童生徒.	│継続 、障がいのある児童生徒の増加	前年度の紀 こ伴い、自立支持	吉果 爰数旨	継続   ・ 特別	t 支‡	受教育支援員の要請は依然		<u> </u>	後の見	<u>込み</u> コスト	
として高まっている	る。今後も児童生徒の状況を確認	認し、支援が必要	見なり	記童生徒	123	支援員を配置していく。			削減		増大
	指導の充実を図り、教員の働き7 1人配置。さらに、地域・学生ア							上昇 維持		0	
負担軽減を図ってい							果	縮小			
二次評価(外部	<u> </u>						_				
1)内容評価											
・教職員の資質向 ₋ 正である。	上・児童生徒に対する教育支援と	という観点からす	ナれは	ば、当該	事	業内容及び総合評価は、適					
2) 指標の設定	レレス 小学化価の言語は ざい	ルズキュ ルナー	z. <u>.</u>	ㄱ <del>무</del> ㅣ 半-	۱.,	<b>ヽっナ「見めむ神・のっか</b>		/			
らず、「質的指標」	として、当該指標の設定は、妥覧 」に関しても設定していく必要に				ر (	ハフに「重別拍標」のめる					
3) 今後の方向性・市民に対する説	明責任や公金支出の観点から、	「成果指煙」「な	<b>孙</b> 家却	≦標 1 15	閗	,ても,指標化に値する取り					
組みはないか、検	討されたい。										
	どもに対する支援のニーズは高る を蓄積していくことが求められ ^っ										
ر۱ _°											

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
<b>刈</b> 家田宗	2								
	1	人	115	116	133	135			#DIV/0!
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝举拍惊	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

<u>(</u>	えて コマレ		人貝】							
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	91, 081		122, 292		131,666	140, 173		135, 296
事	業費	千円	72, 649		103,860		113, 234	125, 977		121, 100
	」 国庫支出金	千円	4, 819		1,350		813	5,689		8,680
	特県支出金	千円	1, 194		538		898	1, 349		2,740
	定	千円								
	受益者負担	千円								
	その他	千円			12		12	12		10
	一般財源	千円	66, 636		101,960		111,511	118, 927		109,670
人	、件費合計	千円	18, 432		18, 432		18, 432	14, 196		14, 196
	正規職員	千円	16, 632		16,632		16,632	12,096		12,096
	人員	人	2.2		2. 2		2. 2	1.6		1.6
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,800		1,800		1,800	2, 100		2, 100
	人員	人	0.6		0.6		0.6	0.7		0. 7
	会計年度(3類)職員	千円								
	その他職員	千円								

トータルコストの増減維持理由

要特別支援や不登校の児童生徒の総数が増加傾向にあり、市費で配置する支援員の要請が高まったため、予算額が年々増額している。

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	総合評価】										
評価	В										

事務事業	名	トライやるエコス	クール事業	(小学校	(:							
担当所属		学校教育課							連絡先		33-9846	
関連所属		11 1 1- 1-1										
【事務事		基本情報】										
分野		こども・若者・教育										
基本施策		3 個性と多様性を尊	重する学校教	育			NIZ <b>4</b>	T. = = = = .	11/			
総分野		こども・若者・教育		<del></del>	予	中事	業名	トライやるエコスク	ール事業費	<u> </u>		
合 基本施策 計	1 -	3 個性と多様性を尊	里する子校教	育	算							
画					事業							
_ <u></u>		H11 ~	会計	<b>番</b> 別		:会計			事業種別	211	政策的事	黎
		1111	云미	怪刀」	以又	云山			尹未性/	ניכ	以來的手	切力
根拠法令要綱												
地域区分	_		施設	種別	_				予算要求	求区分	経常経費	
【事業概	要	・指標】		,								
事業概要		111 137					対象	指標				
趣旨・目的						-		III IV				
							1					
		りの一環として、地域										
		ながら、活力ある学校 育の充実を図る。	の創出を目指	すと同時に	-、学	校	2					
37月にのける34	RJ兄子X	月ツル天で凶る。					活動	指標				
内容							1	実施校数				
〇総合分野	<del>γ</del> /∔μ	せの歴史 女化母笠の	∖┷ <del>ऽ</del> ऽऽ /=४ <del>४,</del>	୵୵୵ <del>୵</del> ୕ଌଋ୰୳୕୕୕୕	a va	- 04	2					
・地域指畴事業 学習等)	₹ (ਮੁ	域の歴史・文化財等の	子省、伝統又	1614缺子省	i、 但	路						
	<b>太験学</b>	習(スクールファー <i>L</i>	、、一人一鉢づ	くり等)			3					
・福祉施設訪問	引等の	地域福祉交流やボラン		, ,	IJ	Eか	成果					
〇エコロジー分		# //a a + = > +1 =	31A=T 14.A.4	<i>が</i> コ ルンイチレゲ	-\	-		1日" 亦				
		動(緑のカーテン効果 クル活動、ゴミの分別			F)		1					
		フル活動、コミの方が 支援事業協力団体との		くり守り	\							
3.1.1.1.12.42	רואניי	人]及于不圖/]固[[[	7/LI <del>2/</del> J	10.73			2					
							3					
						L	_					
							効率	指標				
							1					
							_					
							2					
						- 1						
【今後の方	向性	E										
一次評価(阝												
今後の実施方向				前年度の結	课	総	続			今	後の見込み	
		る体験活動や学習活動									コスト	
・今後は段階的	りに生	涯学習課所管のコミコ	ニティスクー	ル事業へ移	行し	てい	く予え	定。			削減維持	増大
									成	上昇		
										. 工工寸		
		\							<b>&gt;</b> 10	縮小		
二次評価(多	个出	<u> </u>										
1 \ 由成元												
1)内容評価・特色ある学校		りという観点からすれ	ルガー 出該車業	内容及び	(百会)	四冊1十	油	正である				
2)指標の設定		ノ ⊂ v・ノ 既 示 // "フ y 1	いの、コ欧尹禾	TJTXU商	ᆸ	ЩІФ	、旭」	ш ( 0) 0)				
・事業評価の一	-つと	して、当該指標の設定					数とし	いった「量的指標」 <i>の</i>	みな			
		に関しても検討してい	く必要はない	か、検討さ	れた	ار،						
<ol> <li>3) 今後の方向</li> <li>市民に対する</li> </ol>		責任や公金支出の観点	から 「成甲	お煙 こ 「☆	加索坦	に押し	[二]]	しても、指煙ルに値さる	TIO()			
・叩氏に対する 組みはないか、			マスグン、 「炒木	ען ריייםן. אורריי	) <del>-1.</del> 1E	ן אין ד	に肉り	している伝言して辿りる	74X · 7			
・今後も、予算	排置	の効果を可視化するよ										
		ィスクールの活動の一	-環として位置	付けていく	際、	生涯	学習語	課とのビジョンの共有	ī・連			
携を推進された	Ξľ,											

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度			
対象指標	1											
刈水1日宗	2											
	1	実施校数	29	29	29	28	27	R6	107%			
活動指標	2								#DIV/0!			
	3								#DIV/0!			
	1								#DIV/0!			
成果指標	2								#DIV/0!			
	3								#DIV/0!			
されてお	1								#DIV/0!			
効率指標	2								#DIV/0!			
バイモエド (本の)	<del>24._\</del> 2./	.U. 1 + TM _L	•			•						

活動指標の増減維持理由

#### 成果指標の増減維持理由

・大野川小学校のトライやるエコスクール事業費については、生涯学習課所管のコミュニティスクール事業で予算化されるため。

	【投	: 人 コ スト	٠,	人 貞】						
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年	度 決算	令和 4年度 決	算   令和	3 5年度 予算
ŀ	<u>ーク</u>	タルコスト	千円	8, 348	6,483		7, 138	7,3	89	8,928
	事	業費	千円	8, 272	6, 407		7, 062	7,0	11	8,550
		」 国庫支出金	千円							
		特 県支出金	千円							
		特 県支出金 地方債 受益者負担	千円							
		^別 受益者負担	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	8, 272	6, 407		7,062	7,0	11	8,550
	人	件費合計	千円	76	76		76	3	78	378
		正規職員	千円	76	76		76	3	78	378
		人員	人	0.0	0.0		0.0	0	.1	0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0		0	0
		人員	人							
		会計年度(3類)職員	千円							·
		その他職員	千円					·		`
ŀ	\/	フルコストの増減	維持理由	3	_	<u> </u>		_		

·タルコストの瑁減維持埋田

#### 【事業の評価】

F 3. >1	н ,	Part   1	
[目的妥当性語	平価]	1. 事業の目的、内容	、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価	В	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【総	合評価】		
評価	В		

令和 5年	<b>送</b>	事務事業評価表	( 令和 4年度	き継ぎ	売 <del>事</del>	<b></b>	<b>業</b> )				
事務事業名	名 =	学校教育情報化推進	事業(小学校費)	)							
担当所属		学校教育課						連絡先		87-9901	
関連所属	禹							•			
【事務事		基 本 情 報】									
分野		ども・若者・教育									
基本施策		3 個性と多様性を尊重する - ビナー共来 教育	る学校教育	I	一一古	****	当场数本性却从#**	+击兴弗 /小	出兴进	.\	
総     分野       合     基本施策	1 - 3	こども・若者・教育 3 個性と多様性を尊重す	- ろ学校教育	予	甲爭	<b>亲</b> 名	学校教育情報化推進	≛事業貸(小 [、]	子仪質	<u> </u>	
合 基本施策 計 画		) 四世に夕禄任で寺主9	る子は秋月	算事業							
				業							
事業期間		~	会計種別	一般	会計			事業種別	J	政策的事	務
		対育の情報化の推進に関す		±∧ <del>-1</del>		l-⊹-±/-;	ᅔᄹ却ᄮᄽᄼᆜᆂ				
地域区分	松本口	5教育大綱、第3次松本市		、松本	、巾子/	<b>父</b> 教	育情報化推進計画			<b>奴党,政学</b> 的	九奴弗
		・指標】	施設種別	_				予算要求	区分	経常・政策的	引栓負
【事 業 概 事業概要	,女				1:	<del>计</del> 争:	指標				
_{尹未帆安} 趣旨・目的						_	]日1示				
国のG I GA		-ル構想や市の計画に基づ	びき、小学校の学校	教育に	係	(1)					
る情報化の推進	きを図る	るもの。				2					
内容											
1 児童と教	牧職員だ	が用いるICT学習環境の	)整備と運用				指標	± 4. 1 % T O T	144.00.0		10
(1 <u>)</u> I C T			n ( <del> </del>				授業での一人一台端 以上)	末などICI	機器0.	)使用割合(週	10
アーコー 学習用		台端末」や「大型掲示装置 「継哭	[(電子黒板寺)]、		F		以上/				
		ステム(Google 等の教育	現場向けクラウド			2					
サービ						3					
(2)人的支 数字		上記(1)の活用について、	ICT支採昌の配題	蛋(-		_					
		L記(1)の/A用について、 爰(ICTを用いた授業:			J	成果	指標				
デスク	っ、この	りほか効果的事例の全校展				1					
(3) その他 *****		トウィルス感染症対策に係	5.ス T C T 活田 <i>(</i> 学	垃休	-						
		るオンライン授業、等)	で2101泊用(子	TXTN		2					
						3					
		[CT環境の整備と運用				_					
		を援システム 針とのコミュニケーション	バシステム			効率	指標				
(3) 校務 I	CT	機器整備(校務用端末や印	刷機器など)			1					
2 洛层甘畝	ᇝᅘᄻ	生に 宝田			-	_					
3 通信基盤 ト記1や		™⊂理用 別いる校内通信インフラ碁	は般(無線ⅠAN(V	V i		2					
_Fi)等)	)やモ	バイルWi-Fiルータ	一整備	٧ ١	- 1						
「公然の士	- <del> </del>	<b>T</b>									
【今後の方											
<u>一次評価(内</u> 今後の実施方向			前年度の	红田	11/7	天				後の目に ユ	
		<u>4人</u> D導入に伴う人的コスト <i>0</i>		巾不	11/2	·/\			7	後の見込み コスト	
令和6年度	きから、	一人一台端末を用いた	「学習者用デジタル	教科書	<b>書」の</b>	導入	が順次予定されている	3. I		削減 維持	
「ユーザー	アカワ	フント管理」や「授業支援	受」など、人的コス	トの増	計が	見込	まれる。	<u></u>	上昇		0
		D閲覧(通信量の増大)に 曽大が見込まれるため、必				. か	<b>必</b> 更	成果	維持		
			が女に心して起旧日	INK TO	<b>7万</b> 0户	<i>O 13</i> ·	から。		縮小		
二次評価(タ	信信力	竹皿)									
1) 内容評価											
・学校教育の情		D推進という観点からすれ	ルば、当該事業内容	及び紛	8合評	価は	、適正である。				
2) 指標の設定		~ \\/=+±\ =^=!!</td <td>ガルマナマ ルー</td> <td><b>-</b> -</td> <td></td> <td>#<i>L</i> '</td> <td></td> <td>D 7. +</td> <td></td> <td></td> <td></td>	ガルマナマ ルー	<b>-</b> -		# <i>L</i> '		D 7. +			
		って、当該指標の設定は、 こ関しても検討していく必				奴と	いつに「重旳指標」(	<i>いか</i> な			
<ul><li>特に、今後の</li></ul>	0一人-	-台端末の更新時期、デミ	ブタル教科書の導入	を想定	≧した.			宝しエ 📙	$\overline{}$		
ビデンスを蓄積	責・可礼	見化していくことが予算線									
3) 今後の方向 ・市民に対する		5任や公金支出の観点から 5日で公金支出の観点から	、 「成甲圪堙」「	かませ	≦/種 □	一月月	1.アも.指揮ルに応す:	Z 117 ( )			
・川氏に対する 組みはないか、			ハ 「以木」日伝」「	w <del>工</del> 加	Lwit	ᇅ		D4X.)			
		- -									

11日 小示		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
おおお押	1	—						7 7 132 7 132	
対象指標	2								
		利用割合%	_	25	100	100	90	R 6	111%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	(3)								#DIV/0!
効率指標	1						·		#DIV/0!
<b>効率指標</b>	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>【</u>	<u> </u>	٠.,	人 員】					
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和	3年度決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u>                                     </u>	タルコスト	千円	195, 958	687,019		463, 564	528, 483	513, 552
틕	業費	千円	195, 202	676, 435		456,004	520,023	500,880
	」 国庫支出金	千円		190,070				
	特県支出金田大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	千円						
	地方債	千円		260, 200				
	財型方領受益者負担	千円						
	その他	千円					5,580	
	一般財源	千円	195, 202	226, 165		456,004	514, 443	500,880
	件費合計	千円	756	10, 584		7, 560	8,460	12, 672
	正規職員	千円	756	10,584		7, 560	7,560	9, 072
	人員	人	0.1	1.4		1.0	1.0	1.2
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0	900	3,600
	人員	人				0.0	0.3	1.2
	会計年度(3類)職員	千円						
	その他職員	千円						j

トータルコストの増減維持理由

令和2年度:学校通信ネットワーク整備事業(校内Wi-Fi整備工事)を実施 、 学習用一人一台端末の配備、児童生徒及び教職員の利用開始 令和4年度:未配備校への電子黒板等「大型提示装置」の配備 、 オンライン授業用オンライン授業用配信機器(スピーカーマイク)の 配備 、職員室等の未整備箇所に対する校内Wi-Fi拡充整備 、 専科職員に対する一人一台端末拡充配備

#### 【事業の評価】

\ <del>≠</del>	<del>*</del> '	ソロエ	<b> </b>
[目的	妥当性	評価]	1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次	評価	Α	市の目指す姿に大きく貢献する事業

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【終	【総合評価】										
評価	A										

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度	5 継続	事	務事	<b>喜業</b> )				
事務事業名プール整備事業								
担当所属 学校教育課				連絡先   33-9847				
関連所属				<u> </u>				
【事務事業基本情報】								
分野 1 こども・若者・教育 基本施策 1-3 個性と多様性を尊重する学校教育								
総 分野 1 こども・若者・教育		中事	業名	プール整備事業費				
合 基本施策 1-3 個性と多様性を尊重する学校教育 計	基本施策 1-3 個性と多様性を尊重する学校教育 算							
画	事業							
事業期間 H1 ~ 会計種別	一般	会計		事業種別その他				
根拠法令要綱								
地域区分 施設種別	学校加	施設		予算要求区分 政策的経費				
【事業概要・指標】			<del>-</del> -1-63-1	TV.I#				
事業概要 趣旨・目的			対象技	指標				
学校水泳プール施設の老朽化により水泳学習環境に支障をきた			1)					
ある学校において、施設の改築・改修または民間施設の活用等に 環境の改善を図る。	より教	育	2					
			活動	指標				
内容 築数60年を迎えつつあるプール施設において、プール槽や配管	からの		1	民間施設活用開始数				
乗数の年を遅んプラのるプール旭畝において、プール僧や町官 漏水濾過機やポンプの機能低下等が発生し、水泳学習環境に支障 していることから、H1より順次改築・改修を進めている。R4から	をきた		2	改築済プール施設の改修数				
【に合った水泳学習のあり方として、民間水泳施設の活用を開始し	、他校		3					
への展開を検討している。 (1) 改築 (築後60年を目途に実施)			)	11/12				
既存プール施設を解体、改築。ただし、下記(2)を優先的に検	討		成果技	指標				
  (2)  水泳施設の賃貸借  (築後60年を目途に実施)			1					
スクールを実施している民間施設を活用し、天候に左右され ことなく、安全に水泳授業を実施	る		2					
(3) 改修 (主に改築済校において実施)			3					
①本体改修:プール槽を改修(主に防水)			効率指標					
(築後35年を目途に実施) ②設備改修:濾過設備を更新			1					
(設置後35年を目途に実施)								
③改修:①+②			2					
<u>【</u> 【今後の方向性】								
「一後の方向性」 「一次評価(内部評価)								
・	結果	斜	迷続	今後の見込み				
学校水泳プール施設は、稼働時間のわりに多大かつ固定的なコ				め、改築前提であった計画 コスト				
を見直し、少子化時代に見合った水泳学習の在り方を検討する。  その一つとして、民間施設の活用を試行、検証し、有用性が認め	られた	場合	は他	2校への展開を検討する。				
				本   縮小				
<u>二次評価(外部評価)</u>								
1) 内容評価								
▼・教育活動の質的向上を模索するという観点からすれば、当該事 【2)指標の設定	業内容	及び	総合	;評価は、適正である。				
・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方	で、民	間施	設活	用開始数、改修数といった				
「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく ・特に、民間施設の活用をめぐってはコスト面のみならず、教育								
教員の働き方の観点から、総合的に判断すべきであるため、今後 点からの検討とそこでの指標のあり方についての検討が不可欠で	の水泳							
	める。							

・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り組みはないか、検討されたい。 ・プール整備に関して、コスト・パフォーマンスの他、いかなるエビデンスをもとにその整備の方向性を決めていくのか、検討を進められたい。

3) 今後の方向性

KIH IVI				D 0年度由待	D 4年度由待	5 F <del>C C C</del> C C		口压左床	\+ -\-\-
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水16宗	2								
		校	0	0	1	1	28	R7	4%
活動指標		校	0	0	0	0	2	R7	0%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
が守行信	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	抆			人 貝』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> </u>	ト <u>ータルコスト</u>		千円	180, 116		23, 416		756		15, 199		5, 176
	事第		千円	179, 360		22,660		0		14, 443		4, 420
		国庫支出金	千円	22, 636								
		^恃 県支出金	千円									
		持県支出金 地方債	千円	124, 100								
		酒 文色 4 只是	千円									
	ľ	その他	千円									
		一般財源	千円	32, 624		22,660		0		14, 443		4, 420
		‡費合計	千円	756		756		756		756		756
		正規職員	千円	756		756		756		756		756
		人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
	É	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
		人員	人									
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
<b>L</b> -	_ /	ルコフトの増減	(件)共工円 计	1								

-タルコストの増減維持理由

令和元年度に清水中学校の改築を実施したため、当該年度の事業費が大きく増加している。

#### 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 B なっている

【絲	【総合評価】										
評価	В										

で作り生は	支 事務事業計1	四文 (下和	4十/支	<b>性心</b>	争伤于	未 /			
事務事業名	ム トライやるエコ	スクール事業(	中学校》	)					
担当所属	学校教育課						連絡	格先	33-9846
関連所属									
	業基本情報】	<b>z</b>							
分野 基本施策	1 こども・若者・教育 1-3 個性と多様性を								
() ma	<u>1 こども・若者・教育</u>			予「	中事業名	トライやるエコ	スクール事業	業費	
合 基本施策 計	1-3 個性と多様性を	尊重する学校教育		算					
計画				事					
事業期間	H11 ~	会計種類		<u>**</u>	·重十		事業	<u>種別</u>	
	1111	公司「主	נט	的人人	<u>. P I</u>		7.7	リモルコ	<b>以来时事初</b>
根拠法令要綱									
シーグにカ		施設種別	引  -	_			予算	要求区分	経常経費
	要・指標】				11121	<125			
事業概要 趣旨・目的					対象指	<b>首</b> 標			
					1				
特色ある学校	づくりの一環として、地図りながら、活力あるst	地域の歴史、文化、	自然など	特色あ	2				
る糸州の活用を 教育における環	図りなから、活刀ある≒ 境教育の充実を図る。	frixい剧山を日拍り	一円時に	、子的		S.125			
					活動指				
内容					1 1	<b></b>			
〇総合分野	(III I I I I I I I I I I I I I I I I I	- W	/		2				
・地域招聘事業 学習等)	(地域の歴史・文化財等	学の字習、伝統文化	体験字習	、進路					
・農業・栽培体	験学習(スクールファー		り等)		3				
・福祉施設訪問 〇エコロジー分	等の地域福祉交流やボラ	ランティア活動		ほカ	成果指	<b>旨標</b>			
・温暖化対策体	ぉ' 験活動(緑のカーテンダ	加果検証、校舎内緑	化活動等	)	①				
・エコ活動(リ	サイクル活動、ゴミの気	分別活動、堆肥づく	り等)						
・小甲子秋塚項	教育支援事業協力団体と	2の沽動	ほか		2				
					3				
					効率指	<b>首標</b>			
					1				
					2				
【今後の方									
一次評価(内		134	生度不经	=	爻Ⅲ 爻=				<u></u>
今後の実施方向 ・各学校で 特	性   縮小  色ある体験活動や学習活	1 2	年度の結果 て定着し		継続				今後の見込み コスト
	に生涯学習課所管のコミ					Ē.			
								_成 上昇	
								成果	
二次評価(外	L							~ 縮/	IV
<u> 一/八叶川(7</u> 1	HPP工  叫 /								
1)内容評価								$\overline{}$	
・特色ある学校 2)指標の設定	づくりという観点からす	ければ、当該事業内	容及び総合	合評価	話は、適正	Eである。			
・事業評価の一	つとして、当該指標の試	<b>設定は、妥当である</b>	。他方で	、実旅	<b>極校数とし</b>	1った「量的指標	」のみな		
らず、「質的指	標」に関しても検討して	ていく必要はないか	、検討さ	れたし	١,				
3) 今後の方向 ・市民に対する		見点から、「成果指	標」「効果	率指標	票」に関し	しても指標化に値	する取り		
組みはないか、	検討されたい。								
	措置の効果を可視化する ニティスクールの活動の						サイス 土右・油 サイフ サイフ サイブ		
携を推進された		/ ※CUC四直刊	1) ( 0 1 \ 1	小、 ユ	_/注丁日页	_小 このこフョンの	バロ 圧		

	V)	]圧 リグ』							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
2013年1日1示	2								
	1	実施校数	21	21	21	20	19	R6	111%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
划半拍标	2								#DIV/0!
バイモルド (本)	241-127		•						*

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由 ・大野川中学校のトライやるエコスクール事業費については、生涯学習課所管のコミュニティスクール事業で予算化されるため。

	【投	: 入 コ ス ト	• .	人 員】				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度決	算   令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	トータルコスト		千円	8,511	7,887	8, 09	9 8,747	10, 098
	事	業費	千円	8, 435	7,811	8, 02	3 8,369	9, 720
		<b>国庫支出金</b>	千円					
		符 県支出金	千円					
		特別 表出金 地方債 受益者負担	千円					
		^別 受益者負担	千円					
		*** その他	千円					
		一般財源	千円	8, 435	7, 811	8, 02	3 8,369	9, 720
	人	件費合計	千円	76	76	7	6 378	378
		正規職員	千円	76	76	7	6 378	378
		人員	人	0.0	0.0	0.	0 0.1	0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0 0	0
		人員	人					
		会計年度(3類)職員	千円					
		その他職員	千円					
<b> </b>	/	フルコストの増減	維持理由	1				

グルコストの培減維持理田

#### 【事業の評価】

[目的妥当性語	平価]	1. 事業の目的、	内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	В	なっている			

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【総	【総合評価】										
評価	В										

# 古梦古兴远/正士

令和 5年度	まま 事務事業評価表	(令和4年度	継続	<del>売事務</del>	事	業)		
事務事業名	学校教育情報化推進	事業(中学校費)						
担当所属	学校教育課					連	絡先	87-9901
関連所属	* + + * + 1							
	業基本情報】							
分野 基本施策	1 こども・若者・教育 1 - 3 個性と多様性を尊重す	トス学校教育						
総分野	1 こども・若者・教育	の子は秋日	予	中事業	名	学校教育情報化推進事業費	(中学校	(費)
	1-3 個性と多様性を尊重す	トる学校教育	算				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
計			事業					
事業期間	~	会計種別		会計			美種別	政策的事務
ė			一万又	云引		尹尹	(生力)	以宋刊事份
	松本市教育大綱、第3次松本市		松本	市学校教	牧育	育情報化推進計画		
地域区分	_	施設種別	_			予算	要求区分	経常・政策的経費
【事業概	要・指標】							
事業概要				対象	衤指	<b>i</b> 標		
<u>趣旨・目的</u>	スクール構想や市の計画に基づ	バナ 中学技の学技者	h <del>広</del> 1 -	15. 1				
る情報化の推進		プロストー・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス	X月に	.1於	+			
				2				
<u>内容</u> 1 生徒と教師	職員が用いるICT学習環境の	N敕供レ海田		活動	拁指	 f標		
(1) I C T		が発掘と建用				受業での一人一台端末など [	CT機器	器の使用割合(週1回
ア「一」	人一台端末」や「大型掲示装置	置(電子黒板等)」、			زا	以上)		
	ICT機器 用システム(Google 等の教育	<b>租</b> 提向けクラウド		2				
サービ					+			
(2)人的支持		「CT士授旦の町里	ı —	3				
	での上記(1)の活用について、 種支援(ICTを用いた授業:			成	耜	<b></b>		
デスク、	、このほか効果的事例の全校展			1				
(3) その他 <del>ギ</del> 刑	コロナウィルス感染症対策に係	ダスICT浜田 /学を	<b>≒/</b> +	<u> </u>	+			
	コロアフィルス総未延列泉に同 おけるオンライン授業、等)	でのICI泊用(子似	X VIV	2				
2 *********	<b>はなする工理はの数件い</b> 常用			3				
	校務ICT環境の整備と運用 校務支援システム					5 <del>1</del>		
(2) 学校と	保護者とのコミュニケーション	ノシステム			Т	<b></b>		
(3)校務 I	CT機器整備(校務用端末や印	刷機器など)		1				
3 通信基盤	の整備と運用			2				
上記1や	2で用いる校内通信インフラ基		i		$\perp$			
- F i )等)	やモバイルWi-Fiルータ	一整備						
【今後の方向	<b>向性</b> 】			•				_
一次評価(内								
今後の実施方向		前年度の紹	課	拡大				今後の見込み
	科書の導入に伴う人的コストの から、一人一台端末を用いた		加利	:の道:	1 +	が順次子ウナカブハス		
	がら、一人―日姉木を用いた アカウント管理」や「授業支持						山上	型型
2 デジタル教	科書の閲覧(通信量の増大)に	こ係る通信インフラ基	生盤の	拡充			以 44	
これまでに	ない増大が見込まれるため、必	必要に応じて通信回線	い等の	見直した	び必	少安。	果権縮	
二次評価(外	、部評価)							
1 \ ch c'a==:/=:								
<ol> <li>力容評価・学校教育の情報</li> </ol>	報化の推進という観点からすれ 報化の推進という観点からすれ	7.ば、当該事業内突取	37ド終	合評価に	#	適正である。		
2) 指標の設定								
	つとして、当該指標の設定は、				ヒし	Nった「量的指標」のみな	\	
	標」に関しても検討していくst 一人一台端末の更新時期、デジ				ح۶	ごのような指標を設定して		
ビデンスを蓄積	・可視化していくことが予算総							
3) 今後の方向	性 説明責任や公金支出の観点から	こ 「お甲指揮」「☆	加玄比	; <del>t</del> ━ 」 /─F	囲り	.ても.指煙ルに済まる取り		
・中氏に対する。 組みはないか、		ノ、「水木」日伝」「X	/J <del>-T-</del> 1⊟	nw] I⊂l	⊼J C	ノく 0.1月1年1016 旧 3 名秋 2		

11 IV		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
	1	- T-12	N E I IZZIIZ	N 3   IZXIIX	K I I IZZIA	N 3   KJBC		日际下及	X-1-X1X
対象指標	2								
	1	利用割合%	_	26	86	90	90	R 6	96%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
划半拍标	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u> </u>	プレ しんり	`	人貝】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u>                                     </u>	トータルコスト		160, 719	454, 599	305, 575	350, 212	350, 208
事	業費	千円	159, 963	444, 015	298, 015	342, 052	341, 760
	<b> </b> 国庫支出金	千円		103, 310			
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円					
	地方債	千円		151,300			
	^別 受益者負担	千円					
	その他	千円				5, 420	
	一般財源	千円	159, 963	189, 405	298, 015	336, 632	341,760
ノ	、件費合計	千円	756	10,584	7,560	8, 160	8, 448
	正規職員	千円	756	10,584	7,560	7, 560	6,048
	人員	人	0.1	1.4	1.0	1.0	0.8
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	600	2, 400
	人員	人			0.0	0.2	0.8
	会計年度(3類)職員	千円					
	その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

#### 【事業の評価】

F 2 >   >	- 1	I <del>III</del>
[目的妥当性評価	五]	1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価	Α	市の目指す姿に大きく貢献する事業

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

B 想定する成果や効果に結びつくものになっている 一次評価

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【総	【総合評価】										
評価	A										

令和 5年度	事務事業評価表(	(令和 4年度	継続事	務事	業)		
事務事業名	コミュニティスクール事	<del></del> }業					
担当所属	生涯学習課					絡先	32-1132
関連所属							
【	<u> 基 本 情 報】</u> こども・若者・教育						
基本施策 1-	- 3 個性と多様性を尊重する:	学校教育					
総     分野     1       合     基本施策     1 -	こども・若者・教育 - 3 個性と多様性を尊重する:	学校教育	予 中	事業名	コミュニティスクール事業		
計	3 旧江Cグ冰江で分主する	于"X 孙 曰	事				
事業期間	H30 ∼	会計種別	業一般会計		車業	<b>業種別</b>	政策的事務
根拠法令要綱	Пои	云引性別	一双云口		<del>ਹ</del> ਾਣੀ	を性力リ	以外的争切
地域区分 –		施設種別	I_		文作	享要求区分	政策的経費
【事業概要	 ・	他政性力	_		J′ <i>∓</i>	₹ <b>安</b> 水区刀	以來的社員
事業概要				対象指	旨標		
<u>趣旨・目的</u> 学校と地域と家庭	達が、どんな子どもに育てたい:	ー	- -	1 1	公本版コミュニティスクール	- レ事業の導 <i>フ</i>	人率
か、という目標やし	ごジョンを共有しながら連携・ [・]	協働する。		2 %	 去に基づくコミュニティ・ス		1 <del>t</del> ☆
ワークを形成しなか	字しない地域住民・団体等が参 がら、持続可能な活動の中で、	子どもたちが身込	近な地域	活動打		(ソニル号)	\fx
の大人たちと関わり	りながら成長する仕組みをコー	ディネートする。	,	(1)	<b>日</b> (示		
内容		'===='	· _L_334				
	クール運営委員会で事業内容を それぞれの地域特性を生かし			2			
	♪学校では、庄内地区の神田発 −緒に定植から収穫までを体験			3			
元の加工業者と一組	緒にねぎ餃子づくりにも挑戦し	ている。		成果指	旨標		
討結果を踏まえ、	ち上げたコミュニティスクール 「地域とともにある学校」を推	進するため、令和	和5年度	1			
からモデル校におい	ハて、コミュニティ・スクール 公本市学校運営協議会規則の制	, (学校運営協議会		2			
०,स्,०, ७,८,,०,		VE 613 2760					
				3			
				効率指	旨標		
				1			
				2			
【今後の方向性							
一次評価(内部 今後の実施方向性		前年度の網	±甲 [ş	継続		T 今	後の見込み
・地域とともにある	る学校づくりを推進するため、	モデル校に法に基	基づく学校	交運営技			コスト
	旦軽減のため、地域学校協働活 の松本市のコミュニティスクー					上昇	削減 維持 増大
7,5	× 180 1 11 11 - 1	** *****				路 維持	
二次評価(外部	7≅₩/ <b>₩</b> \					縮小	
<u> —/人計                                   </u>	<u>5平1叫 /                                   </u>						
1)内容評価・「地域とともに	- ある学校づくり」の推進という	毎占からすれげ	<b>业</b> 核重型	*内突?	四が総合証価け 滴正であ		
る。	20千天ノイン」 ひまんにく・ショ	既ぶりごフッカいのい	コバデォ	たい <u>ロ</u> にハラ	XUでロ計画は、過止くの		
2)指標の設定 ・事業評価の一つと	として、当該指標の設定は、妥	-当である。他方う	で、導入率	区や導力	入校といった「量的指標」		
	活動の充実など「質的指標」に						
・市民に対する説明	明責任や公金支出の観点から、	「活動指標」「♬	成果指標」	「効率	<b>率指標」に関しても指標化</b>		
【に値する取り組みば ・「松本版」コミご	まないか、検討されたい。 ュニティスクールのあり方とし	て現状の制度利用	用で十分を	ぶのか、	大野川小中学校を例とし		
	果を生かし、再検討していく必?						

MIN IN	<u> </u>								
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	%	100	100	100	100			
入13个7日信	2	校	0	0	0	2			
活動指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
イギボー	1247-17	,44.1+.TmL							

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

<u> </u>	父 人 コ スト		人員】								
	年 度	単位 千円	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> </u>	トータルコスト		51,039		51, 154		52, 209		55,640		58, 380
昌	業費	千円	1, 431		1,546		2,601		4, 520		7, 260
	」 国庫支出金	千円	0		0		182		163		750
	符 県支出金	千円									
	特定 地方債 受益者負担	千円									
	贸 受益者負担	千円									
	///~ その他	千円									
	一般財源	千円	1, 431		1,546		2,419		4, 357		6,510
	(件費合計	千円	49,608		49,608		49,608		51, 120		51, 120
	正規職員	千円	30, 996		30,996		30,996		32,508		32,508
	人員	人	4. 1		4. 1		4.1		4.3		4.3
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円	18, 612		18,612		18,612		18, 612		18, 612

トータルコストの増減維持理由

・令和5年度からモデル校へ学校運営協議会を設置するにあたり、委員報償費を計上、また同じくモデル校に地域学校協働活動推進員の 人件費を新設、学校教育課・生涯学習課所管の地域連携予算(トライやるエコスクール事業:学校教育課、コミュニティスクール事業: 生涯学習課)を一括で委託料として計上したため

#### 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	【総合評価】										
評価	В										

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度継続事	務事	業)
事務事業名 子どもの権利推進事業		
担当所属こども育成課		連絡先   34-3291
【事務事業基本情報】		
分野 1 こども・若者・教育		
基本施策       1-4       子どもにやさしいまちづくり         総       分野       1       こども・若者・教育       予       中国	事業名	子どもの権利推進事業費
	3.214.11	5 - 5 - 5 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
計画業		
事業期間 H25 ~ 会計種別 一般会計	<u> </u>	事業種別 政策的事務
根拠法令要綱 松本市子どもの権利に関する条例、松本市子どもの権利に関	₫する≨	
地域区分		予算要求区分は経常・政策的経費
事業概要	対象技	旨標
<b>趣旨・目的</b> 「松本市子どもの権利に関する条例」(平成25年施行)に基づき、子ど	1	
もの権利の普及・啓発、子どもの意見表明・社会参加の促進、子どもの相談・救済の充実、子ども施策の推進と検証等を行い、すべての子どもにや	2	
談・救済の元美、子とも施束の推進と検証寺を行い、すべての子ともにや さしいまちづくりを進めるもの	活動技	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
内容		^{日は} 公本子どもの権利の日市民フォーラムの参加人数
1 子どもの権利の普及・啓発 (1) 子どもの権利ウィークの実施 ・松本子どもの権利の日市民フォーラムの開催		まつもと子ども未来委員会の参加人数
・子どもの権利ニュースの作成、配付(配付先:小、中、高校生) (2) 学習パンフレットの作成、配付(配付先:小、中学生)	3	子どもの権利相談室「こころの鈴」出前講座等の開催数
2 子どもの意見表明、社会参加の促進 (1) まつもと子ども未来委員会(委員会16回、施設見学、市への提言)	成果技	
市政等を学び、市へまちづくりを提言(委員:小学5年~高校生)		子どもの権利に関する条例の子どもの認知度 (子どもの権利アンケート調査)
(2) 福津市との子ども交流事業(福津市開催:小学生13人が参加) 3 子どもの相談・救済の充実		自己肯定感の高い子どもの割合
│ 子どもの権利相談室「こころの鈴」を開設し、子どもや保護者等の相 │ 談に対応		(子どもの権利アンケート調査)
(1) 延べ相談件数:268件 (2) こころの鈴通信の作成、配付(発行4回、配付先:小、中、高校生)		まつもと子ども未来委員会参加者の満足度
(3) こころの鈴案内カードの作成、配付(配付先:小、中、高校生)	効率技	旨標
(4) 学校、児童センター等での出前講座等の開催  4 子ども施策の推進と検証	1	
子ども施策の実施状況を検証するため、子どもにやさしいまちづくり 委員会を開催(4回開催)	2	
一次評価(内部評価)		
	継続	今後の見込み
・子どもの権利の普及・啓発については、高校生への周知強化を図るととも ども家庭庁の発足を契機として、一般の市民へも周知を図っていく。		
・まつもと子ども未来委員会においては、市への提言に留まらず、自分ただ ていく。	うかで	成
・子どもの権利相談室「こころの鈴」の出前講座等は、新たに放課後児童会	クラブ	等での開催を図っていく。  果  編打    〇    編加
二次評価(外部評価)		
1) 内容評価	\1+=4-	T-W-1-17-7-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-19-
・「すべての子どもにやさしいまちづくりの推進」という観点からすれば、 適正である。	当該	事業内容及び総合評価は、   人
2) 指標の設定  ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、「量的	内指標.	」のみならず、「質的指
標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。 3)今後の方向性		
・子どもの権利に関する条例の「認知度」に関して、子ども対象のアンケーニケーションの頻度が多いと思われる教職員の認知度はどうか。今後、事業	- トを? 堂の鮎 ³	行っているが、最もコミュ
大人も対象とし市民全体を巻き込んだ展開をすることも検討されたい。		
・まつもと子ども未来委員会においては、一次評価(内部評価)として指 長・教育長)への提言」に限定されない、より自由度の高い活動の展開((	固人のi	探究活動の支援、高校現場 ┃  ┃   ┃   ┃   ┃
との連携、市議会や県知事・議会への提言・意見交換など)も検討されてに ども育成課)が単体で行うことには限界があることが予想されるため、他の		
様々な団体と情報連携をしていくことも検討してみてはどうか。 ・こども家庭庁、こども基本法の動向に鑑みて、松本市と同様に子どもの		
全国の先進自治体(川崎市など)と、協働的な取り組みを推進してみてはなる。	ごうか。	。また、県内では先進自治 📗 💹 💮 💮
体である松本市として、他の県内自治体(諏訪市など)とも情報共有し、「か、検討されたい。	∀核と7	なる仔仕感を示し(ほとう

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
入13人1日1示	2								
	1	人	130	150	150	150	150	R7	100%
活動指標	2	人	16	42	37	35	30	R7	123%
	3	回/年	12	1	7	15	20	R7	35%
		%	57	66	66	66	80	R7	83%
成果指標	2	%	61	64	64	64	80	R7	80%
	3	%	_	73	79	80	80	R7	99%
効率指標	1								#DIV/0!
幼华指标	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由 子どもの権利相談室「こころの鈴」出前講座等は、新型コロナウイルスの影響により開催数が低調だったが、来年度以降はコロナ禍以前 の状況に戻ることが見込まれる。

### 成果指標の増減維持理由

# 【投入コスト・人員】

	バス			八貝』				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	<u>ー</u> ら	タルコスト	千円	19, 439	18, 327	19, 411	19, 328	19,680
	事	業費	千円	3,920	2, 107	3, 112	3, 392	2,860
		」 国庫支出金	千円					
		特県支出金	千円					
		地方債	千円					
		源  安金百貝担	千円	65	0	37	84	0
		*** その他	千円					
		一般財源	千円	3,855	2, 107	3, 075	3, 308	2,860
	人	件費合計	千円	15, 519	16, 220	16, 299	15, 936	16,820
		正規職員	千円	7,560	7, 560	7, 560	7,560	7,560
		人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		会計年度(3類)職員	千円					
		その他職員	千円	6, 459	7, 160	7, 239	6,876	7,760
	-5	ヲルコストの増減	維持理由	1				

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	【総合評価】											
評価	В											

令和 5年度	事務事業評価表	(令和 4年度	継	売事務事	業)				
事務事業名	学習・交流・相談スペ-	 -ス運営事業							
担当所属	こども育成課					連絡先	34-	-3291	
関連所属									
分野 1	こども・若者・教育								
基本施策 1	-4 子どもにやさしいまちつ こども・若者・教育	<b>バ</b> くり	7	山市翌夕	学習・交流・相談スペ	フェニヴェ	3 坐 弗		
	- 4 子どもにやさしいまちつ	· バくり	予算	中争未有	子自・文派・相談スペ	一人建呂事	**************************************		
計画			事業						
事業期間	H25 ~	会計種別		会計		事業種別	政	策的事	務
根拠法令要綱									
地域区分 -	-	施設種別	子育	て支援施設	į. Ž	予算要求[	区分 政策的	的経費	
	要 ・ 指 標】			11121	×1=				
事業概要 趣旨・目的				対象指					
不登校や引きる	こもりの状態にある小中学生を対			一子   一一	<b>居場所としての開設日数</b>				
対する相談・支援	こで生活環境や学習環境の改善を 爱を行うもの	1図るとともに、15	木碳石	2					
<u>内容</u>				活動指					
1 実施内容	小学にキュル 古労生を社会人			1	学習・交流・相談スペー 新数)	ス延べ利用	用者数(子)	どものホ	训用
交流できる歴	J状態にある小・中学生を対象と B場所を提供する。			2	学習・交流・相談スペー	ス延べ利用	用者数(大	人の利用	#者
」(2) ボランティ ポートを行う	ィアの指導員を募り、希望する子 う。	<u>~</u> どもたちの学習の	りサ	安	女)				
(3) 子どもや係	R護者の相談支援を行い、必要に	I応じて関係各機関	具と	3					
(4) 子どもや係	5環境や学習環境の改善を図る。 R護者等に教育、子育て、子育て	て支援等の情報提供	共 共	成果指	<b></b>				
を行う。				1					
2 開設日及び時(1) 毎週 水場	詩間 望日・金曜日 13:00~17:00			2					
(2) 月1回 月	月曜日 13:00~17:00			3					
(3) 学習支援の	D日 14:00~16:00			効率指	台棒				
				(1)	31水				
				2					
【会然の士庫	a.W+ 1								
【今後の方向 一次評価(内語									
今後の実施方向性	生  継続	前年度の紹		拡大			今後の見		
	こもり児童・生徒の数は、増加傾 易所として、事業を継続していく		せ重・	生徒の居場	<b>易所として、また、保護</b>	者		コスト	
・中間教室も含め 要がある。	か、不登校支援を市全体でどのよ	う行っていくのた	い、厚	関係課などと	<連携して検討していく	必成	上昇	()	-0/(
<del>\$</del> 13.65.50							維持 縮小		
二次評価(外	部評価)						יים טיין		
1)内容評価									
<ul><li>・子どもの居場所</li></ul>	fづくりや学習支援の充実という	i観点からすれば、	当該	核事業内容及	及び総合評価は、適正で	あ			
る。 2)指標の設定							$\setminus \vdash$		
	Oとして、当該指標の設定は、妥 意識調査など「質的指標」に関し					な	$\overline{}$		
3) 今後の方向性	ŧ					+15			
標化に値する取り	説明責任や公金支出の観点から、 J組みはないか、検討されたい。								
・松本市における	る不登校支援のビジョンが未だ明 5明確なビジョンを形成し、ビシ	ᠯ確ではないとの排 ションに応じた総€	旨摘る 今的た	E踏まえて、 ②支援を早急	行政のみならず民間団 乳に行っていく必要があ	体			
る。			717.0						

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	日	144	148	162	162			
<b>刈</b> 家油宗	2								
	1	人	1, 116	1, 275	1,877	2,000	3,000	R7	63%
活動指標	2	人	480	838	959	1,000	1,500	R7	64%
	(3)								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈平佰倧	2								#DIV/0!

#### 活動指標の増減維持理由

・R4.5から実施場所を移転したことに伴い、延べ利用者数が増加傾向にある。

## 成果指標の増減維持理由

## 【投入コスト・人員】

	汉 八			八貝』								
	年	度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<b> -</b>	-タルコ	スト	千円	4, 832		4, 862		4, 872		4,872		5,662
	事業費		千円	3, 320		3, 350		3, 360		3,360		4, 150
	国/	庫支出金	千円									
	特県	支出金	千円									
	財財	方債	千円									
	順 安	益者負担	千円									
	"" そ ₍	の他	千円									
	_	-般財源	千円	3, 320		3, 350		3, 360		3,360		4, 150
	人件費合		千円	1,512		1, 512		1, 512		1,512		1,512
	正規聯	<b>職員</b>	千円	1,512		1, 512		1,512		1,512		1,512
	人	員	人	0.2		0.2		0.2		0. 2		0. 2
	会計年度(	フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人	員	人									
		度(3類)職員	千円									
	その他	也職員	千円									
L	/u = 1 -	フトの接ば	/# + 土 T田 rt	•								

トータルコストの増減維持理由

# 【事業の評価】

|--|

一次評価 B なっている

# [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 C 概ねなっている

【総	合評価		
評価	В		

事務事業名	ב ב													
担当所属		こども育成課						連絡先		34-32	291			
関連所属		甘士桂却												
<del>【 争                                   </del>		基本情報』												
基本施策	1 –	4 子どもにやさしいま	ちづくり											
総     分野       合     基本施策	1 1 –	こども・若者・教育 4 子どもにやさしいま [・]	ちづくり	予算	中事	業名	青少年健全育成事業費							
計	1	4 ] 2 0 2 7 2 0 1 3	5259	事										
事業期間		~	会計種別	業	会計			事業種別		政等。	的事務			
根拠法令要綱			云引性剂	川又	云司			争未性加		以來	PJ <del>T</del> が			
地域区分	_		施設種別	_				予算要求[	マ分 3	<b></b>	<b>\$</b>			
【事業概		・指標】	が品は大作業がい					了开安小	스기 까	性中性异	₹			
事業概要		JH 1072				対象:	指標							
<u>趣旨・目的</u> 青少年が心身	r と キ	に健康で健やかに成長す	るために、家庭・学A	ተ • ኛ	地	1								
		青少年の健全育成に取り		\ -1	-	2								
<u>内容</u>						活動	指標							
	全育	成市民大会(11月20			ľ		<u>                                     </u>							
青少年傾 2 青少年の意		成関係団体の表彰、子ど 高揚	もの発表等実施			_	メディア・リテラシー講	-	—————————————————————————————————————	辛,什么	±)			
自然豊か	な会	の開催(5月3日、コロ 場に子どもたちが一堂に	集い、手作りの遊びを	通し	,						E)			
(2) リーダー	講習	情の輪を広げ伸び伸びと 会の開催(10月22日	)			③ 薬物乱用防止啓発講座受講者数(児童・生徒) 成果指標								
自然の中 リーダーと	での	集団生活・体験活動を通 の指導力を養うため、美	して、自主性や積極性 ヶ原自然少年の家で関	E、 記催。		1)	日日1示							
3 青少年の居	場所	づくり事業の推進			r.									
な青少年の居	場所	3か所、学習スペース3 を設置。併せて、あがた	の森文化会館に、性教			2								
		の悩み相談を受けるまち ラシーの推進(養成、普				3								
(1) メディア	۱۰,	テラシー講座(市内小中 発「ネットの危険から子	学校36校)	51- 1		効率:	指標							
5 薬物乱用防	<b>止</b> 啓	発の推進		رکار		1								
(1) 楽物乱用 (2) 薬物乱用	防止	啓発講座(市内小中学校 啓発資材設置(市内公民	40校) 館、他青少年関連6旅	豉)	-	2								
【今後の方											-			
一次評価(内 今後の実施方向				甲	松	続		1	全沒	後の見込	<i>7</i> 4			
・青少年の心豊	かな	成長を促進するために、	青少年が様々な人と技	きする	5機会	(居			718		スト			
		やすい事件(薬物乱用・ シー講座では、リテラシ						推		削減組	掛 増大			
進していく。	, ,			,,,	-,	1,7,		_ <del></del>	上昇 維持	(	0			
<b>一小元亚/亚</b> / 5	J <del>/</del> 777=	亚/本							縮小					
二次評価(タ	니다기	<del>计</del> "叫 <i>)</i>												
1)内容評価	李武	という観点からすれば、	<b>坐封車業内容及が必</b> る	≻≘₩∄	T-1+	油工	<b>で</b> ある							
2) 指標の設定・事業評価の一	: -つと	して、当該指標の設定は	、妥当である。他方で	ご、禾	川用者			な	\					
3) 今後の方向	]性	に関しても設定していく。 責任や公金支出の観点か				仁即	しても、指煙化に値する取	76)	$\rightarrow$					
組みはないか、 ・一次評価にも	検討 指摘	されたい。 されているように、メデ	ィア・リテラシーに関	目して	は「	危険	を煽る」ことを第一義的	וכ						
事業化も検討さ ・青少年の居場	れた	いう「場の空間」事業か												
いか、検討され	いこし	0												

KIH IW	<del>-</del>		D 2ケ中中体	D 2年中生	D //生产中线	R 5年度見込	口捶店	口捶生莊	達成度
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	连队反
対象指標	1								
71381日1示	2								
	1	人	1, 281	1,068	1, 173	1,300	1,300	R7	90%
活動指標	2	人	3, 226	6, 771	5,639	8,000	8,000	R7	70%
	3	人	3, 715	3, 938	3,883	5,000	5,000	R7	78%
	1	%							#DIV/0!
成果指標	2	%							#DIV/0!
	3	%							#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈半怕惊	2								#DIV/0!

#### 活動指標の増減維持理由

メディア・リテラシー、薬物乱用防止講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数での集まる講座を開催できなかったため、参加人数が減少している。

### 成果指標の増減維持理由

## 【投入コスト・人員】

<u> </u>	$\times$ $\wedge$ $\square$ $\wedge$ $\square$		八貝』								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u>                                     </u>	·タルコスト	千円	16,009		13, 636		12,688		12,819		18, 142
II.	<b>事業費</b>	千円	6,817		4, 444		3, 496		3, 627		8,950
	」 国庫支出金	千円									
	特定 地方債 受益者負担	千円									
	<b>上</b> 地方債	千円									
	短 受益者負担	千円									
	***` その他	千円									
	一般財源	千円	6,817		4, 444		3, 496		3,627		8,950
	人件費合計	千円	9, 192		9, 192		9, 192		9, 192		9, 192
	正規職員	千円	5, 292		5, 292		5, 292		5, 292		5, 292
	人員	人	0.7		0.7		0.7		0. 7		0. 7
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	3,900		3, 900		3,900		3,900		3,900
	人員	人	1.3		1.3		1.3		1.3		1.3
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									
	カルコフトの描述						•				

トータルコストの増減維持理由

令和2~4年度は、松本子どもまつりが中止となったため、事業費が減少しています。

### 【事業の評価】

[目的妥当性]	评価]	1.	事業の目的、	内容、	、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	

一次評価 B なっている

## [有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

 一次評価
 B
 なっている

【総	合評価】		
評価	В		

下们 5 <del>年</del> 1	支	事務事	耒評価	衣(	市和 4	十一反	<b>が</b> 上が	冗事?	分手	来 /								
事務事業名	名	ネイチャ	リングフ	フェスタ	イベン	ト事業	ŧ											
担当所属		こども育	成課										連絡	各先		34-	3291	
関連所属			+ 401															
事務事																		
分野 基本施策		こども・若 4 子ども		\ <b>ま</b> ちづく	· 11													
総分野		ェーラこと こども・若		.6.77	· /		予	中事	業名	ネイ	チャリン	ノグフェブ	スタイ	ベント	事業	費		
合 基本施策 計		4 子ども		いまちづく	くり		算											
計   画							事業											
事業期間		H12	~		会計種別	II.		会計					事業	種別		砂	策的事	終
		1112			五山庄为	<u>,                                      </u>	/3/	ДП					3-71	12//			>/<-3-3-	.123
根拠法令要綱					14													
地域区分	-  -	<b>1</b> ⊬. 1	# <b>1</b>		施設種別	IJ	_						予算	要求	区分	経常総	¥費	
事業概	安	・指札	祟】						44.1	比描								
事業概要 趣旨・目的										指標								
社会生活の急	急速な	変化により	、環境問題	題が深刻(	とし、改め	かて自然	然の尊		①	プロク	ブラム数							
が見直されるな 人・自然・環境									2									
人・日然・現場 の <del>。</del>	元(ハハ	η ισυνις 🗴	、小ル、 入り合立る	ニ体ののつ	ハントで	二川性(	<i>a</i> at	Ĺ		七抽								
								_		指標	4 144							
<u>内容</u> 1 実施内容									1)	来場者	首数							
(1) 実施日		和4年7月1		18日(月	月・祝)				2									
(2) 会場 (3) 開催時間		ルプス公園 :00~16:0(						-	-									
(4) 内容	21	種類の野外	体験プロ?			"			3									
		ι太切り、 こし体験、				食器づ	< 0	` [	<b>戊果</b>	指標								
	)(0)		<b>20.11</b> L	) '&C)					1									
								-	_									
									2									
									3									
									)	比価								
										旧伝								
									1									
									2									
								- 1										
								- 1										
								- 1										
1000 o ±	- <del></del>	. 1						_										
【今後の方																		
一次評価(P 今後の実施方向					新年	F度の約	丰里	縮	/ \						<u> </u>	後の見	込み	
・平成12年から			12年度のみ	新型コロ						ノ中止	) してお	いり、自然	然や環		/		コスト	
境とふれあう体	本験型	のアルプス	公園を会場	易として乳	実施する イ	イベント	〜とし	て定	着し	てきて	ている。					削減	維持	増大
・新型コロナウ 告知の仕方を <b>梼</b>					ノト用作庫	到近こん	よつ(	しょ	) (	いた。	新たな.	ノロクラ	7779	成	上昇			
		0.10 2 3.51	- 12-130 3											果	維持縮小		0	
二次評価(タ	<u>外部</u> 請	平価)													- TH 3			
1)内容評価 ・環境教育の充	宇宙と	いう組占っ	いらさわげ	<b>当</b> 該車等	学内突 エタッ	<b>『松仝</b> =	亚価1-	十	下で [。]	あス								
2) 指標の設定	È													\				
・事業評価の一	-つと	して、当該	指標の設定	定は、妥当	当である。	他方	で、こ	プログ	ラム	数・オ	k場者数は	といった	:「量					
的指標」のみな 3)今後の方向		、「貝凹指	1信】「に関し	ノくも設力	EU ( lis	、必安局	አ <i>ሊ</i> ሶ	いい、	火刮	ن/۱۱ <i>)</i>	こしい。							
・市民に対する	5説明		支出の観点	点から、	「成果指標	票」「対	劝率指	[標]	こ関	しても	5指標化1	に値する	取組					
みはないか、検 ・一次評価に関			「必要」と!	ハう(の証	価になっ	ている	が、	しいかた	る組	見占か	らの改善	が必要が	なの					
か、早急な検討					,щ,с & Э		\	J //J 'C	. J E	,,,,,,,,	J */ JA	,,, w.y.	J					

KJII IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	プログラム	0	16	21	25			
<b>刈</b> 家油宗	2								
	1	人	0	6,000	6,300	6,500	7,000	R7年度	90%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
<b>刈竿拍</b> 惊	2								#DIV/0!

#### 活動指標の増減維持理由

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大抑止のため、中止とした。令和3年度は、実施はできたものの県内在住者限定で規模を縮小し、実施したもの

### 成果指標の増減維持理由

## 【投入コスト・人員】

	(JX	<u>, // _/ //  </u>		八只』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	<u>ー</u> 5	7ルコスト	千円	14, 536		1, 356		11, 337		14, 536		12,096
	事	業費	千円	13, 180		0		9, 981		13, 180		10,740
		<b>山</b> 国庫支出金	千円									
		特県支出金	千円									
		定地方債 財 系	千円									
		源 安益百貝担	千円									
		が その他	千円									
		一般財源	千円	13, 180		0		9, 981		13, 180		10,740
	人	件費合計	千円	1, 356		1,356		1, 356		1,356		1,356
		正規職員	千円	756		756		756		756		756
		人員	人	0.1		0.1		0.1		0. 1		0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	600		600		600		600		600
		人員	人	0.2		0.2		0.2		0. 2		0. 2
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止しました。

# 【事業の評価】

一次評価 C 概ねなっている

# [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 C 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

【終	【総合評価】									
評価	С									

事務事業名	7	障がい児福祉事業											
担当所属		こども福祉課   連絡先   33-4767											
関連所属		<b>甘 木                                   </b>											
		<u>基本情報】</u>											
分野 基本施策		こども・若者・教育 5 未来につなぐ子ど	ま、福祉の充実										
		こども・若者・教育	る福祉が元人	予	中事業	名	障がい児福祉費						
	1 –	5 未来につなぐ子ど	も福祉の充実	算									
計画				事業									
事業期間		~	会計種別		会計		事業	種別	その他				
	松本	市老人及び心身障害者	福祉事業補助金交付要網				1.22	-,	- 1,0				
地域区分	14.7		施設種別	,			予算	要求区	[分   経常経費				
【事業概	要	・指標】	10000				1		1				
事業概要		11372			対領	录指	標						
<u>趣旨・目的</u> 陰がいのまる	旧辛	のおがか迁動の坦东垣	-  供するため、活動団体 <i>0</i>	/干キョ	et 1								
ではいいのの 行うもの	<b>汽里</b>	の近りで活動の場で位	1共9句にの、活動団体(	ノスか	2.4								
					2								
		書館事業運営			活動	劬指	標						
市内2か所で	で行う	がおもちゃの貸出業務等 近べ利用者数598人			1								
2 日中活動の			.)		2								
障害児通所	支援		、民間から用地を賃借し	てし	3								
(令和4年度	実績	大多施設1施設)			成	果指	 :標						
					1	T	4100						
					2								
					3								
					効率	<b></b> を指	 5標						
					1	Т							
					2								
【今後の方[									<del></del>				
一次評価(内													
今後の実施方向			前年度の紀  保が図られていることが		継続		=  た古塔を行う		今後の見込み コスト				
降がいのめる おもちゃ図書	元里 館委	の遊りで活動の場の幅 託先に、利用者数や貸	出数などに基づく成果指	いつ、 á標の	フをした	性でおき	元した文族を行う。 らちゃの選定基準の明確化		削減   維持   増大				
などを提起、運	営方	法について協議を継続	中						上昇				
								里耶	推持 〇				
二次評価(外	上並収置	亚価)							宿小				
	미미미	<u>ТIШ/</u>											
1)内容評価	へ <del>た</del>	ㅁㅇ ᄽᆖᄴᄖᆖᅙᆂᅩ	: + +ソハト	.× +	240 Z L V	+>1	ことから 古世寺(正大)に						
・厚かい児価征うこと自体が困			もないか、指標の設定が	ነላፓላ	J46 ( 614	なし	1ことから、事業評価を行						
2) 指標の設定			·	1886	c +/ ı = ± l .		マキバント マナー 四七の0字	\	$\setminus$				
・巾氏に対する 業に関して、「	説明: 活動:	真仕や公金文出の観点 指標Ⅰ「成果指標」「	(、さりには障かい児倫() 「効率指標」に関して、と	上関げ	Ŕ者に刃 こうな指摘	する	る責任としても、現在の2事 E設定し得るか、検討され						
たい。				_ ~ , 0	, , 0,11	131 C							
<ol> <li>3) 今後の方向</li> <li>・「一次評価」</li> </ol>		載があるように <b>豊</b> め	な指標の検討及が 選号	2其治	生の肥猫/	(r. †	などを早急に行っていく必						
要がある。	, C pU	+ルパレン ┛ひ ノに、里巾		_===	一へゝらり」か氏。	יטי כ	~ で上でにコン ( 0, 人の)						
	_												

LID IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水扫标	2								
	1								#DIV/0!
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
メルー・1日1示	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	【技 八 コ ス ト ・ 八 貝】											
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算			
1	一う	7ルコスト	千円	1,716	1, 716		1,716	1, 716	1, 716			
	事	業費	千円	960	960		960	960	960			
		国庫支出金	千円									
		特県支出金	千円									
		定地方債 財 妥并表色 !!	千円									
		源 安益百貝担	千円									
		**** その他	千円									
		一般財源	千円	960	960		960	960	960			
	人	牛費合計	千円	756	756		756	756	756			
		正規職員	千円	756	756		756	756	756			
		人員	人	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1			
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0	0	0			
		人員	人									
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
<b> </b>	トータルコストの増減維持理由											

# 【事業の評価】

		内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	ľ
/				

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか 一次評価 B なっている

【総合評価】								
評価	В							

1- 1H 0 1 %	_						
事務事業名	3	児童福祉事務事業					
担当所属	,	こども福祉課					連絡先   33−4767
関連所属		基本情報】					
<del>【 争                                   </del>		<u> 奉                                   </u>					
基本施策		5 未来につなぐ子ども	福祉の充実				
	1	こども・若者・教育		予	中	事業名	名 児童福祉事務費
総 合 基本施策 計	1 –	5 未来につなぐ子ども	福祉の充実	算事			
画				争			
事業期間		~	会計種別		会計		事業種別政策的事務
根拠法令要綱	児童		·				
地域区分			施設種別				予算要求区分 経常経費
【事業概	要	・指標】					
事業概要						対象	<b>身指標</b>
<u>趣旨・目的</u> 関係機関の連	抽:-	より、要保護児童の早期	日発目 対応の推進す	アドロコ	音声	1	
おいては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	動の	より、安休護児里の早期 実施。併せて相談支援機	ったん、対心の推進及 幾能の強化と児童の一	いたり時預力	とだり		
等子育て支援施			- · · <del></del>	- / -		2	
内容						活動	动指標
1 要保護児童		事業 策地域協議会の開催				1	
ア イ 、 実務者	会議 会議					2	
ウ 特定好 (2) オレンジ	婦に 川ボ	関する実務者会議 ンキャンペーン(児童虐	では はいまな はいまい はいま はんしゅう はんしゅう かんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	宝饰		3	
アー広報ま	つも	とへの特集記事掲載	=1717111111111111111111111111111111111	大心		-	   
		断幕の掲示 連携し啓発物品配布					NIPIM
2 乳児院との	連携	による養育支援事業				1	
3 子育て支援 施)	ショ	ートステイ事業(児童養		にてき	実	2	
(1) 松本赤十 (2) 松木児童	字乳	児院(原則として2歳オ 原則として2歳以上18	∈満の児童) 8 歳以下の旧金)			3	
4 肢体不自由	児の	保護者を中心とした団体					 
しいのみ会							口担似
						1	
						2	
「△쏞△士	台州	-1					
【今後の方 一次評価(ア		- <b>-</b>					
<u>一人評価(P</u> 今後の実施方向		<u> </u>	前年度の	結果	i i	継続	今後の見込み
・要保護児童対	策地	域協議会3会議は連携強					23機関の構成団体に新た コスト
な団体を加える・保護者を取り			での多様化に対応でき	るよう	う巻き	5 古摇	爰訪問事業、子育て支援 削減 維持 増大
ショートステイ	事業	の実施の継続が必要であ	<b>5</b> る。				
<ul><li>・企業との連携</li><li></li></ul>	協定	や、共催等で実施したB いて検討していく。	R間団体の活動を通じ	た啓	<b>発活</b> 重	動を、	新たに実施した。今後も、成機持機持
ロボル野ツカガ	ر ب _ا ر	マ・ヘイズロソ 〇 て い 1人。					
							448.7
二次評価(タ	部	平価)					
1 \ 由成元 /m							
<ol> <li>力容評価</li> <li>児童福祉の充</li> </ol>	実の	必要性は言うまでもない	Nが、指標の設定が行	われて	ていた	よいこ	ことから、事業評価を行うこ
と自体が困難で	ある	0			- `	_	
2)指標の設定・市民に対する			さらには児童福祉関	係者!	こ対っ	する責	責任としても、現在の2事業に
関して、「活動							役定し得るか、検討された
い。 3) 今後の方向	1性						
・要保護児童対	策地	域協議会3会議の更なる					
							事業の必要性に関して多くの
関係者に埋解を たい。	(	しつフここか	/ <del>木</del> 汁にひなることか	つ、(	こりん	かの谷	当元/19世紀 10世紀 10世紀 10世紀 10世紀 10世紀 10世紀 10世紀 10

KJH IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
<b>刈</b> 家油宗	2								
	1								#DIV/0!
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝平油宗	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	<u>. 打又</u>			八貝』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度	決算	令和	3年度決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	ータ	'ルコスト	千円	22,800	22	2,544		23, 035		23, 162		24, 150
	事	<b>業費</b>	千円	1,680	1	, 424		1, 915		2,042		3,030
		₊₊ 国庫支出金	千円	1,040		917		1, 202		1,070		2,020
		特県支出金	千円									
		定地方債	千円									
		源 安益有貝担	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	640		507		713		972		1,010
		<b>牛費合計</b>	千円	21, 120	21	, 120		21, 120		21, 120		21, 120
		正規職員	千円	15, 120	15	, 120		15, 120		15, 120		15, 120
		人員	人	2.0		2.0		2.0		2.0		2. 0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	6,000	6	5,000		6,000		6,000		6,000
		人員	人	2.0		2.0		2.0		2.0		2. 0
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
	一夕	'ルコストの増減	維持理由	3								·

# 【事業の評価】

		内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
/				

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【総	【総合評価】											
評価	В											

令和 5年	度	事務事業評価表	(令和 4年度	: 継:	続事	務事	業)		
事務事業	名	子どもの居場所づくり	 推進事業						
担当所属		こども福祉課					連	各先	33-4767
【車 辞 車		 基本情報】							
分野	<del>末</del> 1	<u> </u>							
基本施策	_	5 未来につなぐ子ども福祉	止の充実				· · · ·	*= 402	
総   <u>分野                                  </u>	1 -	こども・若者・教育 ・5 未来につなぐ子ども福祉	 业の充実	予算	中	<u>業名</u>	子どもの居場所づくり推進 	<u>事業</u>	
計				事					
事業期間		H29 ~	会計種別	業	    会計	-		種別	政策的事務
根拠法令要綱	マン	<u> ''ニン</u> :もの貧困対策及び子どもの権		אניו			尹木	刊主力リ	以來可爭切
地域区分	, C		施設種別	I —				要求区分	政策的経費
	要	・ 指 標】	が配成されまかり				] J. <del>A</del>	- 女小四刀	以來的性質
事業概要		3 PH 1737 M				対象技	旨標		
<u>趣旨・目的</u> 子どもの貧困	11位月	ほ及び子どもの権利に関するst	条例に基づき、子/	ビキ、ナ	が生	1			
まれた環境にな	三右さ	れず、自己肯定感の向上に。				2			
るようにするこ	2	日拍9。				活動技	ᅜᆤᆖ		
<b>内容</b> 1 月1回以」	⊦. ≰	事提供に加えて学習支援又は	ま生活相談に応じる	る居場	<b>=</b>		^{11伝} 「子どもの居場所」開設数		
所を開設する	5団体	スへ交付金を交付 この継承などの生活体験を実施している。				2	「子どもの居場所」開設数		
		そのでは民や学生に対するか					- 」と 00/四場所 1 開催回数 	•	
4 子どもの周	占场川	f開設数 15カ所(13団(	<b>本</b> )			成果技			
							<del>『『                                   </del>	<b>信がついた</b>	ニュスどもの割合
						1	参加して「嬉しがうた」「日 ────	16かりい	
						2			
						3			
						効率技	台標		
						(1)	TIW.		
						2			
<b>「</b> 会然の士	· 📥 🖟	+1							
【今後の方 一次評価(F		=							
今後の実施方向	可性	拡大	前年度の紹			迷続		今	後の見込み
・当該居場所はいる。	ま、子	どもが徒歩で参加できる場所	<b>听という視点から</b> 名	各小岩	学校区	조に1:	カ所以上の開設を目指して		コスト
・実施団体が糾		て取り組めるように、食事技		<b>きめ</b> に	<b>こ「</b> 庫	至食型.	、また学習支援を担う住	上昇	削減   維持   増大   ○
		:なる「学習支援者加算」を業 )声を聴取し、現状と交付対象		がなし	ハよニ	うに支持	爰を充実させる。	以 維持	
二次評価(名			,	J (J. V	0.5	,,_,,	× = 10,10 = 0.0	縮小	
	ТНР	<u> 1   рад</u> /							
1)内容評価  ・子どもの貧困	日をは	)ぐる負のスパイラルを断ちな	切るという観点か <i>i</i>	うすれ	<b>いば、</b>	当該	事業内容及び総合評価は、	$\setminus$	
適正である。				J 9 1	VIOX	- HPV			
2)指標の設定・事業評価の一	-つと	こして、当該指標の設定は、翌	妥当である。他方 ^っ	で、厚	非設数	女・開作	崔回数・参加者数といった		
「量的指標」の	りみな	こらず、成果指標の一つとして 「関しても設定していく必要に	て取り上げられてい	ハるう	子ども ヽ	こに対	するアンケートの結果な		
3) 今後の方向	句性					- 1			
標化に値する耳	又り組	]責任や公金支出の観点から、 ]みはないか、検討されたい。	)						
		箇所以上の開設を見込む場合		があ	るの	か、行	政内部での課題の検討が必		
	この総	<b>迷続的な情報共有を行うことで</b>	で、効果的な交付の	のあ ^に	)方を	検討	されたい。🛭		

TIH IN	<u> </u>					<i>i</i>			_ I_
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
2013年1日	2								
	1	か所	13	13	15	20	26	R7	58%
活動指標	2	回	168	223	300	400	500	R7	60%
	3	人	3, 112	4, 951	5,500	6,000	6,500	R7	85%
		%	98	88	95	95	100	R7	95%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝华油宗	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	収			八貝』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	一夕	'ルコスト	千円	12, 364		4, 114		5 <b>,</b> 438		7,535		8,680
	事	<b>業費</b>	千円	9, 340		1, 090		2, 414		4, 211		4,900
		₊₊ 国庫支出金	千円	0		0		0		1,075		3,670
		特県支出金	千円									
		定地方債 財	千円									
		源 安益百貝担	千円									
		が その他	千円									
		一般財源	千円	9, 340		1, 090		2, 414		3, 136		1,230
		<b>牛費合計</b>	千円	3,024		3, 024		3, 024		3, 324		3,780
		正規職員	千円	3,024		3, 024		3, 024		3,024		3,780
		人員	人	0.4		0.4		0.4		0.4		0.5
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		300		0
		人員	人							0.1		
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
<b> </b>	<b>一</b>	'ルコストの増減	維持理由	1								

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【総	【総合評価】										
評価	В										

134H 2—1	<u> </u>	717777		( 13/14 -	1 /2 1	-170 3	3,,,	<i>-</i> 1< <i>/</i>				
事務事業	名  こ	んにちは	赤ちゃん	事業								
担当所属		ども福祉	課							連絡先	33-4	767
関連所属												
<u>【事 務 事</u>												
分野		ども・若者										
基本施策			なぐ子ども花	量祉の充実		1 4 =	<b>5 ** * *</b>	I = / 1 = <del>/</del> -	1 <del>1 + + .</del> / :	<b>丰</b> 业市		
総 分野		ども・若者	<u>・教育</u> なぐ子ども福	がの女生	予 算		<b>美名</b>	こんにち	は赤ちゃん	事業質		
合 基本施策 計	1-5	不木にフ	はくすこび作	1110万元夫	昇							
画					事業							
事業期間		H21 ^	-	会計種別	— <u>f</u>	股会計	-	!		事業種別	政策	的事務
根拠法令要綱	児童福											
	松本市	こんにちは	赤ちゃん事業							マケエナロ	/\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	曲
地域区分	7 775	北上	1	施設種別						予算要求区?	万   栓吊栓:	<b>其</b>
【事業概	安	1拍 惊	1				444.4	<b>└</b> ##				
事業概要 趣旨・目的							対象技	百悰				
	地域をつ	なぎ、乳児	家庭の孤立る	を防ぐため、子育	育て支援	に関	1					
する必要な情報	8提供を	行うととも	に、支援が必	必要な家庭に対し	して、適	切な						
	を行うこ	とで、地域	で子どもが像	建やかに育つ環境	竟整備を	図る	2					
もの							活動技	旨標				
内容			- 1 1				1	訪問対象乳	児数			
■ 生後4カ月ま 主任児童委員か			ての家庭を名	ら地区の民生・!	尼童委員	ゃ						
1 育児に関	夏する悩	みを聞き、	子育てガイト	·ブックにより <del>-</del>	子育て支	援	2	訪問実績数	Ţ			
に関する情	青報提供	を行う。		十	±-, c±-, 1 −- ±-1.		3					
2 母子のル   ア適切か+	♪身の状 tービス	況や養育場 へ結び付け	₹現を把握し、 ∙ス	支援が必要な	<b>豕廷に</b> 対	U						
				<b>こめ、ファース</b>	トスプー	ン	成果技	旨標				
として手作	乍りの木	製スプーン	を贈る。				1 3	要支援数に	対する対応	件数の割合		
							_					
							2					
							3					
							_					
							効率技	旨標				
							1					
							2					
<b>「</b>	- ┌╧┐, у∔_ ¶											
【今後の方		/ <del>///</del> \										
一次評価(P 今後の実施方向				24.7	度の結果	10	<b>业</b> ≤=				今後の見込	זבו
			ため訪問中に				迷続 胡宝紹	<b>着数は縮小</b>	ハルたが 仝	70		<u>^</u> の ]スト
世帯に対し活動						ם כ כט	ויאכניוני	い出いの「人父只	·0/2/3/\ \ \ \			維持 増大
・事業実施を通	通じて把	握した支援	を要すると思	思われる世帯(野	要支援数	) のá	こって	対し、地区	保健師の訪	問等 上 上	昇	123 27
支援に繋げるこ	ことかで	きている。									持	0
	LI ±n	/\									Ŋ١	
二次評価(多	<u> </u>	性)										
1)内容評価												
	の孤立化	の防止」と	いう観点から	うすれば、当該	事業内容	及び約	8合評(	西は、適正	である。			
2) 指標の設定	È											
・事業評価の−  3)今後の方向		て、当該指	標の設定は、	妥当である。	引き続き	、きょ	か細やな	かな対応を	:期待したい	, ,	$\setminus   \  $	
		した活動は	大変であるこ	ことが推察される	るが、孤	立化で	る家園	庭に対する	ケアの充実	を引		
き続き期待した	きい。他	方で、訪問	する民生・リ	記童委員に対し	て、昨今	の子と	ごもや	子育て世帯	を取り巻く	環境		
の変化の理解の も検討されたい		テートも同	時に求められ	?ている。リス <del>=</del>	キリング	やアン	ノブー:	ンの機会を	:設けていく	ے ا		
で作引 これ/こし	10											

TITI IN									
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕1日宗	2								
	1	人数/年	1,679	1,530	1, 647	1,603	1,766	R6	93%
活動指標	2	訪問数/年	626	664	182	1, 335	1, 766	R6	10%
	(3)								#DIV/0!
	1	割合	100	100	100	100	100	R6	100%
成果指標	2								#DIV/0!
	(3)								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝宁阳宗	2								#DIV/0!

#### 活動指標の増減維持理由

新型コロナウィルス感染警戒レベルが引き下げられたことに伴い、令和5年3月より訪問を再開しました。

# 成果指標の増減維持理由

# 【投入コスト・人員】

	<u>XI.</u>			八只」				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	ータ	'ルコスト	千円	5, 299	4,856	4, 446	4, 546	4, 696
	事	業費	千円	3, 343	2, 900	2, 490	2, 590	2, 740
		₊₊ 国庫支出金	千円	558	480	830	264	910
		特県支出金	千円	558	480	830	264	910
		定地方債 財 系并表色机	千円					
		源 安益百貝担	千円					
		が その他	千円					
		一般財源	千円	2, 227	1, 940	830	2,062	920
	人	<b>牛費合計</b>	千円	1, 956	1, 956	1, 956	1, 956	1, 956
		正規職員	千円	756	756	756	756	756
		人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200	1, 200
		人員	人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
		会計年度(3類)職員	千円					
		その他職員	千円					
7	— 勽	ルコストの増減	維持理は	3				

# - ダルコストの増減維持埋田

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	合評価		
評価	В		

令和 5年月	<b>芝</b> 事務事業評価表 (	令和 4年度	継続事	務事	業)		
事務事業名	ろ あるぷキッズ支援事業						
担当所属	こども福祉課					連絡先	24-1235
関連所属							
分野	業基本情報】 1 こども・若者・教育						
基本施策	<ul><li>1 − 5 未来につなぐ子ども福祉の</li></ul>	の充実					
総分野	1 こども・若者・教育	77070		<b>事業名</b>	あるぷキッズ支援事業		
合 基本施策 計	1-5 未来につなぐ子ども福祉の	の充実	算				
画			事業				
事業期間	~	会計種別	一般会計	•		事業種別	その他
根拠法令要綱		•					
地域区分		施設種別	医療保健	福祉	施設	予算要求区分	経常経費
【事業概	要 ・ 指 標】						
事業概要				対象	指標		
<u>趣旨・目的</u> 発達障がい及	なび発達に心配のある子どもとその何	呆護者並びに発達	幸障がい	1			
児と関わる支援	経者を総合的に継続して支援すること						
ぎ、地域の中で	安心して過ごせることを目指す。			2			
				活動	指標		
<u>内容</u> 1 相談窓口				1	相談者延べ人数(電話・	来所・メール)	
	)及び発達に関する相談に、職員及び	び専門職員が対応	ប៊	2	あそびの教室参加延べ人	数	
2 巡回支援 保育園・幼	)稚園・学校等に専門支援チームでi	《同17. 対応方》	大等に	3			
ついての助言				成果			
3 あるぷキッ	ズサポート手帳の配布				あそびの教室参加者の満	記度	
子どもの情	報や経過等を記入し、保護者と支持 に役立てるもの	爰者が共通理解の	りうえ		のでしい教主を加音のル  ペアレントトレーニンク		÷
4 あそびの教	区室				~,~	多加有V/闸压)	z
未就園の親	三子に対し、生活体験やあそびを通り とかにし、子育ての工夫について学			3	IV.		
るもの	がにし、「自ての工人について子	いための教主を持	刊圧タ	効率	指標		
5 ペアレント	トレーニング			1			
子どもの対	  応に困難を抱えている保護者が、=  対処方法を学び、親子関係を良好			2			
催するもの		C 9 0/C0/0/0/09/	ECIM				
<b>T</b> A (// a 1 )	hi N						
【今後の方							
一次評価(内 今後の実施方向		前年度の約	= 19	迷続			*後の見込み
	コローガムへ E参加者の満足度が高く、相談件数を				の効果・必要性はあるも		コスト
と認識している	00						削減 維持 増大
	《件数が増加しており、従来の乳幼』 に目ない支援の実現に向けた事業を原					<b>ル   卍   土</b> 丌	
	クター化を目指す。		XHXAZ			短	
二次評価(タ	<b>卜部評価)</b>						
1) 内容評価	・保護者の子育て環境の充実とい	う知占からすれげ	ਜ਼ ਜ਼ਿਸ਼≢ ਜ਼ਿਸ਼	⋾₩₼	<b>京なが松本証価は、第</b> 3		
ある。		ノ氏ホカンノタイパ	5、 コ 改 手	- <del>/-</del> /\	古次し心口計画は、過止		
2)指標の設定		ムマギュ かんし	た <del>t</del> ロ≡火土	<u></u> ⋜┰ ベ	人物 会加のかし粉 は		
	-つとして、当該指標の設定は、妥覧  指標」のみならず、「質的指標」						
討されたい。		- 2002			= ==== = = •		
3)今後の方向・一次評価でも	]性 5指摘されているように、「乳幼児!	期」から「学齢期	姐! への彩	\$行!. ⁻	着目した支援の充実がす	èм 📗	
	ンクルーシブセンターの設置を一つ						

TIH IN	<del>-</del>	J P 1/2 A							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕怕惊	2								
	1	人	871	854	1,087	1,100	1, 150	R7年度	95%
活動指標	2	人	2, 230	2, 293	1,959	2,000	2,000	R7年度	98%
	3	%						R7年度	#DIV/0!
	-	%	98	99	97	100	100	R7年度	97%
成果指標	2	%			93	95	100	R7年度	93%
	3	%						R7年度	#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈牛竹	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	XL			八貝』								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	<b>一</b> 2	タルコスト	千円	95, 740		89, 750		87,690		85,450		97, 400
	事	業費	千円	13, 040		11, 320		17, 530		12, 160		21, 110
		」 国庫支出金	千円	140		140		200		210		210
		特県支出金	千円	60		50		60		50		230
		地方債	千円									
		源 受益者負担	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	12,840		11, 130		17, 270		11,900		20,670
	人	件費合計	千円	82,700		78, 430		70, 160		73, 290		76, 290
		正規職員	千円	45,360		45, 360		37,800		37,800		37,800
		人員	人	6.0		6.0		5.0		5.0		5.0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	12,000		12,000		9,000		12,000		15,000
		人員	人	4. 0		4.0		3.0		4. 0		5.0
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円	25, 340		21,070		23, 360		23, 490		23, 490
1	<b>一</b>	タルコストの増減網	維持理由	1								

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【絲	総合評価】										
評価	В										

市和 5年段 事務事業評価表 (〒	和 4年度和	还允	元 <del>事</del> "分表	手手	耒 <i>)</i> ——————		
事務事業名 ヤングケアラー支援事業							
担当所属 こども福祉課 関連所属					連絡	絡先	33-4767
【事務事業基本情報】							
分野   1 こども・若者・教育							
基本施策1-5未来につなぐ子ども福祉の充総分野1こども・若者・教育		予【	中事業名	ζ [-	ヤングケアラー支援事業		
合計       基本施策       1-5       未来につなぐ子ども福祉の充	実 :	算	ヿ゚ヺ゚゚゚゚゚゚゚゙゙゙゙゙゚゚゚	1	1 フラブナラ 人版手木		
画		事		+			
	計種別 -	-	会計		事業	種別	政策的事務
根拠法令要綱							
	設種別				予算	要求区分	政策的経費
【事業概要・指標】			ILLE	.11-	.176		
事業概要 趣旨・目的			対象	<ul><li>活</li></ul>	標		
年齢に見合わない家事や家族の世話を担う子ども (支援するため、実態調査の実施と対策を進めるもの	(ヤングケアラ-	—)	<b>€</b> ①				
			2				
経過 平成31年に国が調査結果を公表するなど、ヤングケ	· アラーの実態	把握	活動	指	標		
負担軽減が社会的課題として認識されるようになり、 月に市議会から政策提言がなされた。				周	知啓発活動の実施数		
内容			2				
1 実施内容			3				
(1) 実態把握及び個別事例への具体的支援の調整を (2) 市民や関係団体を対象にした周知啓発を行う。	:行つ。		成果	七	· 描		
(3) 庁内関係部署及び関係機関の職員向けの研修を (4) 関係機関と協議の上、支援体制を整備する。	実施する。		(T)	_	<del>原</del>  知度の向上(「ヤングケア	 'ラー」とし	 \う言葉を知ってい
【 (5) ヤングケアラー・コーディネーター配置を含め	た課内の相談の	体制		る	人の割合)		
を検討する。			2				
【2 実施状況 (1) 庁内対策会議にて実態把握や情報共有の在り方	について検討		3				
(2) 要保護児童対策地域協議会にて情報共有を実施 (3) 関係機関に対する研修の実施	Ī		効率	指	標		
(4) 子どもを含めた周知啓発の実施			1				
			2				
【今後の方向性】							
一次評価(内部評価) 今後の実施方向性「継続	前年度の結果	<b>#</b>	継続				後の見込み
・要保護児童対策地域協議会による情報共有体制の整	備		111111111111111111111111111111111111111				コスト
・新規実施の「こども安心訪問支援事業」を含め具体 ・子どもを含めた周知啓発の継続	的な文援の実施	他				业上昇	削減 維持 増大
・実態調査の検討 ・コーディネーター配置を含めた支援体制の検討						以 維持	
二次評価(外部評価)						~ 編小	
1)内容評価  ・大人が担うケア責任を引き受ける「ヤングケアラー	·」にとって、『	家事	に追われ	しる	日々は、睡眠不足という		
健康問題を生じさせるだけでなく、自分の時間や勉強 「青春」の1ページを刻むことさえ難しくすることか							
ば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 2)指標の設定について		. 5/	י נענייםי.	2			
・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当で		政策	を実施す	-る	場合は、周知啓発活動や		
認知度の向上といった指標以外の検討が不可欠である 3) 今後の方向性		_				$\vdash \vdash$	
・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の標化に値する取り組みはないか、検討されたい。例え							
の実態調査とそれに基づく世代・ケアレベル別分析の対象範囲の再検討、家事支援サービスやショートステ	他、各種公的	サー	・ビス (介	護	保険や障害福祉など)の		
等を活用したオンライン相談体制の構築、学校生活に	留まらず日常	生活	を包み込	<u>\</u> t	専門人材(ケアマネー		
『ジャー、相談支援専門員、医療ソーシャルワーカー、	スクールソー	ンヤ	'ル'ノーナ	J —	なと)の傩保・育成、な		

ど、多様な選択肢がありうるため、総合的な観点からの施策の検討も進められたい。			

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
入13个1日1示	2								
	1	年/回		4	17	6	6	R6	283%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
		%			30		35	R8	86%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
※ 対学的伝	2								#DIV/0!

#### 活動指標の増減維持理由

令和3年度は、広報まつもとへの記事掲載や庁内関係者への研修を実施したが、令和4年度は出前講座や里親相談会等の関連事業でヤング ケアラーの啓発に取り組んだため実施数が増えた。令和5年度は出前講座等の申し込み状況が不明のため、引き続き関連事業と連携した周 知啓発活動を継続するものとしたい。

#### 成果指標の増減維持理由

令和4年度は、県が実施した全中学生に対するアンケート調査の数値。

こども向けの市独自の実態調査の定期的な実施等を検討している。

# 【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

	<u> </u>		八只人								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<b> </b>	·タルコスト	千円	0		0		2,568		2,568		3,624
=	<b>事業費</b>	千円									
	₄₊ 国庫支出金	千円									
	符 県支出金	千円									
	<b>上</b> 地方債	千円									
	特定 地方債 受益者負担	千円									
	***` その他	千円									
	一般財源	千円	0		0		0		0		0
	人件費合計	千円	0		0		2,568		2,568		3,624
	正規職員	千円	0		0		2, 268		2,268		3,024
	人員	人					0.3		0.3		0.4
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		300		300		600
	人員	人					0.1		0.1		0.2
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

#### トータルコストの増減維持理由

専属のコーディネーター等を配置しておらず、児童虐待や障がい児福祉に対応する地区担当職員が兼務で行っている状態。今後、情報共有 が整備され相談件数が増加した場合、コストが増加することが見込まれる。

#### 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

情報共有の体制整備に向け検討を進めている。

#### [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

情報共有の体制整備や関係機関と連携した周知啓発活動は行えている。

### [効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

情報共有の体制整備が進み相談件数が増加した際に対応できるだけの支援体制を構築できるかが課題

【総	【総合評価】											
評価	В											

令和	5年月	隻	事務事	業評	西表	(令和	口 4年度	継統	売事	务事	業)				
事	务事業名	\$	ユースサ	ナポート	事業										
	当所属		地域づく	くり課								連絡	先	34-	3280
	関連所属 務事		基本	情 報】											
分野		1	こども・ネ	告者・教育											
基本施総 分			6 若者 こども・a	が活躍でき		づくり		予	中事	<b>業</b> 夕	1				
合 基			6 若者			づくり		算	.1.3	<del>本</del> ·口					
計画								事業							
事業期	間		R3	~		会計	種別		会計			事業種	重別	政策	策的事務
根拠法	令要綱														
地域区		_	16	IT.		施設	種別					予算要	要求区分	経常経	費
事業概		要	・指	標】					15	付象技	七冊				
趣旨・	目的										_{町宗} 15歳~24歳までの松オ	<u>+</u>	(AB1D	<b>牛牛</b> \	
							会を創出し て活躍でき		^退 場 こう -	$\overline{}$	13歳 24歳よ 00444	חאווא	(4/21/14)	·········	
			に支援す							2					
内容	1 11	_							3	<b>活動</b>					
		校の	探究学習:							1)	学割カエルパ!協賛店	5舗登録数	<b>Σ</b>		
			ワークの							2					
		学「	寄付講義							3					
	松本を	もっ	とよくし						J	成果	<b>省標</b>				
	・食べ歩	きガ	゙イドブッ	ク、学生	仮まつも	と暮らし	゚ロジェクト ガイドブッ		刂作	1	「学生との連携・協働	動事業実施	<b>地状況」</b>	調査結果	数
1			としたま 議2022へ							2					
	県内大	学生	が『居場	听』をテ-	ーマに、:	地域課題	を共有し、 を考える。		或	_					
(3)	学割でお	シトク	にかえる	パスポー	ト (学割)	カエルパ	!)事業			3	La ler				
が	受けられ	いるも	の。学生	を応援し	地域とつ	ながるこ	様々なサー とで、地域		ľ	<b>沙率</b> 技	<b>省標</b>				
			うな魅力。 パ!PR活							1					
			コラボイ				ル松本)			2					
									- 1						
10	<b>∀ ↑ →</b>	المال ك	_1												
	後の方 平価(P														
今後の	実施方向	性	拡大				前年度の紹		継				4	後の見	込み
	年度から ていく。	若者	チャレン	ジ応援事	業補助金	を新設し	、若者の活	5動^	への財!	攻支:	援及び地域とのマッチ	チング			コスト 維持 増大
7,017													上昇	7	
													成果縮小縮小	<del>آ</del>	
二次記	平価(タ	小部	評価)										ли 3		l e
1)内	容評価														
・若者	世代を次		;の担い手 [*] 評価は、 ³			して位置	付けていく	くとし	\う観	点を	従事するとするならは	ば、当			
2)指	標の設定	2		_	-	<u> </u>	<b>7</b> /u1. =	_ 1-	h ## - <del>\-</del>	V-17-20	03 WE VE FINITE /	, _			
「量的	指標」の	ほか	に、例え	<b>ば、すで</b> (	こ実施し	ている高	等学校に対	付する	5探究	学習:	録数や調査結果数とい 支援の実績等に関して	ても、	/		
他自治	体の状況	と比	較し、指	漂の一つ	こ加える	ことで、	当該事業0	の成果	₹の可	視化:	を別の観点から行って していく必要はないた	ていく 🗖			
討され			·=· · =·	ריאו חוני -		, , , д	ת באוחונ⊸.	-1~1 C	, , 0	J 1755					
・公金	支出及び	市民	に対する	説明責任の	の観点か	ら、他の	「活動指標	票」	「成果	指標.	」「効率指標」の設定	定に関			
											業補助金に関してもそ 握することも検討して				

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	人/年		22, 594	22, 497	22, 716			
刈水拍标	2								
活動指標	1	店舗/年		99	107	112	120	R7	89%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	件数		28	33	38	48	R7	69%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝宁伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

成果指標については、R4年から調査を開始し、本年度は前年度(R3年度)分の集計をしたため、R4年度以降は見込みとなります。

<u>【</u> 找	<u> </u>		人員】					
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3	年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	0	0		11, 340	11, 340	11, 340
事	業費	千円	0	0		0	0	0
	_{#+} 国庫支出金	千円						
	特県支出金	千円						
	时地刀頂	千円						
	贸益者負担 源 <b>受益者</b> 負担	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	0		0	0	0
人	、件費合計	千円	0	0		11,340	11, 340	11,340
	正規職員	千円	0	0		11, 340	11, 340	11, 340
	人員	人	0.0	0.0		1.5	1.5	1.5
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0	0	0
	人員	人	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
	会計年度(3類)職員	千円						
	その他職員	千円						
<b> -</b>	タルコストの増減額	維持理由	1					

# 【事業の評価】

[[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【絲	【総合評価】										
評価	В										

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年)	き 継網	続事	務事	業)			
事務事業名 青少年ホーム事業							
担当所属生涯学習課					連絡先	26-	-1083
【事務事業基本情報】							
A 野 初 野 未 錖 午 時 報 A 分野							
基本施策 1-6 若者が活躍できる環境づくり 総 分野 1 こども・若者・教育	7	LHa	サク	主小生士 / 声光弗			
合 基本施策 1-6 若者が活躍できる環境づくり	予算	中身	未石	青少年ホーム事業費			
計 画	事業						
事業期間 S47 ~ 会計種別		快会計			事業種別	政	策的事務
根拠法令要綱 松本市青少年ホーム条例、松本市青少年ホーム条	例施行	<b>丁規則</b>					
地域区分					予算要求	区分 経常総	経費
【事業概要・指標】			1121	N. III			
事業概要 趣旨・目的			対象技	<b>首</b> 標			
15歳以上35歳未満の青少年を対象に、利用者登録手続を行利用者の会会員となり、青少年ホームの事業に参加ができ、自分			1				
仲間づくり、社会に役立つキャリアづくりの推進を行う。			2				
<u>内容</u>	=# rt	_	活動技		/		+
1 ヤングスクールは、夏期14講座、秋期11講座、冬期13   開催	講座を	ř	1)	青少年ホーム登録者数	と目標値( 	250人) 8	との割合 
2 コーディネーターと連携した事業 (1) ボードゲームイベントの開催	- ^		2				
(2) 信濃むつみ高校教諭との共催による「多国籍なんなん交流 開催 第4 0 0 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	法分」(	()	3				
3 利用者の会活動・事業 (1) 6サークルが活動中(スポーツ系5、文化系1)			成果技	旨標			
(2) 令和4年度の利用者の会自主活動・交流事業(ホーム祭、 等)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、なんな	運動会	<u></u>	1				
スタ2022 (松南地区文化祭) の参加以外は、殆ど中止となっ 4 子どもプレイパークは、なんなんフェスタ2022の中でエクセ	た。		2				
校が露店出店   ち 若者が主体となり、地元企業とのつながりを通してスキルア			3				
図る「松本若者会議」への参加・協力	7 7 7	<u> </u>	効率打	旨標			
6 カウンセラーによる「若者お悩み相談室」を実施 7_若者が自由に過ごせる居場所として、毎週日曜日に「若者カ	フェ」	を	1				
開設			2				
【今後の方向性】							
一次評価(内部評価) 今後の実施方向性   継続	結果	糸	継続			今後の見	込み
若者に対する社会や地域と繋ぐ環境づくりや、居場所づくりを 握しながら、多様な学びの機会を提供し、若者がアクセスしやす					を把	当心計	コスト
近のなかり、夕小でも子のの成立と呼ばれて、石石がケッとハのドゥ	V 1111+	以 ノ し I ロ	1611	J C V · C 8	<u></u>	上昇	平1寸 上 上
					成果	維持 縮小	0
二次評価(外部評価)						י ניםויי	
1) 内容評価							
・若者のキャリア発達支援の観点からすれば、当該事業内容及び 2)指標の設定	総合語	平価に	、適	正である。			
・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方						$\backslash \vdash$	
限定してしまうと、その活動内容に対する評価が困難となり、「 う可能性がある。従って、「量的指標」のみならず、実際の講座	参加者	旨を対	象とし				
容など、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検 3)今後の方向性							
・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標標化に値する取り組みはないか、検討されたい。	<b>₹」「</b> 万	<b>戊果</b> 指	標」	「効率指標」に関して	も指		
・「なんなん広場」という場に限定されない青少年ホーム事業を 者支援を行っている地域づくり課(ユースサポート担当)と密に							
事業化を検討していく必要はないか、検討されたい。  ・総合評価が「C」となっていることから、現時点での改善策を					VI~ 1		

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
对象油宗	2								
	1	登録者数/目	79. 2%	71. 2%	72%	75%	80%	令和7年度	90%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈华伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

	仅			八貝』					
		年 度	単位	平成31年度 決算			令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	5年度 予算
<b> </b> -	ータ	'ルコスト	千円	13, 407	12,	786	12, 927	13, 278	13, 270
	事	<b>業費</b>	千円	1, 347		726	867	1, 218	1,210
		₊₊ 国庫支出金	千円						
		特 県支出金	千円						
		特 県支出金 地方債 ガスチョウ	千円						
		酒 文色 1 只是	千円						
		が その他	千円						
	ı	一般財源	千円	1,347		726	867	1, 218	1, 210
	人作	牛費合計	千円	12,060	12,	060	12,060	12,060	12,060
		正規職員	千円	7,560	7,	560	7, 560	7, 560	7,560
		人員	人	1.0		1.0	1.0	1.0	1.0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	4,500	4,	500	4, 500	4,500	4, 500
		人員	人	1.5		1.5	1.5	1.5	1.5
		会計年度(3類)職員	千円						
		その他職員	千円						
L	-	ルコフトの描述	(作き 1田 1						

トータルコストの増減維持理由

令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ヤングスクール講座の中止が多かった分、事業費が減少している。

# 【事業の評価】

[[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 ( 概ね結びつくものになっている

【絲	【総合評価】										
評価	С										

# 今和 [ 年度 東敦東娄河區主

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度	継	売事	務事	業)		
事務事業名  交通安全対策事業						
担当所属 自転車推進課				). I	連絡先	34-3245
関連所属					LIAVO	01 0210
【事務事業基本情報】						
<b>分野</b> 1 こども・若者・教育						
基本施策       1-7       ニーズに応じた生涯学習の実現         総 分野       1       こども・若者・教育	予	山山雪	巨丵夕	交通安全対策費		
合 基本施策 1-7 ニーズに応じた生涯学習の実現	算	1114	<del>РЖ</del> 'Ц	<b>人起文王</b> /7/本英		
計	事					
画	業一般	会計	-	事	業種別	政策的事務
根拠法令要綱	132				八江刀	2X2KE33-333
地域区分	-			予	算要求区	区分 経常・政策的経費
【事業概要・指標】						
事業概要			対象	旨標		
<b>趣旨・目的</b> 交通安全運動を市民活動として展開するため、関係団体の運営			1			
し、市民への啓発活動と交通安全教育を充実させ、市内の交通事 図り、安全・安心なまちづくりを推進する。	故防」	上を	2			
内容			活動	旨標		
73日   1 交通安全教室   (1) 幼稚園・保育園児、保護者等に対する交通安全教室の実施			1	交通安全教室への参加人数		
(2) 小学4年生への自転車運転免許証の交付 (3) 小学4年生への自転車安全講話の実施(希望校のみ)			2 1	封頭啓発活動の実施回数		
(4) 高校生対象のスケアードストレイト自転車交通安全教室を身 (5) 福祉ひろば、高齢者クラブ等からの要望により、随時教室を		ī	3			
2   啓発活動   (1)   新小学 1 年生を対象にランドセルカバーを配布			成果	旨標		
(2) 交通安全絵本を保育園等に配布し、交通安全思想の普及啓発	É		1	交通事故死者数及び重傷者	数	
(3) 夜光反射材ストラップ等の啓発物品を市役所窓口にて販売 (4) 警察等の関係団体と協働した各種街頭啓発活動を実施			2			
3 負担金、補助金を通じた支援等 (1) 松本市交通安全市民運動推進会議						
市民自らの手で交通事故を減少させるため、地域に根ざした			3			
な運動を展開し、「安全で快適な交通社会」の実現を目指すこ 日前とする日本	とを		効率	旨標		
目的とする団体。   (2) 市内高等学校等			1			
自転車用ヘルメット着用促進する高等学校に対する補助金交業を行い、自転車乗車中の被害軽減措置を推進する。	付事		2			
来で1]い、日料半米半中の放合性/或指直で推進する。						
【今後の方向性】						
一次評価(内部評価)						
今後の実施方向性  継続   前年度の約			継続			今後の見込み
市内では、強引な右折などの運転マナーの悪さが指摘されてい の交通事故が県下平均と比較して高いなどの取り組むべき課題が				通事故に占める自転車関連	<u> </u>	□ スト  削減   維持   増大
これらの課題に対しては、警察などの関係機関と連携した対策	のほれ	か、っ	今後も		<u> </u>	上昇
動等を継続実施することにより、広く市民に交通安全を呼び掛け ▼す。	、更7	なる	安全・	安心なまちづくりを目指	以里	維持
					71	縮小
二次評価(外部評価)						
1) 内容評価 ・交通事故防止の観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は	、適」	 Eでa	ある。			
2) 指標の設定 ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方	で、	参加。	人数や		i	
標」だけでなく、「質的指標」に関しても設定していく必要はなる)今後の方向性			-	-		
・ヘルメット着用普及が課題となっているが、導入に際しての制大人世代、高齢世代など)が世代や対象によって異なるのか、異					:	
とを検討されたい。						

KIT IN	<u> </u>	単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
计合比插	1								
対象指標	2								
活動指標	1	人	6, 181	10, 194	11,807	12,000	18, 758	7	63%
	2		18	16	22	22	20	7	110%
	3								#DIV/0!
	1	人	66	59	56		63	7	89%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
が一十二日小示	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度から令和4年度まで新型コロナ感染防止のため交通安全教室の参加人数が縮小。

成果指標の増減維持理由

#### 【投 入 コ ス ト ・ 人 員】

<u></u>			人 貝』								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
トーク	タルコスト	千円	23, 566		24, 492		18, 722		20,662		24, 092
事	業費	十円	8, 794		9, 720		3, 950		5,890		9, 320
	」 国庫支出金	千円									
	特県支出金	千円									
	定	千円									
	源 受益者負担	千円									
	‴ その他	千円									
	一般財源	千円	8, 794		9, 720		3, 950		5,890		9, 320
人	件費合計	千円	14, 772		14, 772		14, 772		14, 772		14, 772
	正規職員	千円	9,072		9,072		9, 072		9,072		9, 072
	人員	人	1. 2		1.2		1.2		1. 2		1.2
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	5,700		5,700		5, 700		5,700		5, 700
	人員	人	1.9		1.9		1.9		1.9		1.9
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

令和3年度事業費について、団体補助金の削減があったため減少している。 令和4年度事業費について、団体補助金の削減とヘルメット補助金の増加により変動がある。

#### 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

ヘルメット着用努力義務に伴い、高校生を中心に自転車利用者の着用が進んでいる。今後、一般利用者のヘルメット着用普及が課題である。(市内一般自転車着用率約2割)

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【総	【総合評価】										
評価	В										

市和 5年度	5 事務事業評価衣 ( )
事務事業名	教育文化センター再整備事業
担当所属	
関連所属	
【事務事	業基本情報】
分野	1 こども·若者·教育
基本施策	1-7 ニーズに応じた生涯学習の実現

分野			者・教育						
基本	施策	1-7 ニーズ	に応じた生涯学習の	の実現					
総	分野		者・教育		予	中事業名	教育文化センター再整	備事業費	
合	基本施策	1-7 ニーズ	に応じた生涯学習の	の実現	算				
計					事				
画					業				
事業	期間	H30	~	会計種別	一般	:会計		事業種別	政策的事務
	は一般である。								
地均	区分			施設種別	文化	・コミュニ	ティ施設	予算要求区分	政策的経費

【事 業 概 要 ・ 指 標】 事業概要 対象指標 趣旨・目的 1 築40年弱を迎え、施設の老朽化が喫緊の課題である。また、開館当初 は視聴覚教育、科学教育、歴史教育の3本柱で事業を実施してきたが、こ 2 れからの時代に求められる施設の目的及び機能の再検討し、再整備するも ഗം 活動指標 内容 経過 1 再整備の進捗状況 令和2年度 事業棚卸しによる事業見直し、教育民生委員協議会にお いて棚卸し結果について報告 令和3年度 経済文教委員協議会で再整備事業の方向性について了承 予算特別委員会経済文教分科会でアドバイザーを交えて (3) 検討することについて協議 令和4年度の実施内容 成果指標 (1) アドバイザーの意見をもとに再整備のコンセプトイメージや施設、 , 設備機能を検討(全5回) 【アドバイザー3名】 == 1 三崎 隆 信州大学教授(自然科学) 佐藤和紀 信州大学准教授(情報、ICT) 2

3

2

効率指標

設備機能を快割(至5回) 【アドバイザー3名】 三崎 隆 信州大学教授(自然科学) 佐藤和紀 信州大学准教授(情報、ICT) 三和秀平 信州大学助教(学習環境・設備) (2) 委員会等における協議、報告 ア 教育委員会 8月 教育委員研究会において、再整備の方向性を報告 2月 定例教育委員会において、アドバイザー会議の検討結果 及び再整備のイメージ等を協議 イ 市議会(経済文教委員協議会) 3月 経済文教委員協議会において、アドバイザー会議の検討 結果及び再整備のイメージ等を協議

再整備のイメージ等 不思議を探り、持続可能な未来を切り拓く、子どもと、大人、教職員 が共に育つ人材育成の拠点「(仮称)学都ラボ」

【今後の方向性】

今後の実施方向性   継続   前年度の結果   継続					
		今往	後の見:	込み	
令和3年度に定めた再整備方針に基づいて、今年度はアドバイザー3名から再整備のコンセプトイメージ	$\overline{\ \ }$			コスト	
や設備機能等に関する意見をいただき、以前に作成した基本計画の見直しを実施した。次年度は真に必要と			削減	維持	増大
なる施設機能等について内部検討を進める。	#	上昇			0
	成果	維持			
	不	縮小			
二次評価(外部評価)					
1)内容評価	<u> </u>				
┃・子ども・大人・教職員が共に育つ、人材育成の拠点「学都ラボ」として、学習環境の整備を行っていくと ┃					
いう観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。	•				
2) 指標の設定					
<ul><li>▶・事業評価の一つとして、「進捗状況」が外部に伝わりにくく、不明確である点が否めないことから、進捗 状況を分節化しながら可視化することなどを検討してはどうか。また、再整備後、教育文化センターの取り</li></ul>					
組みの何をどのような指標に基づき評価を行っていくことができるか、先行して「活動指標」「成果指標」					
「効率指標」に関する検討を行っていく必要があるのではないか。					
3) 今後の方向性					
┃・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指 ┃					
標化に値する取り組みはないか、検討されたい。	-				
・総合評価が「C」となっていることから、現時点での改善策を具体的に提示されたい。					

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水拍标	2								
	1								#DIV/0!
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝华伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「払 ス コ フ ト

	<u>没</u>	. 人 」 人 ト	`	人 貝】				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	一方	7ルコスト	千円	76,820	28,610	16, 620	16, 870	16, 620
	事	業費	千円	56, 420	8, 210	0	250	0
		<b>国庫支出金</b>	千円					
		将 県支出金	千円					
		特県支出金地方債	千円					
		海   又無日只担	千円					
		‴ その他	千円					
		一般財源	千円	56, 420	8, 210	0	250	0
	人1	件費合計	千円	20, 400	20, 400	16, 620	16, 620	16,620
		正規職員	千円	18,900	18,900	15, 120	15, 120	15, 120
		人員	人	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		会計年度(3類)職員	千円	0	0	0	0	0
		その他職員	千円	0	0	0	0	0
1	一ろ	アルコストの増減ネ	維持理由	1				

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 | C | 概ね結びつくものになっている

【絲	(合評価)		
評価	С		

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4	4年度 組	迷続事	務事	業)		
事務事業名 生涯学習推進事業						
担当所属 生涯学習課				連	絡先	32-1132
【事務事業基本情報】						
↑						
基本施策 1 − 7 ニーズに応じた生涯学習の実現 総 分野 1 こども・若者・教育	7	у I Һј	三世夕	生涯学習推進費		
合 基本施策 1-7 ニーズに応じた生涯学習の実現	筝	, 算	未白	土涯子白雅進貝		
計画		事				
事業期間 ~   会計種別		-般会計		事美	<b>業種別</b>	政策的事務
根拠法令要綱						
地域区分 — 施設種別	J			予算	算要求区分	経常経費
【事業概要・指標】 事業概要			対象技	S煙		
趣旨・目的	- 1. 19111	. > 111	(J)	日1水		
学習活動で学んだ知識や技術が人と人との活動を通したで 域社会にひろがり活かされる松本らしい生涯学習施策を推進			-			
内容			2	r i m		
1 公民館研究集会	, Γ <del>-1</del> ° → ι		活動技		<u> </u>	
令和4年度は、住民・行政・ 地縁・志縁団体などが集し ナの地域再生」をテーマに気づきとつながりを生み出する			1 2	公民館研究集会当日参加者数	X 	
│ 開催した。 │2 生涯学習支援			2 5	生涯学習支援登録制度登録者	<b>旨数</b>	
【 (1) 登録制度 【 松本市内外のグループ、指導者を登録し、松本市民に	一周知する	る制	3 5	出前講座実績件数		
度。上記制度の浸透を図るため、情報誌での広報、ホーリー・リニューアルを行った。			成果技	旨標		
(2) 学びの森いんふぉめーしょん発行	+ += +0 -4 -1	D#	1			
<ul><li>上記登録制度登録者及び関係機関などの生涯学習関連 し、生涯学習情報誌「学びの森いんふぉめーしょん」を</li></ul>			2			
8月、11月、2月)発行 3 出前講座			-			
市民の学習機会の確保及び行政に対する理解を深めるだと公的機関が行っている施策や業務から130講座を開設。			3	ᅜᆖ		
団体に、講師を派遣し、講座を開催した。	中間かめ	7/2	効率技	日信		
【4 地区独自事業 【 (1) 四賀地区夏祭り事業:旧村の継続事業。コロナ禍で中	中止		-			
(2) 梓川・御浜町(三重県)交流事業:旧村友好親善提携に 川子ども会育成会と御浜町小学校の交流事業。コロナイ	こ基づく、 品で中止	梓	2			
(3) 安曇・松崎町(静岡県)交流事業:旧村の姉妹都市松崎 事業として松崎・安曇・大野川中学校2年生が参加。コ	奇町とのる	<b></b> 交流				
事業として位向・女芸・八封川中子仅2年王が参加。コ	山ノ侗で	中止				
L						
一次評価(内部評価)						
今後の実施方向性   継続   前年   前年   ・引き続き生活に関連した事柄をテーマとする工夫をし、①	F度の結果 P画段階#		継続 そを今で	い名くの多様かつ多世代の	今	後の見込み コスト
市民の参画を増やすとともに、集会成果を35地区の活動に生	上かす仕糸	組みを充	実さは	せたい。		削減   維持   増大
・生涯学習支援登録制度は市民の生涯学習機会の充実につな 広く発信したい。学びの森いんふぉめーしょんは紙媒体のほ	まか、SNS	等を用	いデー	·夕での周知を広めたい。	上昇 維持	0
・出前講座は市民の行政への理解を深めるきっかけになるこ	ことから、	様々な	情報	媒体を用いて広報したい。 	果縮小	
二次評価(外部評価)						
1) 内容評価	日占からっ	+ 1 1 +	ᆚᄼᆖᆉᇃ	事業中容なが終金部在け		
・生涯を通じて学び続けていく環境を整備していくという 適正である。 -	況从かり 9	91114、	∃談≒	事実内合及び総立評価は、		
【2)指標の設定 【・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。	他方で、	参加者	数、	登録者数、件数といった		
「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定して 3) 今後の方向性						
・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動標化に値する取り組みはないか、検討されたい。	動指標」	「成果指	[標]	「効率指標」に関しても指		

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
<b>刈水油</b> 宗	2								
	1	人/年	108	300	420	500	500	R7	84%
活動指標	2	人/年	9	17	19		15	R7	127%
	3	人/年	204	277	368	300	300	R7	123%
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝华伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

公民館研究集会:周知方法やテーマ設定の見直しにより、大学生など若者が参画した。オンラインによる多様な参加方法の充実させた。 出前講座:実績は令和5年1月末時点。周知方法の見直しやオンライン申込の構築

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

<u>【找</u>			人員】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
ト <u>一:</u>	タルコスト	千円	61, 679		59, 290		58, 284		50, 210		51,980
事	業費	千円	4, 319		1,930		1,704		1,850		3, 620
	₊₊ 国庫支出金	千円									
	符 県支出金	千円									
	地方債	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	が その他	千円									
	一般財源	千円	4, 319		1,930		1,704		1,850		3, 620
人	件費合計	千円	57, 360		57,360		56,580		48,360		48,360
	正規職員	千円	45, 360		45,360		41,580		45,360		45, 360
	人員	人	6.0		6.0		5.5		6.0		6.0
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	12,000		12,000		15,000		3,000		3,000
	人員	人	4.0		4.0		5.0		1.0		1.0
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									
トー:	タルコストの増減網	維持理由	1			•				•	

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

【絲	(合評価)		
評価	В		

令和 5年	<b>芝 事務事業評価表</b> (	令和 4年度	継絲	売事	務事	業)		
事務事業名	名 公民館講座事業							
担当所属	生涯学習課						連絡先	0263-32-1132
関連所属	TOTAL						~	0200 02
【事 務 事 ^{分野}	業 基 本 情 報】  1 こども・若者・教育							
基本施策	1-7 ニーズに応じた生涯学習の	の実現						
総分野合基本施策	1 こども・若者・教育 1-7 ニーズに応じた生涯学習の	1年祖	予算	中事	業名	公民館講座事業		
計		7 <del>大</del> 坑	事					
事業期間	~	会計種別	業	会計			事業種別	政策的事務
根拠法令要綱	-	太可怪別	אניו	云口		<u>l</u>	争未住心。	以水口。
地域区分		施設種別	I_			I	予算要求区分	(収 告 収 弗
	<u>⁻                                    </u>	<b>他</b> 設性別				<u>     l</u>	<b></b>	
事業概要	又 1日 1小1				対象指	<b>i</b> 標		
<u>趣旨・目的</u> 暮らしや生活	「 「に関わる身近な課題やその課題解》 「	共に向けた学習	・事業	きを	1			
実施し、住民自	目らが主体的に行動する力(自治と流	舌力)を育みなか	バら、	安	2			
心しく仕かよい	\地域づくりを推進する。			ŀ	活動指	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
内容						<del>型。</del> 公民館活動利用人数(学	郷・講座・諸	(生全等)
1 公民館講座		カル 休問づくし	しわぎ	<u> </u>				(未五寸)
の見える関係	、暮らしに関わる身近な課題の解決 を構築するために、36館(中央+均				2 7	デジタル活用講座の実施	公民館数	
事業や講座を (1) 学習、文	⋮実施 ζ化、スポーツ活動				3	官報編集委員数		
(2) 暮らしと	´地域を見つめる講座、事業			ŀ	成果指	<b></b>		
(4) 町内公民	を流、外国籍住民支援 品館の活動支援、サークル活動への3	支援			1			
(5) 歴史の記	2録、学習会の記録、史跡の保護、係	呆全			2			
2 公民館報作		→ 毎焦太久い	+44+=	4	_			
の生活史や活	ぱされた館報編集委員会が自ら、取材 「動史、また地域課題を考えるきった	かけとしている。	ארחל		3			
(1) 全体会議 奇数月 <i>の</i>	義、担当者会議を経て、年6回発行。 )30日。広報まつもとに合わせて全所	, 5配布)			効率指	<b>「標</b>		
(2) 配布物の	)デジタル化の動きに合わせて、館幸	報編集委員会でも			1			
	いて検討。記事内に積極的に動画な デジタル化への抵抗感を減らす試∂		と取り	, I	2			
				l				
【今後の方								
一次評価(P 今後の実施方向		前年度の紹	± 田	121	続		1 2	今後の見込み
・ウィズコロナ	-の取り組みとして、屋外活動やオン	ンライン講座、ネ	ナンテ	デマン	ド講座		₹ \	コスト
	ら防やデジタルディバイド対策講座と デザインの講座を充実させていきたし		う、テ	゠゙゙ジタ	ル技術	<b>断を生かし、多世代交流</b>	や」上類	削減 維持 増大
	がに読まれる館報とするため、館報の		か、 飲	官報の	在りフ	方について検討を進める	。 成 維持 編2	寺
二次評価(タ	<b>卜部評価)</b>							
1)内容評価								I
<ul><li>・「地域におけ 2)指標の設定</li></ul>								
	-つとして、当該指標の設定は、妥≦ ○みならず、「質的指標」に関しても □性							

・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り組みはないか、検討されたい。 ・館報はデジタル化をすれば自動的に多くの方に読んでいただけるわけではないため、方法のみならず、コンテンツも含め、「館報」それ自体のあり方について引き続き検討を進められたい。

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
对象油宗	2								
	1	人/年		85, 333	106, 698	120,000	184, 200	R7	58%
活動指標	2	館		26	27	36	36	R7	75%
	3	人/年		351	347	347	297	R7	117%
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
幼华拍标	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【仏 】 コ フ ト

<u>【</u>	え 人 し 人 ト	`	人貝】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度	決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	89, 536	84	4,990		85, 472		87, 503		91, 282
事	業費	千円	35, 104	30	0,558		31,040		33, 071		36,850
	₄₊ 国庫支出金	千円									
	特県支出金	千円									
	地方債財	千円									
	受益者負担	千円									
	/// その他	千円									
	一般財源	千円	35, 104	30	0,558		31,040		33, 071		36,850
人	、件費合計	千円	54, 432	54	4, 432		54, 432		54, 432		54, 432
	正規職員	千円	54, 432	54	4, 432		54, 432		54, 432		54, 432
	人員	人	7. 2		7.2		7.2		7. 2		7. 2
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									
<u> </u>	タルコストの増減	維持理由									

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【絲	(合評価)		
評価	В		

事務事業名	学都松本子ども読書活動推進事業		
担当所属	中央図書館	連絡先	0263-32-0099
関連所属			

<b>/</b> #=	マケフ	#	<del>\\\\</del>	<del> </del>	ł	<u></u> #	±0.1	ī
帯	務	畢	兼	基	4	悄	報】	

		717 <u></u> 1 113 1172						
分野	7	1 こども・若者・教育						
基本	施策	1-7 ニーズに応じた生涯	学習の実現					
総	分野	1 こども・若者・教育		予	中事業名	学都松本子ども読書活	<b>動推進事業費</b>	
合	基本施策	1-7 ニーズに応じた生涯	学習の実現	算				
計				事				
画				業				
事業	期間	~	会計種別	一般	绘計		事業種別	政策的事務
	は法令要綱							
地均	区分		施設種別	文化	:・コミュニ	ニティ施設	予算要求区分	経常・政策的経費

# 【事 業 概 要 ・ 指 標】

#### 事業概要 対象指標 趣旨・目的 平成31年2月に策定した第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが身近な場所で進んで本に親しみ、自ら学び知る楽しさを体 2 得するため、読書環境の整備を推進するもの 図書館子ども登録率(18歳までの図書館登録者数÷松 内容 1 ブックスタート、セカンドブック事業 ブックスタート(10カ月児健診時) 1,633名 セカンドブック(3歳児健診時) 1,652名 2 読み聞かせボランティア養成講座、子ども読書活動スキルアップ 本市の18歳までの人口) 3 講座の開催 (1) 読み聞かせボランティア養成講座 全6回 成果指標 参加者 延べ81人 子ども読書活動スキルアップ講座 全4回参加者 延べ103人 ① お話会開催回数 読み聞かせボランティア、子ども読書推進サポーター登録者数 ② 子ども読書カードの発行団体数 (1) 読み聞かせボランティア13名(令和元年度から合計91名) (2) 子ども読書推進サポーター10名(令和元年度から) 3 学都松本子ども読書活動推進委員会の開催 行政機関の関係者や専門職と民間の有識者で構成する組織で、子 効率指標 ども読書活動に関する各種情報を共有し、相互連携を強めながら、 1 横断的な取組みを行うため設置 委員9名 計2回開催 同委員会の作業部会 計3回開催 サードブック(学級文庫方式)のブックセットの選定 A~Cブックセット(3セット)の選定(令和5年度配置) 2

#### 【今後の方向性】

一次評価(内部評価)					
今後の実施方向性   継続     前年度の結果   拡大		今	後の見	込み	
1 令和5年度からサードブック事業の実施が決まり、子どもの読書活動に関する事業のさらなる充実が図		(		コスト	
られました。  2 中・高校生に向けて、本の紹介や図書館利用促進のための情報発信を行い、豊かな心を育むための自由			削減	維持	増大
で自発的な読書、生きる糧になる素敵な本と出合うためのきっかけ作りを進めます。	15	上昇		0	
【3 第2次学都松本子ども読書活動推進計画の最終年度となるため、評価・点検を行い、今後の活動に反映 【させます。	成果	維持			
	>I\	縮小			
二次評価(外部評価)					
1 ) 内容評価   ・読書環境の整備という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。   2 ) **##の記句					
2 ) 指標の設定   ・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、登録率や開催回等の「量的指標」のみならず、「質的指標」に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。					
3) 今後の方向性 ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指標化に値する取り組みはないか、検討されたい。					
・R5年度からスタートされたサードブック事業に関しても、その成果について検証を行い、より多くの関係者に読書環境の充実の意義を理解してもらうことに努められたい。					

R 5年度見込	口抽仕		
N J <del>十</del> 皮无处	目標値	目標年度	達成度
32	32	R8	98%
			#DIV/0!
			#DIV/0!
185	215	R8	81%
217	240	R8	87%
			#DIV/0!
			#DIV/0!
			#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「也 1 コフト

	<u>没</u>	. 人 」 人 ト	` ' ,	人員】				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	一ク	7ルコスト	千円	40, 969	40, 527	41, 110	37, 630	40, 980
	事:	業費	千円	4, 849	4, 407	4, 990	4, 510	7, 860
		<b>国庫支出金</b>	千円					
		将 県支出金	千円					
		特 県支出金 地方債 受益者負担	千円					
		受益者負担	千円					
		‴ その他	千円					
		一般財源	千円	4, 849	4, 407	4, 990	4, 510	7,860
	人	件費合計	千円	36, 120	36, 120	36, 120		33, 120
		正規職員	千円	15, 120	15, 120	15, 120	15, 120	15, 120
		人員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	21,000	21,000	21,000	18,000	18,000
		人員	人	7. 0	7.0	7.0	6.0	6.0
		会計年度(3類)職員	千円					
		その他職員	千円					
1	<b>一</b> ろ	アルコストの増減ネ	維持理由	1				

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【総合評価】							
評価	В						

事務事業名	食育推進事業		
担当所属	健康づくり課	連絡先	34-3217
関連所属			

【事 務 事 業 其 木 情 報】

	<u> </u>	* <del>*</del> *	אד לוו י							
分野	<b>予</b>	1 こども	・若者・教	対育						
基2	体策	1-8 全	ての世代に	こわたる食剤	育推進					
総	分野	1 こども	・若者・葬	対育		予	中事業名	食育推進事業費		
合 基本施第		1-8 全	ての世代に	こわたる食剤	育推進	算				
計						事				
画						業				
事第	<b>詳期間</b>	R5	~	R9	会計種別	一般	经計		事業種別	政策的事務
根拠法令要綱		食育基本法、	松本市的	食育推進計画	<b>画</b> 庁内推進会議設	置要網	岡			
地均	地域区分 施設種別								予算要求区分	政策的経費

# 【事 業 概 要 ・ 指 標】

#### 事業概要 趣旨・目的

健康増進総合計画(第4期松本市食育推進計画)に基づき、食育を推進するもの。庁内食育関係課や食生活改善推進員と連携しながら体験を通じた食育を行い、ICTを活用した情報提供で実践につなげやすい食育を展開す

#### 内容

- 食育推進のための人材育成 食生活改善推進員養成事業
- 望ましい食習慣のための周知・啓発
- (1) ICTを活用した情報提供(朝食、離乳食、郷土食) (2) 食生活改善栄養指導事業

- (3) ライフステージに合わせた情報提供 (4) 具だくさんみそ汁コンテストの開催 (5) ハ十二駅都での食育パネル展示
- (6) 市内図書館での食育テーマ展示

対象	指標
1	

2

#### 活動指標

- ① 食生活改善推進員養成教室の受講者数
- ② 食生活改善栄養指導事業の実施回数
- 3

#### 成果指標

- ① 食生活改善推進員の人数
- ② 朝食を毎日摂る児童・生徒の割合(小学5年生)
- 3

効率指標

1

2

### 今後の方向性】

一次評価(内部評価)					
今後の実施方向性  継続   前年度の結果  継続		今	後の見る	込み	
・市民に身近な存在として各地区で生活習慣病予防のための講座や郷土食・行事食継承を行う食生活改善推進員が減少している。これまで行ってきた対面での講座を大切にしながら、子育て世代への食育ではICTを積極がに活用する第一、対象者に入れてきまれば、					
極的に活用する等、対象者に合わせて情報提供の方法を工夫する。 ・地区担当保健師の地区駐在化の中でより市民の声を聞き、ニーズに合わせた教室を開催する。また、実施 後にはアンケート等を行い、評価につなげる。	成果	上昇 維持 縮小		0	
二次評価(外部評価)					
【1)内容評価 ▼・食育の推進という観点からすれば、当該事業内容及び総合評価は、適正である。 【2)指標の設定					
・事業評価の一つとして、当該指標の設定は、妥当である。他方で、受講者数、実施回数といった「量的指標」のみならず、一次評価でも記載されているようにアンケート調査の結果を活用するなど、「質的指標」					
に関しても設定していく必要はないか、検討されたい。   3) 今後の方向性   ・市民に対する説明責任や公金支出の観点から、他の「活動指標」「成果指標」「効率指標」に関しても指					
標化に値する取り組みはないか、検討されたい。 ・昨今、食をめぐっては様々な質の情報があふれている。食生活改善推進員においては、子育て世帯に適切					
な情報等を提供していくことが求められている。リスキリングやアンラーンの機会を設けていくことも検討 されたい。					

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕油宗	2								
	1	人/年	20	13	18	30	30	R9	60%
活動指標	2	回/年	71	69	63	70	70	R9	90%
	3								#DIV/0!
	1	人/年	323	298	268	236	268	R9	100%
成果指標	2	%	90	90	90	100	100	R9	90%
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈半佰倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>{</u>	<u> </u>	` • ,	人員】					
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3	3年度決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	29, 118	27, 819		24, 821	20, 257	16, 940
耳	業費	千円	2, 176	1,960		310	960	800
	₊₊ 国庫支出金	千円						
	特 県支出金	千円						
	特県支出金地方債の数字を担け	千円						
	海 文色白貝担	千円						
	**** その他	千円						
	一般財源	千円	2, 176	1,960		310	960	800
l D	、件費合計	千円	26, 942	25, 859		24, 511	19, 297	16, 140
	正規職員	千円	19, 202	18, 749		17, 161	14, 137	11, 340
	人員	人	2.5	2.5		2.3	1.9	1.5
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	7, 740	7, 110		7,350	5, 160	4,800
	人員	人	2.6	2.4		2.5	1.7	1.6
	会計年度(3類)職員	千円						
	その他職員	千円						
トータルコストの増減維持理由								

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【総合評価】									
評価	В								